

# 第二次 ふじみ野市子ども読書活動推進計画



平成26年3月

## はじめに

読書活動は、子どもが人生をより深く生きる力を身につけていく上で欠くことができないものです。幼いころから身近で信頼できる大人から読み聞かせをしてもらった子どもは、ともに感動したり楽しい時間を得ると同時に、その愛情を全身で受け取り、安定した心を育むことができます。そして本を読む楽しさを知ることによって、知的好奇心が旺盛になり、大きくなってからも自ら読書に親しむことができるようになります。



平成25年2月にまとまった国立青少年教育振興機構の報告によると、「子どもの時にたくさん本を読んだ人ほど、大人になってからも人生に前向きで、積極的であり、子どもの頃の読書活動が多い中学生や高校生ほど、人を思いやる気持ちや社会のルールを守る意識などが高い傾向があり、さまざまな体験活動も多く経験している」ということがわかったそうです。

また同年10月に文部科学省が発表したOECD国際成人力調査によると、日本は読解力、数的思考力の2分野において平均得点が参加国中第1位であることが発表され、16歳から65歳の各世代とも平均を上回っていることがわかりました。文字活字文化や読書活動の振興もこうした結果に結びついているのではないのでしょうか。

本市では、平成21年3月に「子ども読書活動推進計画」を策定し、5年間の計画期間で家庭、地域、学校との連携・協力体制で子どもたちが読書を楽しむ機会の充実や環境の整備を進めてまいりました。平成26年3月で計画が終了することに伴い「第二次ふじみ野市子ども読書活動推進計画」を策定いたしました。旧計画の具体的な取り組みについて実績や成果と課題をあげて見直しをし、第二次の計画では目標をわかりやすく数値化しました。

本計画で、子どもたちの生活に急速に普及したインターネットや携帯電話などの情報通信技術による「読書離れ」「活字離れ」を減らし、子どもたちの健やかな成長に欠かせない読書活動に推進してまいります。

結びにあたりまして、本計画の策定にあたりアンケート調査にご協力いただいた関係団体の皆様に御礼申し上げます。

平成26年3月

ふじみ野市長 高畑 博

## 目次

### 第1部 総論

第1章 計画策定の趣旨	… 1
1 子どもの読書活動の意義	… 1
2 計画策定の背景	… 1
3 計画の位置付け	… 2
4 計画の期間	… 3
5 計画の構成	… 3
6 基本の方針	… 3
(1) 家庭・地域・学校における子どもが読書に親しむ機会の提供と充実	… 3
(2) 子どもの読書活動を推進するための環境の整備・充実	… 3
(3) 子どもの読書活動に関する啓発・広報の推進	… 4
(4) 子どもが読書に親しむための支援体制の整備	… 4
7 施策体系	… 4
第2章 前計画における取り組み状況	… 6

### 第2部 各論

第1章 家庭・地域・学校における子どもが読書に親しむ機会の提供と充実	… 9
1 家庭における推進	… 9
2 地域における推進	… 10
(1) 図書館における推進	… 10
(2) 地域文庫における推進	… 12
(3) 地域子育て支援センター・児童センター・公民館・その他施設に おける読書活動の推進	… 14
3 学校等における推進	… 16
(1) 保育所（園）や幼稚園における推進	… 16
(2) 小・中学校における推進	… 17
4 図書館・地域・学校等の連携、協力	… 19

第2章 子どもの読書活動を推進するための環境の整備・充実	… 23
1 図書館の整備・充実	… 23
(1) 図書資料の整備・充実	… 23
(2) 設備等の整備・充実	… 24
(3) 図書館職員の充実	… 26
(4) 図書館利用に障がいのある子どものための諸条件の整備・充実	… 26
2 学校図書館の整備・充実	… 27
(1) 図書資料の整備・充実	… 27
(2) 設備等の整備・充実	… 28
(3) 司書教諭等図書館担当職員の配置の推進	… 29
(4) 障がいのある子どものための諸条件の整備・充実	… 30
第3章 子どもの読書活動に関する啓発・広報の推進	… 31
1 「子ども読書の日」を中心とした啓発・広報	… 31
2 優良な図書の普及	… 31
第4章 子どもが読書に親しむための支援体制の整備	… 33
目標項目と数値目標表	… 34
第3部 資料	
1 「子ども読書活動推進計画」アンケート調査結果	… 35
2 ふじみ野市子ども読書活動推進計画策定委員会	… 36
3 ふじみ野市子ども読書活動推進計画策定委員会設置要綱	… 37
4 ふじみ野市子ども読書活動推進計画策定の経緯	… 39
5 パブリックコメントの結果	… 40

## 第1部 総論

### 第1章 計画策定の趣旨

#### 1 子どもの読書活動の意義

「子どもの読書活動推進に関する法律」の基本理念に「子ども（おおむね18歳以下の者をいう。以下同じ。）の読書活動は、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことができないものであることに鑑み、すべての子どもがあらゆる機会と場所において自主的に読書活動が行えるよう、積極的にそのための環境の整備が推進されなければならない。」と記されています。

読書は、人間にとってもっとも基礎的な活動の一つであり、生涯にわたる学習活動の基盤となるものです。特に、子どもは読書によって、広い世界を知り、発見や感動を体験し、自ら考える習慣や豊かな感性、思いやりの心などを身につけることができます。様々な本と出会うことによって、過去から未来に生きるいろいろな人や生き物と出会い、さらには様々な国や時代の著書とふれあう中で、言葉を学び、人生の生き方を学び、そして読書の楽しさを生涯にわたって享受できることとなります。

子どもたちの一人ひとりの発達段階にあった様々な読書活動が自由にできるように、社会全体で環境の整備に努めていくことが重要です。

#### 2 計画策定の背景

今日、子どもをとりまく環境は、家庭生活や価値観の多様化、コンピュータゲーム、インターネットなど様々な情報メディアの爆発的な発達や普及などにより、大きく変貌しています。こうした変化に伴い子どもたちが、読書する機会や文章を書く機会が減少し、「読書離れ」や「活字離れ」が指摘されているところです。

このような状況のなかで読書活動は、いつの時代も子どもが言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠かせないものとなっています。また社会情勢は厳しさを増しており、教育格差が経済格差に結びつくという指摘もされています。学習の機会をすべての子どもが等しく十分に得られるこ

とが大切なように、読書に親しみ、学びを深め、人生を豊かにすることができるよう読書活動の重要性は増しているといえます。

#### 国の動向

- ・平成13年12月 「子どもの読書活動に関する法律」公布・施行

子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進するとともに、読書を通して子どもの健やかな成長に資することを目的とする。

- ・平成14年8月 「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」策定

- ・平成17年7月 「文字・活字文化振興法」公布・施行

国民が本や新聞など活字に親しみやすい環境をつくることを趣旨とし、10月27日を「文字・活字文化の日」と定める。

- ・平成20年3月 第二次「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」策定

- ・平成25年5月 第三次「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」策定

#### 埼玉県の動向

- ・平成16年3月 「埼玉県読書活動推進計画」策定

- ・平成20年3月 第二次「埼玉県読書活動推進計画」策定

家庭・地域・学校が一体となった様々な取り組みの推進によって、県内の子どもの読書活動が一層活発化するよう読書活動の推進に関する総合的かつ、体系的施策を示す。

### 3 計画の位置付け

市では、子どもたちの健やかな成長のために、すべての子どもが自主的に読書活動を行うことができる環境を整備することを目的とし、国や埼玉県の計画及び「ふじみ野市総合振興計画」、その他の関連する計画と整合性を図りながら、子どもの読書活動のための基本的な方向と、具体的な方針を明らかにし、関連する施策を総合的かつ体系的に推進するため平成21年3月に「ふじみ野市子ども読書活動推進計画」を策定し、様々な取り組みを推進してきました。計画の策定から5年を経過していることから、これまでの取り組みの成果や課題を検証した上で、本市における子ども読書活動推進にあたっての基本的な方向性を示し、その施策を総合的・計画的に推進するため、「第二次ふじみ野市子ども読書活動推進計画」を策定するものです。

## 4 計画の期間

本計画は平成26年度から概ね5年間とし、社会情勢の変化に応じて計画の見直しを行っていきます。

## 5 計画の構成

- 総論・・・ふじみ野市の子どもの読書活動に対する考え方を示す
- 各論・・・子どもの読書活動を推進するための具体的な方策を示す
- 体系・・・施策を総合的に推進するための体系等を示す

## 6 基本的方針

本計画でいう読書とは、本や電子書籍<sup>1</sup>を読んだり、人から読み聞かせてもらう行為をいいます。雑誌、新聞、マンガは本に含みませんが学習参考書、学習マンガ、録音図書<sup>2</sup>は本に含むものとします。

### (1) 家庭・地域・学校における子どもが読書に親しむ機会の提供と充実

子どもの自主的な読書活動を推進するためには、まず、家庭・地域・学校のそれぞれが果たすべき役割を認識し、大人自身が読書の意義を理解して、家庭や学校で積極的に読書をする姿勢を示すことが必要です。

家庭・地域・学校においては、子どもが自ら読書する態度を養い、生涯にわたる読書習慣を身につけることができるよう、市は子どもの発達段階に応じた読書体験を深める機会の提供と充実を図るよう努めます。

### (2) 子どもの読書活動を推進するための環境の整備・充実

子どもに読書習慣を身につけさせるためには、乳幼児から本に接する環境を整え、発達段階に応じて子どもが本に興味を持てるようにしていかなくてはなりません。

---

<sup>1</sup>電子書籍

書籍をデジタルデータ化したものです。パソコンや携帯用電子機器、携帯電話で読むことができます。電子ブック、デジタルブックとも言われています。

<sup>2</sup>録音図書

視覚などに障がいがあり読書が困難な人向けに書籍を音訳、映像化して記録したものです。記録媒体としてカセットテープ、コンパクトディスク、電子ファイルがあります。

このために図書館や学校図書館が果たす役割が大きく、それぞれが機能を十分発揮するために図書資料の整備や設備の充実を図ります。

(3) 子どもの読書活動に関する啓発・広報の推進

子どもを取り巻く大人を含めた読書活動を推進する気運を高めるため、保護者・図書館司書・教員・保育士等がそれぞれの立場で、読書活動に理解と関心を持つことが子どもの自主的な読書態度や読書習慣を身につけさせる上で大切です。

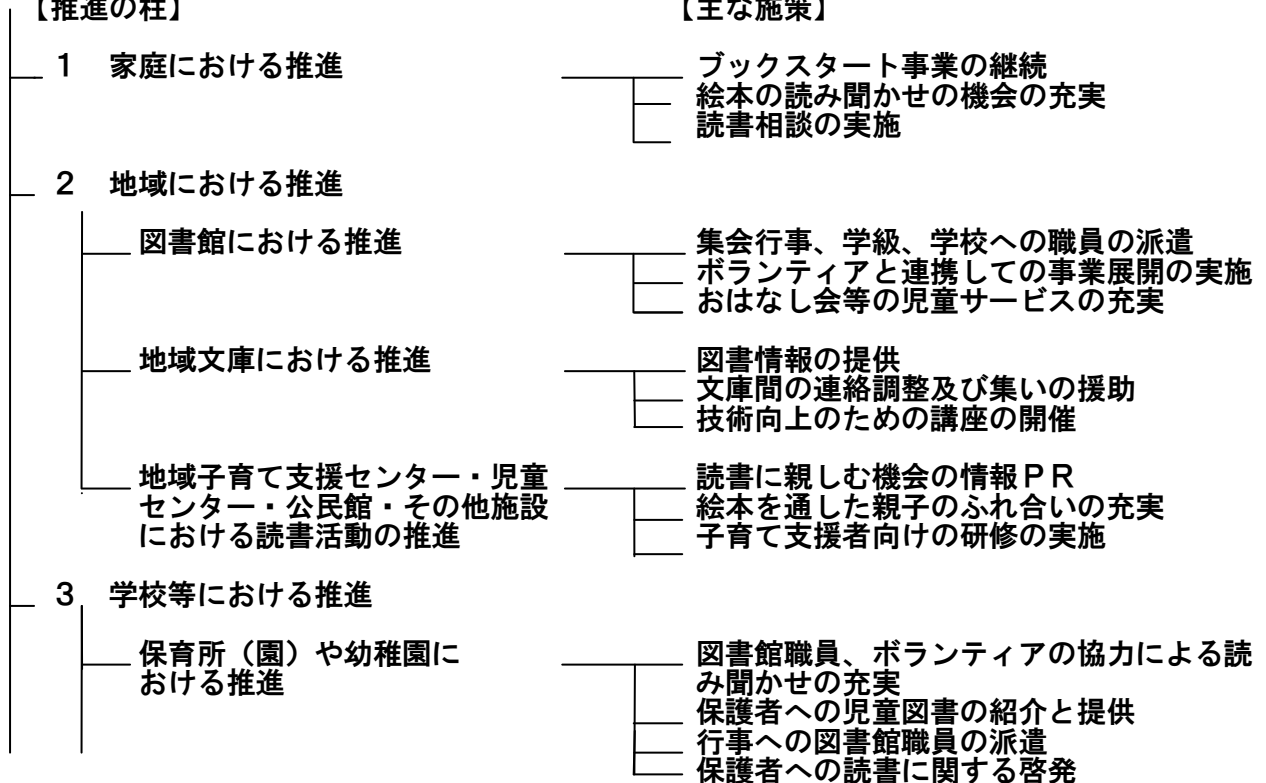
このような観点から、市は各種研修会など親をはじめとする大人が集まる機会を利用して読書活動の意義や重要性について理解と関心を深めるよう、読書活動啓発パンフレットの配布や優良な図書の紹介など啓発・広報を推進します。

(4) 子どもが読書に親しむための支援体制の整備

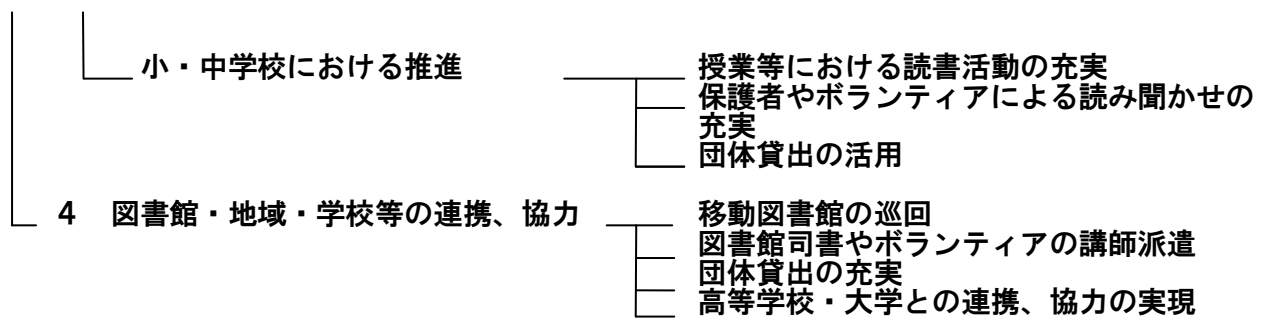
子どもの読書活動を総合的に推進するためには、支援体制を整備する必要があります。そのためには、学校・図書館・教育委員会・地域ボランティア等で組織する総合的な推進体制を整備し、具体的な方策について検討や情報交換等を行います。

7 施策体系  
【基本的方針】

I 家庭・地域・学校における子どもが読書に親しむ機会の提供と充実  
【推進の柱】



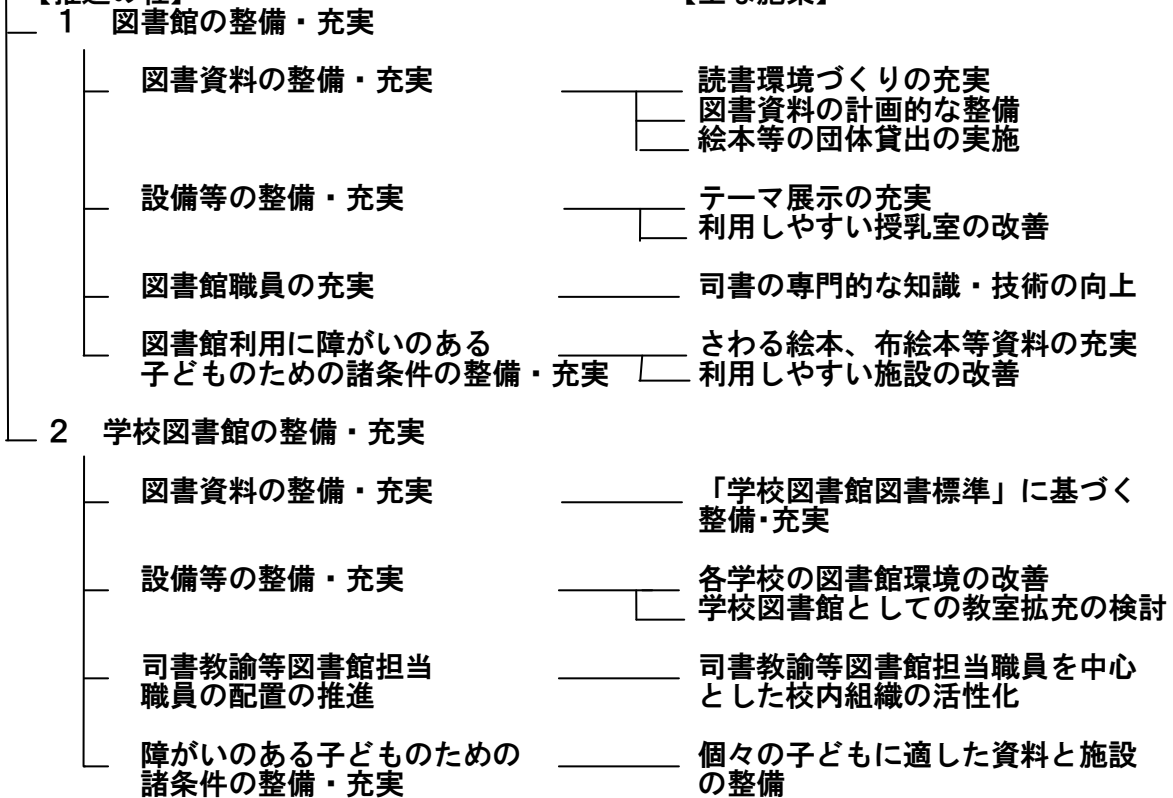




II 子どもの読書活動を推進するための環境整備・充実

【推進の柱】

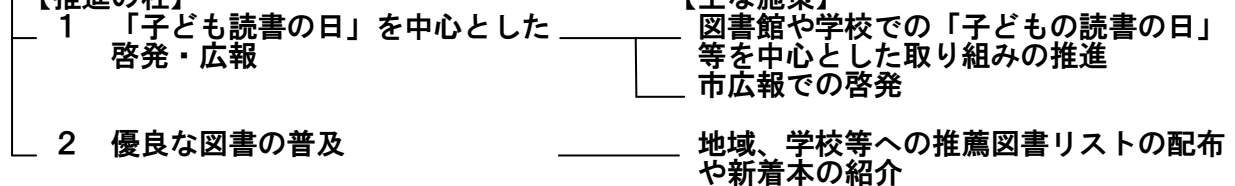
【主な施策】



III 子どもの読書活動に関する啓発・広報の推進

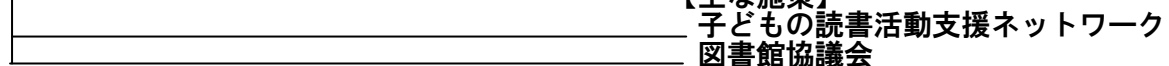
【推進の柱】

【主な施策】



IV 子どもが読書に親しむための支援体制の整備

【主な施策】



## 第2章 前計画における取組状況

前計画においては、下記の4つの基本方針を定め、各関係機関において市民との連携を進めながら、読書の楽しさを伝えるための環境づくりや情報提供に向けた取り組みを行ってきました。

- 1 家庭・地域・学校における子どもが読書に親しむ機会の提供と充実
- 2 子ども読書活動を推進するための環境の整備・充実
- 3 子ども読書活動に関する啓発・広報の推進
- 4 子どもが読書に親しむための支援体制の整備

### 1 家庭・地域・学校における子どもが読書に親しむ機会の提供と充実

#### (1) 家庭における推進

保健センターで行っている10か月児相談の際にブックスタート<sup>3</sup>事業として、子どもの年齢に合った絵本の紹介と配布、図書館で行っているおはなし会の紹介などを図書館職員1名、ブックスタート協力者3～4名体制で年間12回行いました。10か月児相談時に行う事業のため、ほぼ確実に情報提供ができており、乳幼児から、絵本に接することのできる機会を与えています。(平成24年度823人に配布)

#### (2) 地域における推進

図書館では、おはなし会をはじめ、子ども向けえいが会、夏休みの特別事業、児童向けのテーマ展示などを定期的で開催しており、図書館への誘い、定着、利用につながっています。

(上福岡図書館 毎週水・金曜日おはなし会 平成24年度94回1,969人参加、大井図書館 毎週木曜日おはなし会 平成24年度61回2,005人参加) 大井図書館では第4木曜日と第2土曜日のおはなし会はボランティア団体との協働で開催しています。また、読み聞かせボランティア講座の開催、職員の絵本の選び方などの出前講座も行い、地域の読

---

<sup>3</sup>ブックスタート

赤ちゃんや保護者がゆっくり向き合い、心ふれあうひとときを持つきっかけをつくり、読書活動へのスタートとして市区町村の事業として行われています。図書館、保健センター、ボランティアの人達が協力して、乳幼児健診時などに絵本の読み聞かせや絵本の紹介、また絵本リストの提供をしています。

み聞かせ活動の支援を行っています。

市内4か所にある地域文庫は、地域の身近な図書館として月2回から4回、公民館分館で開館しています。（平成24年度4,065人9,129冊貸出）

地域子育て支援センターでは、育児相談や子育て相談の中で読書相談を行っています。（平成24年度絵本講座4回、おはなし会22回、年齢別事業120回）

### （3）学校等における推進

保育所では、毎日読み聞かせを実施しています。

学校では、一斉読書タイム、保護者ボランティアによる読み聞かせの実施などが定期的に行われています。

図書館ではこれらの施設への支援として、読み聞かせ講座、読書相談などを行っています。また、移動図書館の巡回を5校で実施しています。

## 2 子どもの読書活動を推進するための環境の整備・充実

図書館の児童書の蔵書数は平成20年度130,034冊、平成24年度134,479冊、貸出冊数は平成20年度247,166冊、平成24年度は306,650冊となりました。蔵書冊数があまり増えていない中での貸出冊数の増加は、おはなし会やえいが会の実施回数の増加や図書館職員による読書相談、講座の開催などの事業が定期的に行われてきた結果です。

学校では「学校図書館図書基準」の達成度が小中学校共100%に近くなってきていますが、長期にわたって使用されているため、本の傷みや内容が古くなった本などを廃棄しながらの基準達成を目指しています。

## 3 子どもの読書活動に関する啓発・広報の推進

図書館では、テーマ展示、児童向けおすすめ本のリスト作成などを行っています。学校への配布は、夏休み前に限らず年間を通じて定期的に行うことが重要ですが、十分とは言えない状況にあります。

#### 4 子どもが読書に親しむための支援体制の整備

「子育て支援ネットワーク連絡会議」<sup>4</sup>の場において、図書館の取り組みの紹介をしたり、読書活動推進のためのPRを実施しましたが、「(仮称)ふじみ野市子ども読書活動推進会議」設立に向けての取り組みには至りませんでした。

子どもの読書の実態は、実施したアンケート(後掲「アンケート調査結果」)にも見られるように、「本を読むことが好き」という回答は小学2年生・5年生では、大きな変化はみられませんが、中学生・高校生では大きく減少しています。また、「学校図書館、公共図書館の利用」も中学生・高校生ではほとんど利用していない実態が見受けられます。インターネットの環境が急速に進み、電子機器利用の低年齢化とともに子どもの読書の環境も5年前とは変わってきています。しかし、本を読まないと答えていても、マンガ・雑誌などは読み、電子書籍までも読んでいる実態もあります。このように一般の個人向け電子書籍は幅広い年齢層に急速に広まっている一方、図書館向けの電子書籍のコンテンツは極めて限定的な状況です。今後の活用についての調査研究を行い、適切に対応します。

中学生・高校生でも「本を読むのが好き」と答えている生徒は読書を楽しいもの、おもしろいものだと捉えている傾向が強く、「本を読むことが嫌い」と答えている生徒は読書のためになるもの、役に立つものと捉えている傾向があります。

乳幼児から、子ども、青年期になるにつれて、子どもたちの活動は家庭、学校、社会へと広がっていきます。子ども読書活動推進計画も、各機関で主体的に取り組むことはもちろんですが、子どもの活動の広がりにあわせて、各機関が協力し合って、連携をとりながら、活動を進める必要があります。

---

<sup>4</sup>子育て支援ネットワーク連絡会議

子育て支援に関する関係機関が情報の共有及び子育て支援に関する事業に参画するなど、綿密なつながりをもって総合的かつ効果的な子育て支援の充実をめざすための会議。

## 第2部 各論

### 第1章 家庭・地域・学校における子どもが読書に親しむ機会の提供と充実

#### 1 家庭における推進

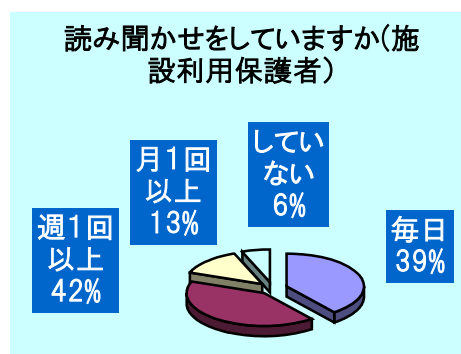
##### 【現状及び課題】

市では10か月児相談時に実施しているブックスタート事業や、地域子育て支援センターで「絵本講座」を実施しています。

子どもが読書習慣を身につけるためには、乳幼児から本に接することのできる機会をつくることが必要不可欠なことであり、親子が読書の喜びを共有し、ともに成長していくことは非常に大切なことです。

また、子どもの発達段階に応じて興味を持ち、感動する本を提供していくことは、子どもの知的探究心の育成につながる大きな力となります。

今回の施設を利用している乳幼児を持つ保護者アンケートでは、「読み聞かせをしていますか」という設問に対し、「している」が94%、「していない」が6%でした。また、読み聞かせを「毎日している」が39%、「週1回以上」が42%でした。読み聞かせをよくしている家庭と全くしていない家庭との差が見られることから保護者への働きかけが重要なことがわかります。



##### 【施策の方向】

乳幼児期から読書に親しむ機会づくりを様々な形で提供していくことが重要です。

読書に親しむ機会拡充のために手遊び指導を交えた読書講座等を開催するなどの支援活動を進めます。

## 【具体的な事務事業】

事業番号	取り組み	概要	今後の方向性	○担当課 ・ 関連課
1	ブックスタートの実施	ブックスタート事業を継続し、充実に努めます。	継続	○子育て支援課 ・生涯学習課（上福岡図書館）（大井図書館） ・保健センター
2	保護者の読み聞かせ促進のための講座	保護者が行う <u>絵本の読み聞かせ</u> <sup>5</sup> の機会を充実し、積極的に取り組んでいけるよう、保護者向けの読み聞かせや手遊び等の講座を実施します。	継続	○生涯学習課（上福岡図書館）（大井図書館） ・生涯学習課（大井中央公民館）（上福岡公民館）（上福岡西公民館）
3	赤ちゃん向け絵本の貸出と読書案内	赤ちゃん向け絵本コーナーを充実し、読書案内を配布します。	継続	○生涯学習課（上福岡図書館）（大井図書館）
4	育児相談と読書相談	地域子育て支援センターは育児相談や子育て学級での読書相談を実施します。	継続	○子育て支援課（地域子育て支援センター）

## 2 地域における推進

### （1）図書館における推進

#### 【現状及び課題】

図書館では、「おはなし会」等の事業のほか各種研修会や掲示物、配布物を通して子どもの読書活動の大切さについて理解と関心を深めてもらうとともに、優良な図書の紹介・普及・行事等を行っています。

子どもの読書活動を総合的に推進するために、図書館・家庭・地域・学校・図書館ボランティア・公民館・児童センター・地域子育て支援センター・保健センターなどの関連機関とそれぞれ相互に連携・協力しあい、全体で取り組むことが重要になっています。それぞれの担うべき役割を認識し、子どもが読書に親しむ機会の充実を図るために、より良い取り組みを工夫しなければなりません。

---

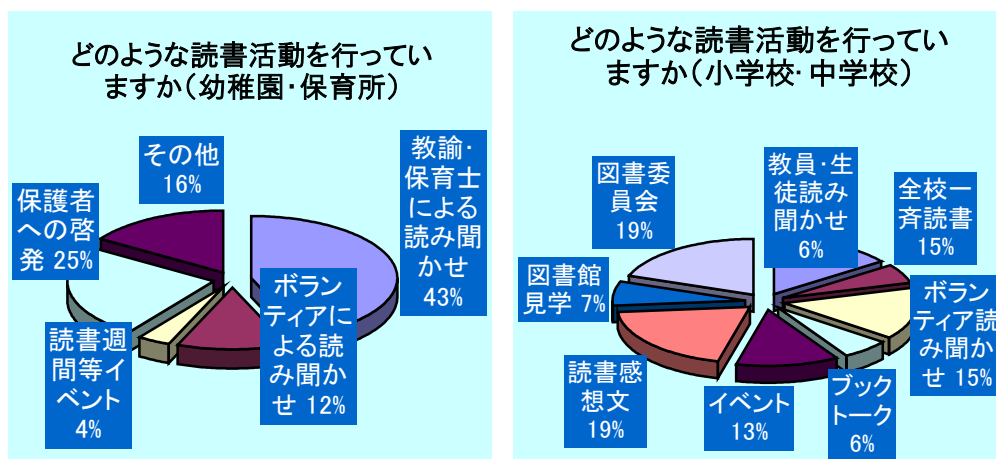
<sup>5</sup> 絵本の読み聞かせ

絵本を使って一人または複数の子どもに読んで聞かせること。文字の読めない低年齢の子どもに行うことが多かったが、近年では、小学校高学年あたりまでを対象に、学校・図書館などで行われることが多い。

各施設における読書への取り組みについてのアンケートでは、読み聞かせ・イベント・図書館見学等工夫をこらした様々な活動が行われていることがわかりました。子どもたちが読書に興味を持つような取り組みを今後も積極的に進めていく必要があります。

### 【施策の方向】

図書館では、公民館・児童センター・地域子育て支援センターなどと連携して、各機関の特色を活かしながら子どもの地



域での「居場所づくり」や「おはなし会」「ブックトーク<sup>6</sup>」など、子どもと本を結ぶための様々な活動を積極的に進めていきます。

### 【具体的な事務事業】

事業番号	取り組み	概要	今後の方向性	○担当課 ・ 関連課
5 再掲：32 関連：20	司書の派遣	保育所や学校行事へ図書館司書や図書館ボランティアを講師として派遣し連携を深めます。	拡充	○生涯学習課（上福岡図書館）（大井図書館） ・ 学校教育課 ・ 子育て支援課（保育所）
6	購入、展示の実施	季節や話題性などに関心を持ち、子どもたちの興味を引くように、図書資料の購入や展示などを実施します。	継続	○生涯学習課（上福岡図書館）（大井図書館）
7	イベント開催	図書館ボランティアと連携し、夏休みや休日などに、子どもと本を結ぶためのイベントの開催や、図書館まつりを行なうなど本へ興味を持てる事業展開を実施します。	継続	○生涯学習課（上福岡図書館）（大井図書館）

#### <sup>6</sup>ブックトーク

特定の主題やテーマにそって、さまざまな資料（主に図書）を紹介すること。読み聞かせやストーリーテリング（おはなしを覚えて語ること。昔話を題材に行われることが多い。）とからめたりすることもある。文学、絵本に限らず科学読み物やノンフィクションなど、ジャンルを超えた資料の紹介をすることで、読書への動機付けを多面的に行える。

8	おはなし会の実施	年齢に応じた「おはなし会」を開催します。	継続	○生涯学習課（上福岡図書館）（大井図書館） ・子育て支援課（子育て支援センター）（児童センター）
9	学級訪問	学級訪問や学校招待を実施します。	継続	○生涯学習課（上福岡図書館）（大井図書館）



図書館《おはなし会》

## （２）地域文庫における推進

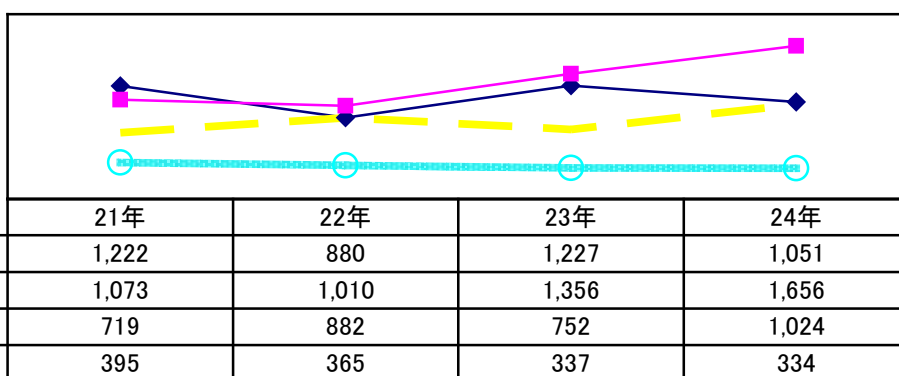
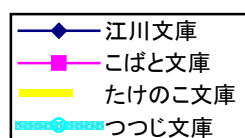
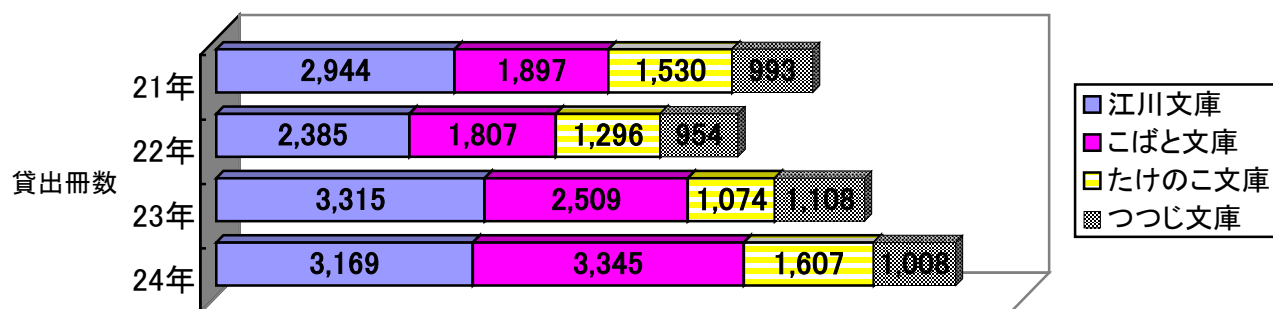
### 【現状と課題】

地域文庫は、子どものために、身近に利用できる図書館として、地域の図書館ボランティアにより4館の公民館分館で運営されています。いずれの地域文庫も、子どもを主な対象とし、図書の貸出のみならず、絵本の読み聞かせや、お楽しみ会などの行事を行っています。

現代の少子化や子どもの読書活動が低下している中で、乳幼児を持つ親の利用が減少している地域文庫、ボランティアが不足している地域文庫もありますが、年間4,000人を超える利用があります。子どもの身近な図書館として、子どもの読書活動の推進に大きな役割を担っています。図書館によるボランティアの育成や開館日の拡大、新刊図書の提供などが地域文庫の発展には欠かせません。



### ■地域文庫利用統計■



利用人数(年間のべ人数)

### 【施策の方向】

図書館としてより多くの新刊図書の提供を行い、地域文庫が行う行事の支援を行います。また、地域の交流の場としての役割も考えながら、ボランティアの育成、読み聞かせの技術の向上のための研修会、講座などを開催します。

### 【具体的な事務事業】

事業番号	取り組み	概要	今後の方向性	○担当課・関連課
10	活動拠点の確保	地域文庫の活動場所である公民館分館での利用を支援します。	継続	○生涯学習課 (大井図書館)
11	図書出版情報の提供	地域文庫に新刊図書情報や基本的な図書の情報などを提供します。	継続	○生涯学習課 (大井図書館)
12	連絡調整	地域文庫間の交流を深め、経験を蓄積できるように、文庫長会議や文庫の集いを実施します。	継続	○生涯学習課 (大井図書館)
13	講座開催	読み聞かせの養成講座やお楽しみ会などの技術を向上させるための講座を開催します。	継続	○生涯学習課 (大井図書館)



地域文庫

### (3) 地域子育て支援センター・児童センター・公民館・その他施設における読書活動の推進

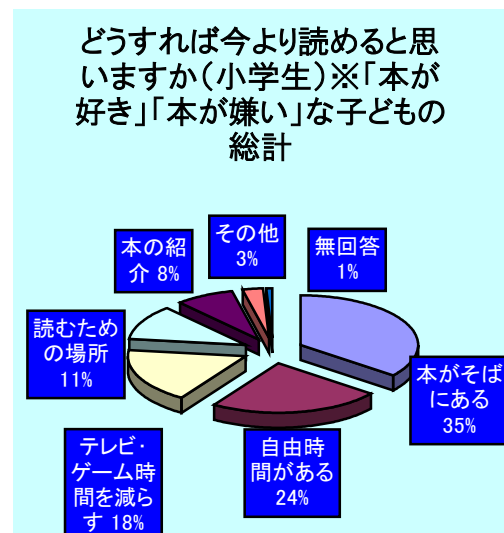
#### 【現状と課題】

地域子育て支援センターでは、各種事業やボランティアの子育てサポーターによる「おはなし会」事業で絵本や紙芝居を楽しみ、絵本の紹介を行っています。

子どもの成長、発達に応じた絵本等の紹介とあわせて、大人も絵本の良さが体験できるように配慮しています。親子が喜びを共有でき、家庭において積極的に読書する習慣を身につけるきっかけにしています。また、図書館司書の講師による「絵本講座」を行っています。絵本等についての知識をはじめ、図書館のサービスを身近に利用できることがわかる大切な機会となっています。

東児童センター及び西児童センターには図書室があり、多くの児童に親しまれています。幼児対象事業として、影絵やパネルシアター、読み聞かせ、絵本の紹介、手遊び、大型紙芝居などを実施し、情操を豊かにする取り組みをしています。また、児童には小倉百人一首や埼玉郷土かるたなど、文字に親しむことを実施しています。

小学生へのアンケートで「どうすれば今より本が読めますか」という設問に対し、「本がそば



にある」が35%、「自由時間がある」が24%、「テレビ・ゲーム時間を減らす」が18%でした。身近に本のある環境の大切さがわかります。

### 【施策の方向】

絵本を介して乳幼児と親のつながりを深め、心豊かな子育てができるきっかけになるよう、読み聞かせの大切さを普及・啓発する事業を推進します。

他機関と連携して読書に親しむ機会を提供し、乳幼児期から絵本を通して親子で感動の共有体験ができる支援活動を進めます。

身近に本のある環境を保障するために団体貸出の利用を推進し、公民館の講座等の機会を捉えて保育の充実を進めます。

### 【具体的な事務事業】

事業番号	取り組み	概要	今後の方向性	○担当課・関連課
14	読書に関する事業のPR	絵本の楽しさを知ってもらうために、読書に親しむ機会の情報をPRしていきます。	継続	○子育て支援課（地域子育て支援センター） （児童センター） ・生涯学習課 ・生涯学習課（大井中央公民館）（上福岡公民館）（上福岡西公民館）
15	読み聞かせ機会のプログラム化	家庭における絵本を通じた親子のふれ合いが充実するように、絵本の読み聞かせの機会を事業に体系立てて反映させます。	継続	○子育て支援課（地域子育て支援センター） （児童センター）
16 関連：23	研修の実施	図書館と連携して講座を実施します。また、子育て支援者向け研修を実施します。	継続	○子育て支援課（地域子育て支援センター） ・生涯学習課（大井中央公民館）（上福岡公民館）（上福岡西公民館）
17 関連：24	図書館情報のPR	利用者に図書館の情報を積極的に提供します。また、子育てサークルにも情報を提供し、支援を充実します。	継続	○子育て支援課（地域子育て支援センター） ・生涯学習課（大井中央公民館）（上福岡公民館）（上福岡西公民館） ・生涯学習課（上福岡図書館）（大井図書館）

18 再掲:34 関連:42	団体貸出の実施	図書館は、各機関が団体貸出等を利用できるよう、案内の配布や配送の実施に努めます。	新規	○生涯学習課（上福岡図書館）（大井図書館）
19	保育の充実	保育付き講座の、保育の中で保育者による読み聞かせを実施します。保育ボランティアに読み聞かせの研修を行います。	新規	○生涯学習課 ・生涯学習課（大井中央公民館） ・生涯学習課（上福岡図書館）（大井図書館）

### 3 学校等における推進

#### (1) 保育所（園）や幼稚園における推進

##### 【現状と課題】

保育所（園）や幼稚園に通っている子どもたちは、日中の時間のほとんどを施設内で過ごします。そこで生活を共にしている友達とともに、普段から慣れ親しんでいる保育士や幼稚園教諭に本を読んでもらうことは、子どもたちにとって家庭で読んでもらうのとは違った感動の共有体験につながっています。また、この時期には一人読みができる子もいますが、まだまだ一冊の物語をじっくり味わって読むことは難しいので、しっかりとした物語性のある本を保育士や幼稚園教諭に読んでもらうことが、潜在的な読書能力を育てる上でとても重要です。

市内の保育所（園）・幼稚園では個別に読み聞かせを行ってはいますが、各施設によりその状況は様々です。各施設のレベルアップに向けて、読み聞かせ技術の研修が求められています。

##### 【施策の方向】

この時期はいわゆる「赤ちゃん絵本」から一步進んだ絵本を本格的に楽しめるようになってきます。この頃にどれだけの良書に接することができるかということで、将来の読書習慣に大きな開きが出てきます。どの子も一定水準の良書に触れられる機会を更に充実しなければなりません。

## 【具体的な事務事業】

事業番号	取り組み	概要	今後の方向性	○担当課・関連課
20 関連：5、 32	司書やボランティアによる読み聞かせ	図書館司書及びボランティアによる、読み聞かせを実施します。	継続	○子育て支援課 (保育所) ・生涯学習課（上福岡図書館）（大井図書館）
21	保育士や幼稚園教諭による読み聞かせ	絵本の読み聞かせを充実して友達や先生と感動を共有します。また、いろいろな生き物と出会い、発見や感動したり、言葉あそびを楽しむ表現力や想像力を養い、感性を磨き創造力を豊かにしたりします。	継続	○子育て支援課 (保育所) ・生涯学習課（上福岡図書館）（大井図書館）
22	保護者への取り組み	家庭において絵本を通じた親子のふれあいが充実するように、保護者対象に絵本等を紹介し、貸出します。	継続	○子育て支援課 (保育所)
23 関連：16	図書館との連携	図書館と連携して講座を実施し、行事に図書館司書を派遣要請します。	継続	○子育て支援課 (保育所) ・生涯学習課（上福岡図書館）（大井図書館）
24 関連：17	保護者への情報提供	保育所が図書館から情報を受け、保護者に積極的に情報提供します。	継続	○子育て支援課 (保育所) ・生涯学習課（上福岡図書館）（大井図書館）



保育所《図書館ボランティアによるおはなし会》

## (2) 小・中学校における推進

### 【現状と課題】

生活習慣、生活環境の多様化や電子通信機器の普及により、子どもたちの読書に対する関心も変化しています。学校では、学年が高くなるにつれ読書量が減少する傾向（アンケート

結果から1カ月間1冊も本を読まない回答は小学2年生で12.9%、5年生で11.1%、中学2年生で15.7%、高校2年生で63.0%が伺えます。このような現状の中で、子どもが読書に親しむ機会を充実させることはとても大切なことです。

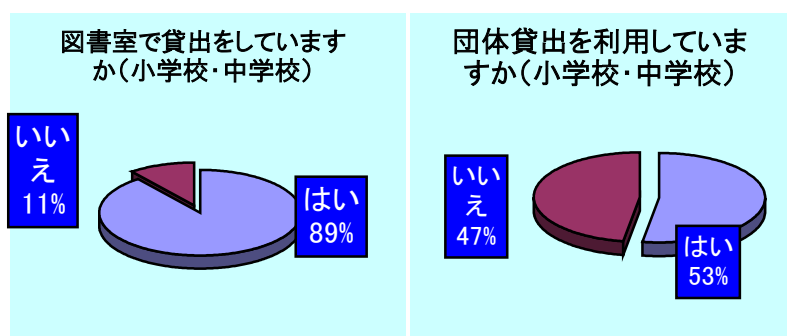
近年、いわゆる「読み聞かせ」活動が盛んになって、市内のほとんどの小学校で保護者や学校図書活用促進員<sup>7</sup>等による読み聞かせが行われています。アンケートの結果からも、読み聞かせを受けた経験により、子どもの本への興味に明らかな差が生じています。このことから、「読み聞かせ」は小学校段階の子どもたちの読書への興味・関心を高めるために有効な手段と言えます。

一方、中学生になると(インターネット活用時間1日1時間以上という回答が74.9%)個人の興味も多様化してくるため一律の読書指導は難しいのが現状です。また、中学生の関心は、携帯による友人とのコミュニケーションや受験のための学習に向かい、社会の変化や、自分の将来の生き方、世界の中での自身の在り方について深く考えるような機会が少なくなっている傾向が見られます。このような現状の中で、読書活動を充実させ、自立への一歩を自分自身で考えられるように導く必要があります。

学校図書室についてのアンケートで「学校図書室で貸出をしていますか」の設問に対し、「はい」が89%、「いいえ」が11%でした。また、「団体貸出を利用していますか」の設問では「はい」が53%、「いいえ」が47%でした。図書室があっても貸出を行っていない学校があり、団体貸出も利用していない学校もあることから、学校と図書館の連絡調整が必要であると考えられます。

#### 【施策の方向】

小中学校時代は本来、最も本に親しめる大切なときです。この時期に培われた読書習慣は生



<sup>7</sup> 学校図書活用促進員

ふじみ野市が採用している学校図書館担当職員。読書活動に関する知識、意識を高く持つ有償ボランティア。学校図書館の図書の整理や環境づくりにあたる。

涯にわたって影響を及ぼすと言っても過言ではありません。そのためには子どもたちの身近なところに、いつでも、好きなときに、読書を楽しむことのできる場所の整備を行い、本にふれる様々な機会が得られるよう、図書室など読書環境の整備と読書の良さを理解させる人材の配置が求められます。

### 【具体的な事務事業】

事業番号	取り組み	概要	方向性	○担当課 ・ 関連課
25	授業における読書活動の充実	新学習指導要領の大きなねらいである児童生徒の言語能力や表現力、感じる力等を育てるために、授業における読書活動を充実させます。	継続	○学校教育課
26 再掲：58	全校一斉読書タイム	「全校一斉読書タイム」など読書活動を定着させるための取り組みを各学校が実施します。	継続	○学校教育課
27	保護者やボランティアによる読み聞かせ	保護者やボランティアによる「読み聞かせ」を充実させ、児童生徒の読書に関する興味関心を高めます。	継続	○学校教育課
28	P T A組織との連携による取り組み	保護者への啓発を進めるとともに、学校とP T A組織との連携による取り組みを推進します。	継続	○学校教育課
29	学級文庫と団体貸出	学級文庫の実施や図書館からの団体貸出を活用し、児童生徒の読書に親しむ機会を広げます。	継続	○学校教育課
30 再掲：37	連絡会議の開催	司書教諭や図書主任と図書館司書の連絡調整会議の開催に向けて努力します。	新規	○生涯学習課（上福岡図書館） ・ 学校教育課

## 4 図書館・地域・学校等の連携、協力

### 【現状と課題】

図書館では市内にある5つの小学校に移動図書館車を巡回し、児童へ図書の貸出を行っています。学校に直接資料を持ち込んで貸出しを行うことで、多くの子どもたちが読書に親しむ機会として利用しています。本をのせた台車を教室まで運び、天候に左右されない移動図書館は県内図書館では他にありません。

また、図書館司書が直接学校へ出向き「ブックトーク」や本の紹介を行い、本と図書館に

親しんでもらうきっかけづくりになっています。平成6年に上福岡図書館が開館し、市民の読書活動の拠点としての役割を果たしてきました。また、市内小学校では「読み聞かせ」活動も盛んになり、司書による「学級訪問」や図書館主催の「読み聞かせ講座」も実施してきました。

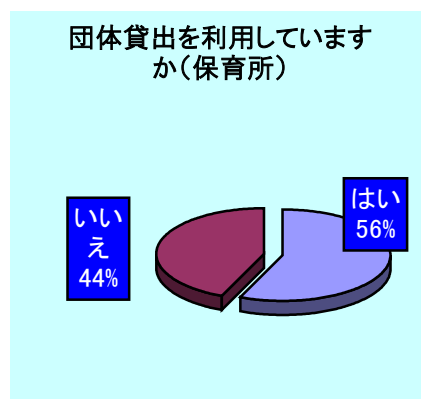
昭和63年に大井図書館が開館して以来、地域の図書館として、地域文庫の方と協力して児童サービスの向上を図ってきました。その中で、読み聞かせのボランティア育成にも務め、現在の図書館での「おはなし会」の読み聞かせ、小学校での読み聞かせと活動が継続されてきています。

特に東武東上線ふじみ野駅を中心とした地域は人口も増え、ふじみ野市をふるさととする子どもたちが増加する中で、東西2カ所の児童センターや保育所併設の3カ所の地域子育て支援センター、放課後児童クラブでの2カ所の子育てサロン、子育てふれあい広場が設置されふじみ野市の将来を担う子どもたちを地域全体で見守り、育てる体制設備が進んでいます。

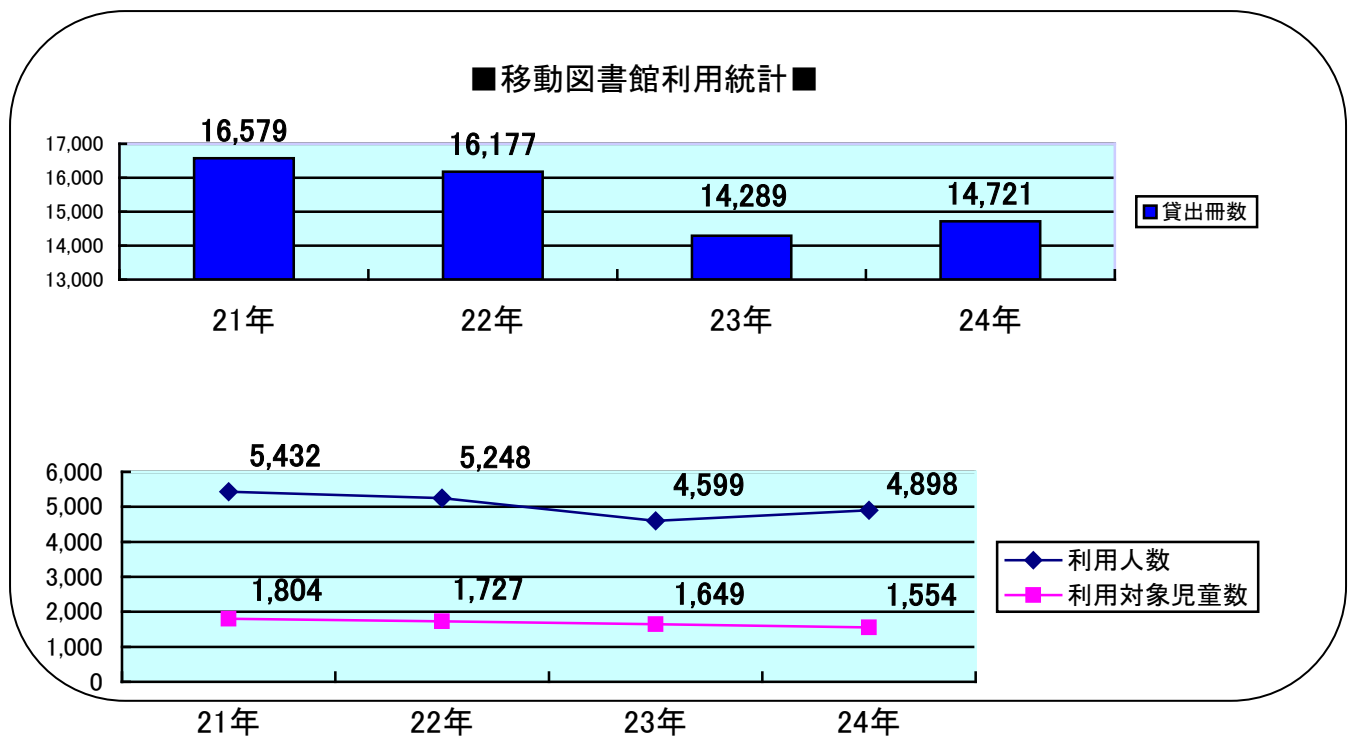
市内の高等学校・大学と図書館との連携・協力関係をより一層深め、多角的・具体的な読書普及の取り組みを進める必要があります。

保育所へのアンケートで、「団体貸出を利用していますか」の設問に対し、「はい」が56%、「いいえ」が44%でした。利用していない施設も多いことから図書館の利用方法について周知を図ります。

利用登録については、移動図書館巡回校の児童は利用カードを作成していますが、移動図書館巡回対象でない小学校児童にも図書館を利用できるように、利用登録の促進に努めます。







### 【施策の方向】

図書館と児童センター、保育所、学校等の連携・協力を進めます。また、地域ボランティアとの連携・協力を充実させます。

### 【具体的な事務事業】

事業番号	取り組み	概要	今後の方向性	○担当課 ・ 関連課
3 1	移動図書館の実施	移動図書館の巡回を継続します。	継続	○生涯学習課（上福岡図書館） ・学校教育課
3 2 再掲：5 関連：20	司書の派遣	保育所や学校行事へ図書館司書や図書館ボランティアを講師として派遣し連携を深めます。	拡充	○生涯学習課（上福岡図書館）（大井図書館） ・学校教育課 ・子育て支援課（保育所）
3 3	学校行事への協力	チャレンジ事業、調べもの学習、社会科見学など学校行事に協力します。	継続	○生涯学習課（上福岡図書館）（大井図書館） ・学校教育課

34 再掲：18 関連：42	団体貸出の実施	児童センター、保育所、学校等に対する団体貸出を充実できるよう、配送の充実に向けて努力します。	拡充	○生涯学習課（上福岡図書館）（大井図書館） ・学校教育課 ・子育て支援課（地域子育て支援センター）（児童センター）（保育所）
35	高等学校・大学との連携	高等学校、大学との連携・協力の実現に向けて努力します。	継続	○生涯学習課（上福岡図書館）（大井図書館）
36	案内の作成	保育所、児童センター、地域子育て支援センター等向けの利用案内を作成し配布します。	新規	○生涯学習課（上福岡図書館）（大井図書館） ・子育て支援課
37 再掲：30	連絡会議の開催	司書教諭や図書主任と図書館司書の連絡調整会議の開催に向けて努力します。	新規	○生涯学習課（上福岡図書館） ・学校教育課
38	利用登録の促進	小学校に入学した児童が図書館を利用できるよう、学校との連携の中で利用登録の促進に努めます。	新規	○生涯学習課（上福岡図書館）（大井図書館） ・学校教育課



小学校《移動図書館「ともしび号」》

## 第2章 子どもの読書活動を推進するための環境の整備・充実

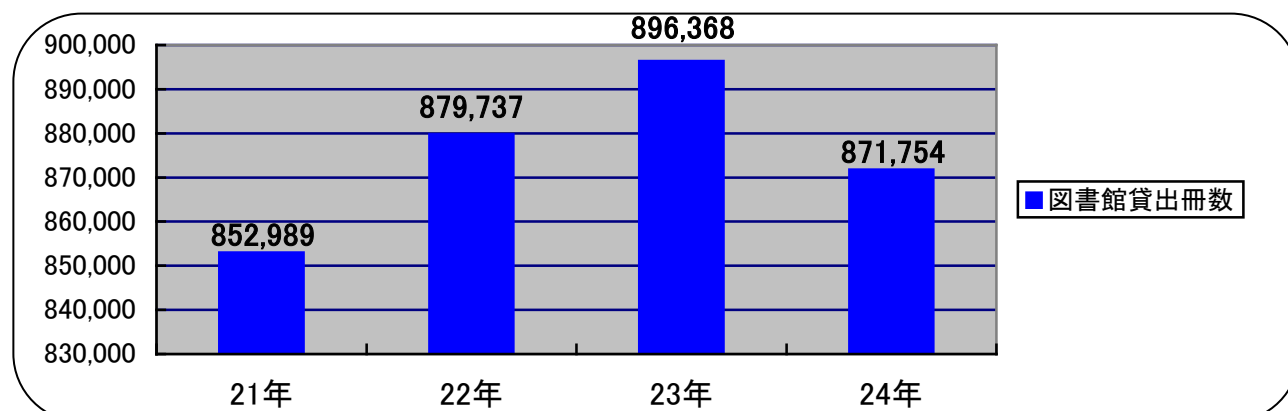
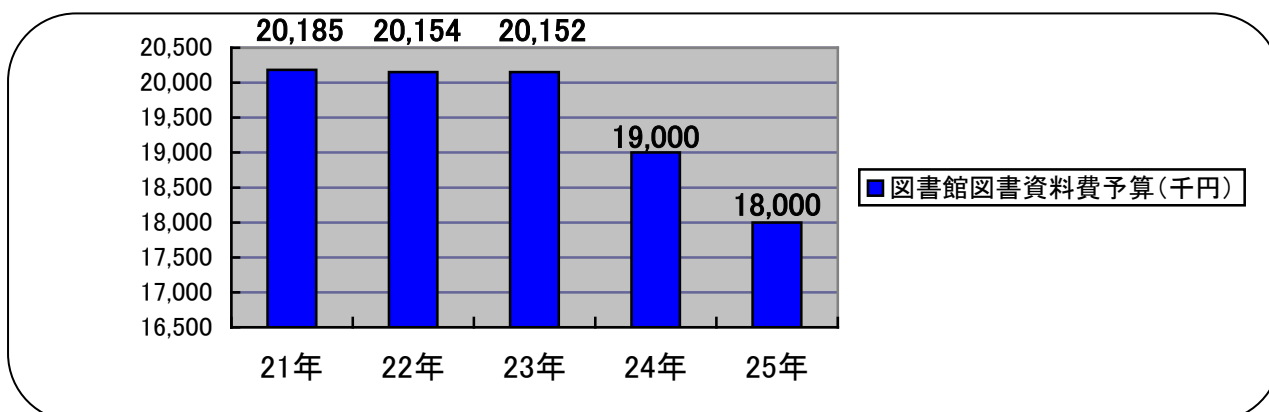
### 1 図書館の整備・充実

#### (1) 図書資料の整備・充実

##### 【現状と課題】

図書館運営にとって重要なことは、施設、職員そして資料費です。とりわけ資料費の額は、図書館機能を左右する重要な要素です。しかし、地方財政の縮減の中で資料費は削減化傾向にあり(表参照)、平成25年度の資料費は18,000千円です。こうした厳しい状況は今後も続くことが予想されることから、資料費の確保はもちろんのこと、資料の選択に当たっては、利用者や地域の要求を的確に把握していくことが重要になっています。

また、図書館以外の施設では、絵本や紙芝居等の子ども向け資料費は限られたものがありますので、図書館が団体貸出などのサービスで各施設を支援していく必要があります。



## 【施策の方向】

限られた予算を最大限に効率よく活用し、時代に合致した図書館サービスを提供するために、常に利用者である市民の要求に的確にこたえ、最大限の支援を行えるよう努めます。

図書館以外の施設に対しては、団体貸出を積極的に行います。

## 【具体的な事務事業】

事業番号	取り組み	概要	今後の方向性	○担当課 ・ 関連課
39	読書環境づくり	子ども達が本を通して心豊かな成長を遂げるために、また保護者が地域の中で楽しく子育てが出来るための支援として、読書環境づくりに努めます。	継続	○生涯学習課(上福岡図書館)(大井図書館)
40	司書の配置と蔵書構成	経験ある司書を配置し、利用者が気軽に相談しながら本を選べる蔵書構成に努めます。	継続	○生涯学習課(上福岡図書館)(大井図書館)
41	図書館資料の計画的な整備	図書館の資料費を適切に確保し、図書館資料の計画的な整備を進めます。	継続	○生涯学習課(上福岡図書館)(大井図書館)
42 関連:18、 34	団体貸出の実施	総合的な学習の時間に活用できるような図書館資料の充実に努め、団体貸出を実施します。	拡充	○生涯学習課(上福岡図書館)(大井図書館)

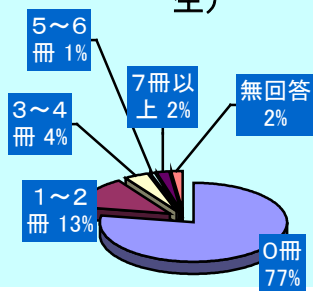
## (2) 設備等の整備・充実

### 【現状と課題】

図書館では、児童コーナーとティーンエイジコーナーを館内に設置しています。児童コーナーは、児童が保護者と座って絵本などを選ぶことができるようになっています。乳幼児を連れた利用者が安心して利用できるように施設の改善が課題となっています。

また、近年の情報通信技術の発達は、子どもの読書環境にも大きな影響を与える可能性があります。例えば、電子書籍が次々に出版され、読書を楽しむための新しい電子端末も相次いで登場しています。今後も電子書籍が急速に普及しつつあることや平成24年に著作権法が改正され、国立国会図書館において電子化された所蔵資料が、図書館等に対してインターネット送信を行うことができるようになってきています。

### 1ヶ月に読む電子図書の冊数(小学・中学・高校生)



電子図書に関するアンケートでは、「1ヶ月に読む電子図書の冊数」の設問に対して、「0冊」が77%ですが、1冊以上読んでいる子どもが20%います。子どもたちに、電子図書の普及が進んでいることが伺えます。

#### 【施策の方向】

児童コーナーやティーンエイジコーナーの整備・充実に努めます。特に新しい情報通信技術を活用した読書環境に対応できる整備を目指します。

#### 【具体的な事務事業】

施策番号	取り組み	概要	今後の方向性	○担当課 ・ 関連課
4 3	授乳コーナーの環境整備	授乳コーナーを気軽に使える環境整備に努めます。	新規	○生涯学習課（上福岡図書館）（大井図書館）
4 4	魅力あるコーナーづくり	子どもたちにとって魅力ある「場」となる季節感のあるコーナーづくりに努めます。	新規	○生涯学習課（上福岡図書館）（大井図書館）
4 5	情報支援コーナーの充実	情報通信技術の向上に合わせたサービスが気軽に活用できる環境整備に努めます。	新規	○生涯学習課（上福岡図書館）（大井図書館）



図書館《季節の展示コーナー》

### (3) 図書館職員の充実

#### 【現状と課題】

図書館では司書資格を有する職員を配置し、図書資料の選書・収集・提供、利用者に対する読書相談、子ども読書活動に対する指導など、子どもの読書活動を推進する上で、極めて重要な役割を果たしています。市民からの多様な資料要求に応えるためには職員のスキルアップが欠かせないため、研修に参加し、職員が持つ専門的知識・技術をさらに高めていく必要があります。

#### 【施策の方向】

関連機関による職員研修を利用し、専門的な知識・技術を身に付けて図書館運営に活用していきます。

#### 【具体的な事務事業】

事業番号	取り組み	概要	今後の方向性	○担当課 ・ 関連課
4 6	司書の資質向上	司書の、経験年数を考慮した各種講習会への参加や自主研修の奨励などにより、資質の向上に努めます。	継続	○生涯学習課（上福岡図書館）（大井図書館）

### (4) 図書館利用に障がいのある子どものための諸条件の整備・充実

#### 【現状と課題】

図書館利用に障がいがある人への奉仕として対面朗読、録音図書の作成、さわる絵本、布絵本、大活字本の貸出を行うとともに、全国の図書館から「録音図書」の取り寄せも行っています。また、県立特別支援学校の職業体験の受け入れも実施しています。

日本語以外の言語を母国語とする親と子どもは図書館利用に困難があり、身近に母国語の本やおはなしにふれる機会が少ないことが課題です。

#### 【施策の方向】

子どもの読書活動を支援するため、施設面での配慮とさわる絵本、布絵本、マルチメディア

アDAISY (デイジー) 図書<sup>8</sup>、外国語で書かれた絵本など資料の整備・充実を図ります。障がいのある子どもへのサービスについて、ボランティア団体などの協力を得ながら情報の収集や提供に努めます。

### 【具体的な事務事業】

事業番号	取り組み	概要	今後の方向性	○担当課・関連課
47	バリアフリー 絵本の充実	さわる絵本、布絵本、マルチメディアDAISY (デイジー) 図書などの資料の充実に努めます。	継続	○生涯学習課 (上福岡図書館) (大井図書館) ・障がい福祉課
48	日本語以外の言語を母国語とする子どもへの支援	日本語以外の言語で書かれた絵本や児童書の充実に努めます。	新規	○生涯学習課 (上福岡図書館) (大井図書館) ・生涯学習課
49	図書館利用のきっかけ作り	ボランティアの協力を得ながら、読み聞かせ等を通して図書館を利用するきっかけ作りに努めます。	新規	○生涯学習課 (上福岡図書館) (大井図書館) ・障がい福祉課

## 2 学校図書館の整備・充実

### (1) 図書資料の整備・充実

#### 【現状と課題】

学校図書館には豊かな心を育む読書センターとしての機能と、児童・生徒の自発的、主体的な学習活動を支援する学習情報センターとしての機能があります。市内の学校においては、学校図書館図書資料の整備が年々進められているところではありますが、まだ十分とは言えない状況にあります。

学校図書館がその機能を発揮するためには、学校図書館資料の整備が図られなければなりません。

<sup>8</sup> マルチメディアDAISY (デイジー) 図書

識字障がい者 (ディスレクシア)、学習障がい者、視覚障がい者、認知障がい者等が専用機器やパソコンを使用して読んだり、聴いたり、映像を見ることが出来る本 (CD-ROM) です。文字、音声、テキスト、画像、動画が同時に再生されて読書の手助けをします。

また、中学校においては、学校図書館図書標準<sup>9</sup>に準じて計画的に図書資料の整備・充実を図っていくことが求められています。

### 【施策の方向】

学校においては、学校図書館の図書の充実を図っていくよう努めます。特に、子どもの知的活動を増進し、多様な興味・関心にこたえる魅力的な図書資料や各教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間、外国語活動において多様な教育活動を展開していくための図書資料などの整備・充実を目指します。

### 【具体的な事務事業】

事業番号	取り組み	概要	今後の方向性	○担当課 ・ 関連課
5 0	学校図書館図書標準の達成	「学校図書館図書標準」の早期達成を目指し、計画的に図書資料の整備・充実を図っていきます。	継続	○学校教育課 ・ 教育委員会総務課
5 1	魅力的で多様な図書の整備	子どもたちの多様な興味・関心にこたえる魅力的な図書、社会の変化に対応した図書を整備していきます。	継続	○学校教育課 ・ 教育委員会総務課
5 2	既刊書の買い替え	新刊書に加え、既刊書の買い替え等も進めていきます。	継続	○学校教育課

## (2) 設備等の整備・充実

### 【現状と課題】

学校図書館が子どもたちにとって心のオアシスとなるよう、環境の整備を進めていく必要があります。

学校では、校長のリーダーシップの下、司書教諭<sup>10</sup>を中心として学校図書館の環境整備に取り組むとともに、ボランティア等の協力を得て、読書を楽しむ空間としての学校図書館づ

<sup>9</sup> 学校図書館図書標準

平成5年度に文部省(当時)が、公立の義務教育諸学校において、学校図書館の図書の整備を図る際の目標として設定したものの。

<sup>10</sup> 司書教諭

司書教諭は、学校の読書活動を中心となって進める者。司書資格を有する教員の中から学校長が決定する。



くりを進めています。

### 【施策の方向】

子どもたちが読書を楽しむ空間としての学校図書館の設備等の整備・充実を一層進めていきます。

### 【具体的な事務事業】

事業番号	取り組み	概要	今後の方向性	○担当課 ・ 関連課
5 3	学校図書館環境の改善	各学校では、机や書架のレイアウト、新刊書の紹介などの掲示等を工夫したり、リラックスして読書に親しむ空間を創出したりするなど、図書館環境の改善に取り組みます。	継続	○学校教育課 ・ 教育委員会総務課
5 4	学校図書館の拡充	学校の教室数の状況に応じて、学校図書館としての教室の拡充を検討します。	継続	○学校教育課 ・ 教育委員会総務課

## （3）司書教諭等図書館担当職員の配置の推進

### 【現状と課題】

市では、司書教諭と学校図書活用促進員を各学校に1名ずつ配置し、読書活動の推進・充実を進めています。また、ボランティアによる本の整理や環境づくり等も取り入れ、学校図書館を利用しやすくしています。

今後は、司書教諭等の図書館担当職員の力量を高めていくとともに、校内において司書教諭が図書館運営に十分な役割を果たすことができるよう校内のバックアップ推進協力体制の確立を図っていく必要があります。

### 【施策の方向】

司書教諭のみならず、全ての教職員が連携して学校図書館を活用した子どもの学習活動・読書活動を推進します。また、司書教諭のための研修会を充実させ、図書館運営に十分な役割を果たすことができるよう支援するとともに、学校図書館運営のための校内体制を確立するため、各種会議において指導・助言を行います。

### 【具体的な事務事業】

事業番号	取り組み	概要	今後の方向性	○担当課 ・ 関連課
5 5	校内組織の活性化	司書教諭等図書館担当職員を中心とした校内組織の確立と活性化に努めます。	継続	○学校教育課
5 6	資格取得の促進	小・中学校教員の司書教諭資格の取得を促進します。	継続	○学校教育課
5 7	研修会の充実	市教育研究図書館部会研修会の充実を図ります。	継続	○学校教育課
5 8 再掲：26	全校一斉読書タイム	「全校一斉読書タイム」など読書活動を定着させるための取り組みを各学校が実施します。	継続	○学校教育課

### (4) 障がいのある子どものための諸条件の整備・充実

#### 【現状と課題】

障がいのある子どものための読書活動推進の拠点となる学校図書館の整備・充実、子どもたちの自主的な読書活動を促すための創意工夫が重要であり、障がいのある子どもの障がいの種類や程度、発達段階に応じた読書活動を推進するための諸条件を整備することが求められています。

#### 【施策の方向】

学校図書館の環境整備を進める上で、拡大図書、布絵本、紙芝居、映像資料等子どもの障がいの状況に応じた図書や資料の充実を図ります。

### 【具体的な事務事業】

事業番号	取り組み	概要	今後の方向性	○担当課 ・ 関連課
5 9	資料整備	個々の子どもに適した、きめ細やかな指導のための資料整備に努めます。	継続	○学校教育課
6 0	読書指導の充実	特別支援教育関係の研修会で読書指導についても取り上げ、その充実を図ります。	継続	○学校教育課

### 第3章 子どもの読書活動に関する啓発・広報の推進

#### 1 「子ども読書の日」を中心とした啓発・広報

##### 【現状と課題】

「子ども読書の日」や読書週間などの機会を捉えながら、様々な啓発・広報を実施することが求められています。図書館で毎週定例的に「おはなし会」「えいが会」などを行っています。また、図書館だより等を発行して図書館情報を提供しています。

学校では、「子ども読書の日」を中心とした読書活動を実施しています。図書委員会の児童が主体となって進める読書週間の取り組みやボランティアによる読み聞かせ等を行っています。

##### 【施策の方向】

今後は、地域・学校における「子ども読書の日」にちなんだ取り組みを行うよう働きかけを進めていきます。また、家庭においても一層の読書活動が進められるよう市報、ホームページ、図書館だより等を活用した「子ども読書の日」の周知、啓発を進めていきます。

##### 【具体的な事務事業】

事業番号	取り組み	概要	今後の方向性	○担当課 ・ 関連課
6 1	子ども読書の日 の推進	図書館や学校等で、「子ども読書の日」を中心とした取り組みを推進します。	継続	○生涯学習課（上福岡図書館）（大井図書館） ・ 学校教育課
6 2	啓発・広報	「子ども読書の日」や「読書週間」などの機会をとらえながら、様々な啓発・広報を実施します。	継続	○生涯学習課（上福岡図書館）（大井図書館） ・ 学校教育課

#### 2 優良な図書の普及

##### 【現状と課題】

小・中学校では、県が配付する推薦図書リストなどを基に、子どもたちや保護者に向けて優良な図書の紹介を行っています。

### 【施策の方向】

児童奉仕の経験のある図書館職員による基本図書や、優良な新刊書の選定と紹介を実施していきます。

### 【具体的な事務事業】

事業番号	取り組み	概要	今後の方向性	○担当課 ・ 関連課
63	推薦図書リストの作成・配布	図書館で独自の推薦図書リストを作成し配布します。図書の購入・整備に努めます。	継続	○生涯学習課（上福岡図書館）（大井図書館）

## 第4章 子どもが読書に親しむための支援体制の整備

### 【現状と課題】

前計画では、子どもの読書活動の推進に関して、関連機関・各種団体が連携して協力するための新たな組織の設立には至りませんでした。本計画では、既存の組織の活用による推進体制の確立に努めます。

子ども読書活動を推進するためには、市・図書館・学校・幼稚園・保育所及び関係団体などが連携しあうことが必要です。

そこで、本計画の推進に当たり関係各機関、団体と積極的に情報意見交換ができる総合的な推進体制の場として、「子育て支援ネットワーク連絡会議」を活用し、互いに協力して計画の推進に努めます。

### 【施策の方向】

本計画の推進に当たっては、市関係課の連携を図るためのネットワークを形成し、学校等や、PTAや地域ボランティアなどで構成する図書館協議会に諮りながら取り組みます。図書館協議会は、計画の進捗状況を把握するとともに、市に対して助言その他を行います。

### 【具体的な事務事業】

事業番号	取り組み	概要	今後の方向性	○担当課・関連課
64	子どもの読書活動支援ネットワーク	保育所・幼稚園・学校・図書館等幅広く連携し、定期的に情報交換を行うことで、家庭や地域に対して子どもの読書活動の推進を効果的に図るため、「子育て支援課所管の子育て支援ネットワーク連絡会議」との連携・協力を図ります。	新規	○生涯学習課（上福岡図書館）（大井図書館） ・子育て支援課
65	子どもの読書活動支援体制による検証	本計画の推進に当たっては、市関係課の連携を図るとともに、学校等や、PTA、地域ボランティアなどで構成する図書館協議会が計画実現のための取り組み状況を把握し各施策の進捗管理を行います。	新規	○生涯学習課（上福岡図書館）（大井図書館）

## 数値目標

目標項目	ふじみ野市の目標値		担当課	事業番号
	現状（24年度）	平成30年		
図書館の児童図書の蔵書冊数（12歳以下の子ども1人あたり）	10.4冊	11冊	生涯学習課 （図書館）	40
図書館の年間貸出冊数（12歳以下の子ども1人あたり）	23.7冊	25冊	生涯学習課 （図書館）	38
1か月に1冊以上本を読む児童・生徒の割合	小学生84% 中学生82%	小学生85% 中学生83%	生涯学習課 （図書館）	10、31 34
本を読むことが好きだと答えた児童・生徒の割合	75%	76%	生涯学習課 （図書館）	5、6、7、 39
図書標準を達成している学校数の割合	小学校10校/13校 中学校2校/6校	小学校13校/13校 中学校6校/6校	学校教育課	50
司書教諭の設置割合	92.3%	100%	学校教育課	55 関連:56、57
ブックスタートパックの配付率	93.5%	95%	子育て支援課	1
おはなし会への参加者数	4,027人	4,100人	生涯学習課 （図書館）	8
	817人	820人	子育て支援課 （子育て支援センター）	8
	647人	1,400人	子育て支援課 （児童センター）	8
子どもと読書をつなぐ事業等取組数	2件	2件	生涯学習課（大井中央公民館）	2 関連:14
	2件	2件	生涯学習課（上福岡公民館）	2 関連:14
	2件	2件	生涯学習課（上福岡西公民館）	2 関連:14
	0件	5件	生涯学習課 （資料館）	15 関連:14

## 子ども読書活動推進計画

# アンケート調査結果

- |                         |       |
|-------------------------|-------|
| 1 子ども読書活動推進計画アンケート調査報告  | …(1)  |
| 2 子ども読書活動推進計画アンケート実施一覧表 | …(3)  |
| 3 アンケート集計結果             | …(4)  |
| 4 アンケート用紙               | …(32) |

# アンケート調査報告

## 1. 調査の概要

ふじみ野市子ども読書活動推進計画の策定のために、子どもの読書活動の現状を把握するとともに子どもの読書活動に影響を与える要因との関連性を明らかにすることを目的として実施しました。

## 2. 実施時期

平成25年7月11日～7月26日

## 3. 実施一覧

別紙一覧表のとおり（配布数2,000枚、回収数1,974枚）

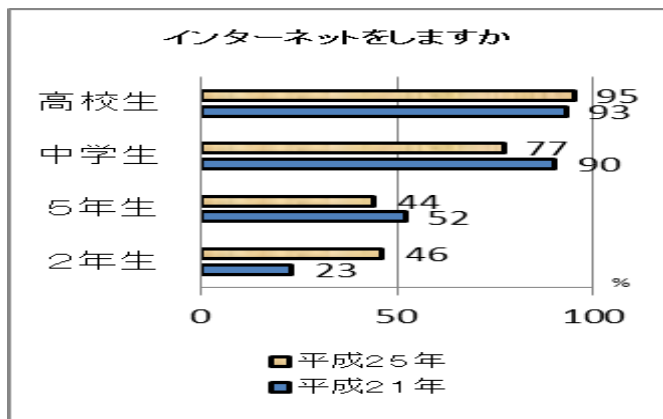
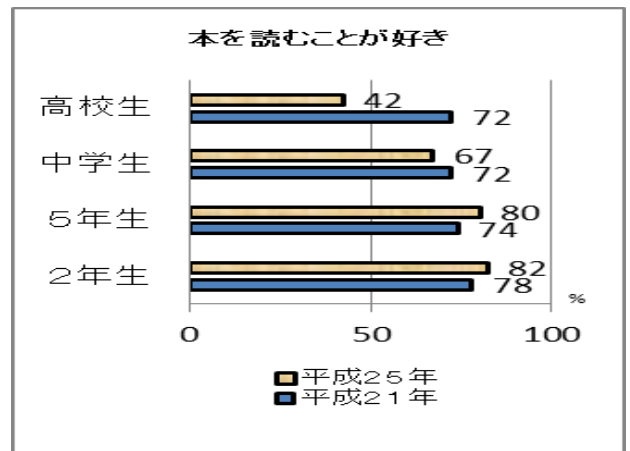
## 4. 数値の取り扱いについて

- ① 百分率の比率は%で表し小数点以下を四捨五入して算出したので、合計が100%を上下することがあります。
- ② 図表の中には「無回答」を省略している部分があるので、合計が全体の数と一致しないところがあります。

## 5. 調査結果より

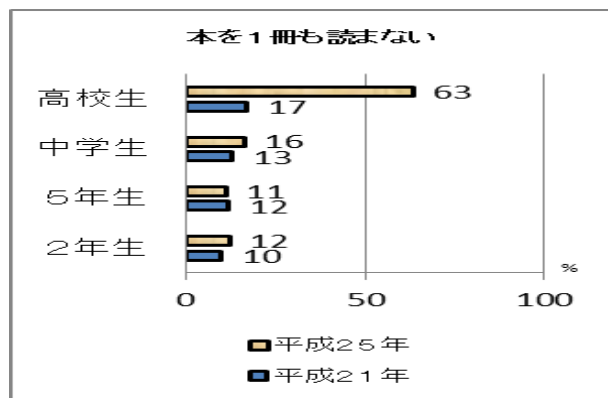
子ども（小学生・中学生・高校生）の「本を読むことが好き」と「本を読むことが嫌い」の割合はおおよそ8対2の比率です。男女の違いはあまり見られません。5年前の調査と比べると、小学2年生が78%から82%に、小学5年生が74%から80%に、中学生が72%から67%に、高校生が72%から42%となっており、小学生は微増ですが、中学生、高校生は減少しています。

インターネットをするかの問いに対して、小学生は2年生で23%から46%に倍増していますが、5年生は52%から44%、中学生は90%から77%減少、高校生は93%から95%と横ばいです。また、テレビ、ゲームなどを見ている時間も5年前とほとんど同じ比率です。





1か月に本を1冊も読まない子どもの割合は小学生では変化なし、中学生が5%増、高校生では26%増の63%となっています。マンガ・雑誌の読む冊数も、読まない中学生、高校生が増えています。



電子図書を読む冊数の問いに対し、全体で2割の子どもが「1冊以上読んでいる。」と答えてはいますが、電子図書があまり充実していな

い現状では、学習参考書、マンガなどの内容の電子図書を読んでいるのではないかと考えられます。なお、電子図書についての問いは社会の変化に伴い、今回加えた設問です。

中学生、高校生の「本を読むことが好き」な割合が減っていますが、「どうすれば今より本を読めると思うか」という問いに対して、本が嫌いな子どもたちの多くが、「本がそばにある」、「自由時間が今よりある」と回答していることが注目されます。

また、本が好きと答えている子どもが、「読み聞かせをたくさんしてもらった」と答えているのが見られ、読書についても、「楽しい」、「おもしろい」と、読書は楽しいものと捉えているに対し、中学生、高校生の本が嫌いと答えている子どもでは「読書は面倒」、「読みたい本がわからない」と答えているところが特徴的です。さらに、学校図書館への希望について「本のことを教えてくれる人がいる」「どんな本があるかすぐわかる」に希望が高くなっています。

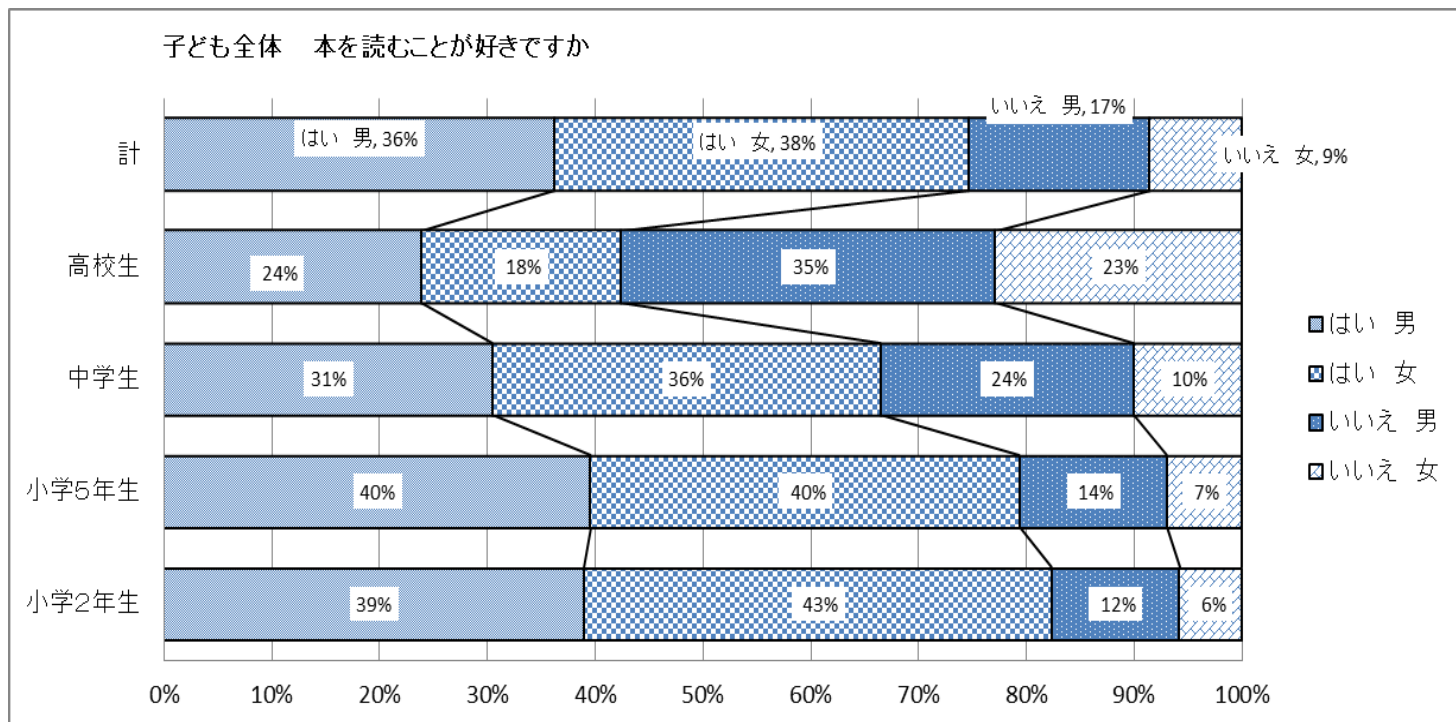
幼稚園・保育園保護者についての読み聞かせについては、「ほぼ毎日読み聞かせをしている」「週の半分ぐらい読み聞かせている」「週に1～2回」をあわせると8割ぐらいであり、以前とあまり変わらず、読み聞かせをしているのが母親であることも変わっていません。ほかの項目についてもあまり変化は見られません。

小学校、中学校、高校、保育所、幼稚園の各施設においても、読書活動、読書指導読書支援については引き続き実施されています。

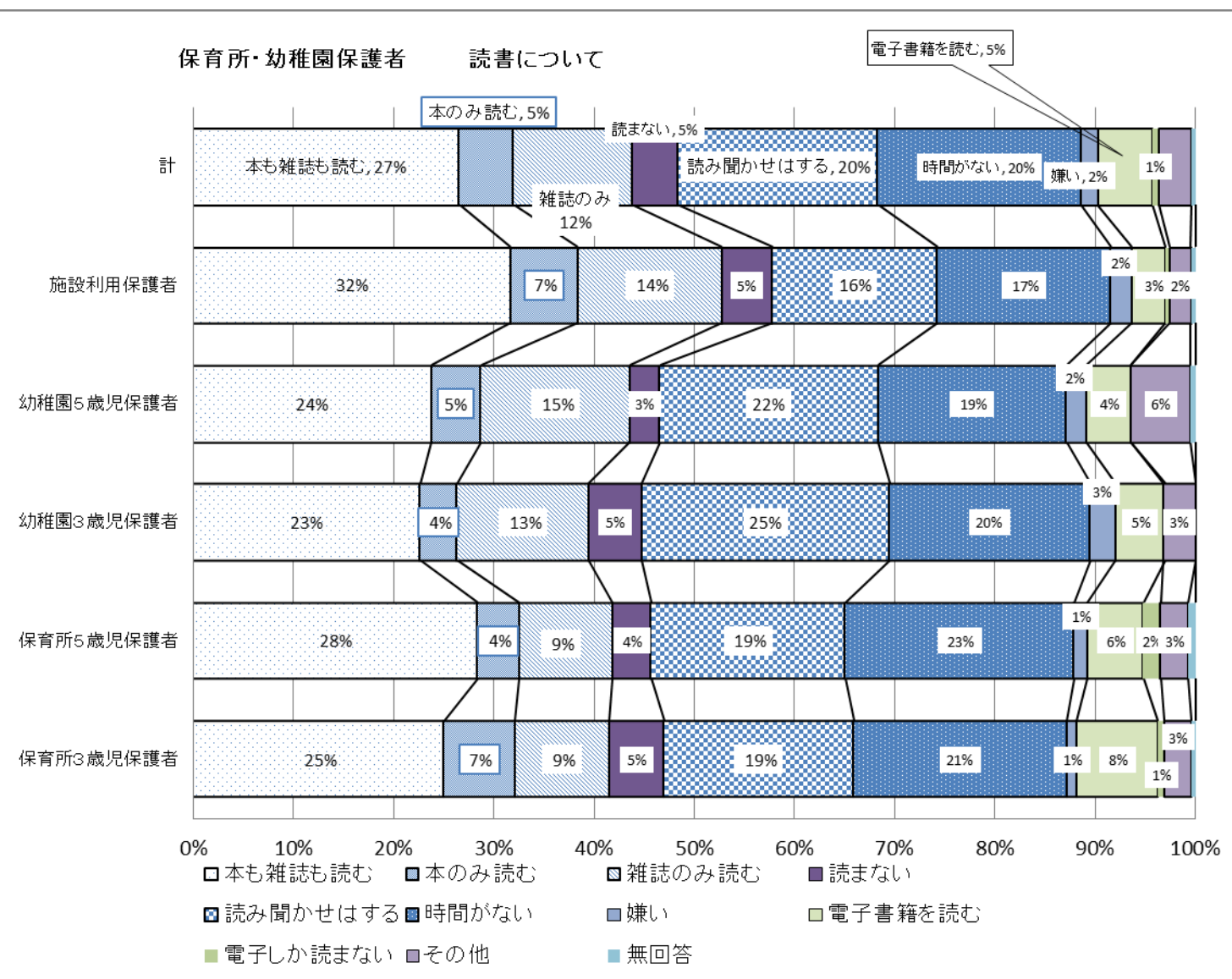
子ども読書活動推進計画アンケート実施一覧

	施設名	所在地	2年生	5年生	施設
小学校	福岡小学校	西原2-6-1	26	38	1
	駒西小学校	駒西3-6-1	25	29	1
	上野台小学校	福岡1-2-1	31	37	1
	元福小学校	元福岡3-15-2	22	21	1
	さぎの森小学校	駒林28	19	36	1
	西小学校	西2-10-25	34	34	1
	大井小学校	苗間37	34	36	1
	鶴ヶ丘小学校	鶴ヶ岡1-3-1	28	30	1
	亀久保小学校	ふじみ野2-22-1	35	32	1
	東原小学校	大井2-9-1	34	30	1
	西原小学校	大井武蔵野1322-4	22	24	1
	三角小学校	亀久保1709-1	20	39	1
	東台小学校	大井710-1	30	26	1
		合計		360	412
中学校	施設名	所在地	2年生		
	福岡中学校	上野台3-3-1	36		1
	葦原中学校	川崎310	32		1
	花の木中学校	中福岡213-1	35		1
	大井中学校	苗間24-1	38		1
	大井西中学校	大井武蔵野1408-1	29		1
	大井東中学校	ふじみ野3-2-1	34		1
	合計		204		6
高等学校	施設名	所在地	2年生		
	ふじみ野高等学校	大井1158-1	92		1
	合計		92		1
市立保育所	施設名	所在地	年少児保護者	年長児保護者	
	上野台保育所	上野台1-1-1	12	14	1
	霞ヶ丘保育所	霞ヶ丘1-5-5	11	10	1
	西保育所	西2-5-27	13	11	1
	新田保育所	新田1-4-23	7	15	1
	滝保育所	長宮2-1-23	11	13	1
	亀久保保育所	大井中央2-1-37	10	8	1
	亀居保育所	亀久保1256-1	11	12	1
	鶴ヶ岡保育所	鶴ヶ岡3-12-25	17	10	1
大井保育所	市沢2-5-1	16	12	1	
	合計		108	105	9
私立保育園	施設名	所在地	年少児保護者	年長児保護者	
	たんぼぼ保育園	駒林79-2	23	14	1
	ふじみ野なかよし保育園	上福岡1-12-8	16	15	1
	子どものその保育園	中福岡79-1	16	16	1
	かすが保育園	東久保1-38-1	20	16	1
	風の里保育園	大井1125-4	8	14	1
	ゆずり葉保育園	鶴ヶ岡4-16-1	13	20	1
	麦っ子保育園	ふじみ野3-10-2	14	16	1
	合計		110	111	7
幼稚園	施設名	所在地	年少児保護者	年長児保護者	
	香取幼稚園	上福岡3-1-18	8	8	1
	香取第二幼稚園	清見3-7-5	19	12	1
	新双葉幼稚園	福岡武蔵野10-21	8	15	1
	星和幼稚園	元福岡3-15-1	20	22	1
	ながみや幼稚園	滝1-4-1	18	21	1
	なみき幼稚園	大井661-5	20	21	1
	文京学院大学ふじみ野幼稚園	亀久保1196	19	16	1
みほの幼稚園	苗間720	8	22	1	
	合計		120	137	8
その他	施設名	所在地	年少児保護者	年長児保護者	
	子どものその保育生活協同組合	中福岡79	14	13	1
	合計		14	13	1
施設利用保護者	施設名	所在地	保護者		
	上福岡図書館	上野台3-3-1	12		
	上福岡西公民館図書室	上福岡5-2-12	16		
	上福岡公民館	福岡1-1-8	0		
	上福岡西公民館	上福岡5-2-12	2		
	保健センター	福岡1-2-5	0		
	児童センター	福岡1-2-5	32		
	上野台子育て支援センター	上野台1-1-1	25		
	霞ヶ丘子育て支援センター	霞ヶ丘1-5-5	24		
	大井図書館	大井中央2-19-5	8		
	大井中央公民館	大井中央2-1-8	0		
	風の里地域子育て支援センター	大井1125-4	31		
	鶴ヶ丘子育てサロン	鶴ヶ岡1-3-26	25		
東台子育てサロン	大井728-3	13			
	合計		188		
総計			1196	778	45
			1974		

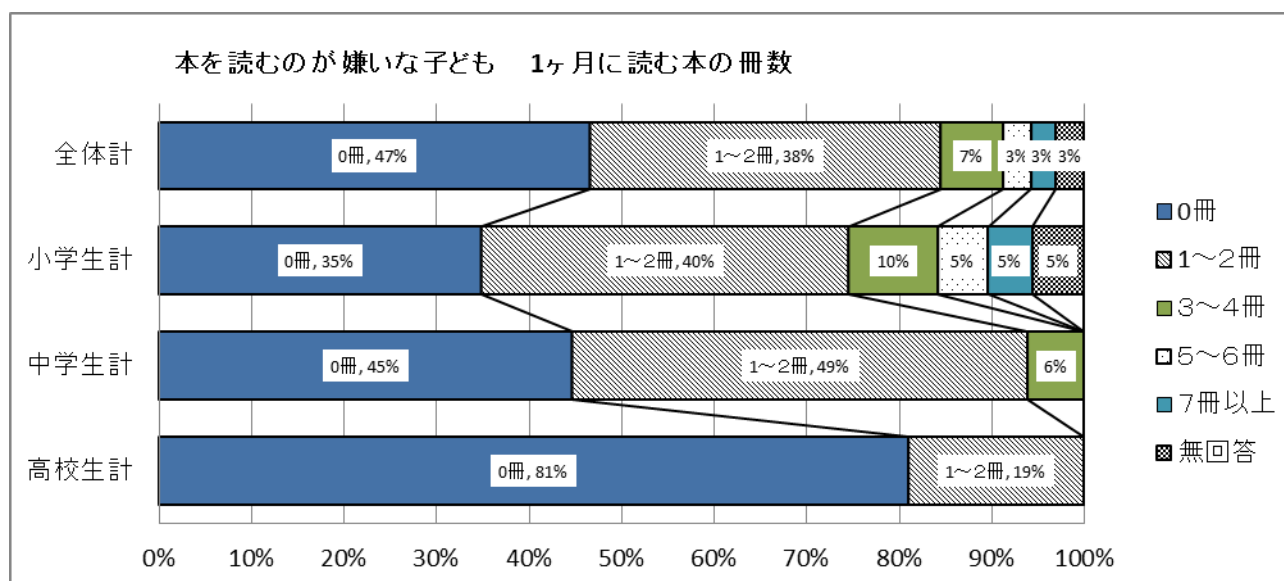
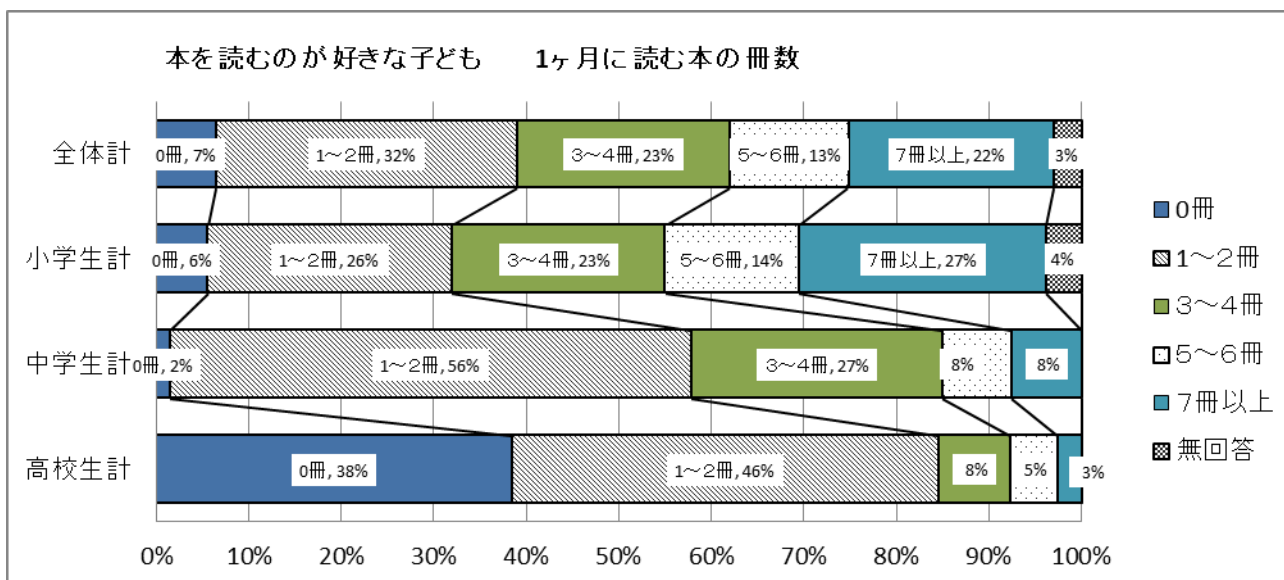
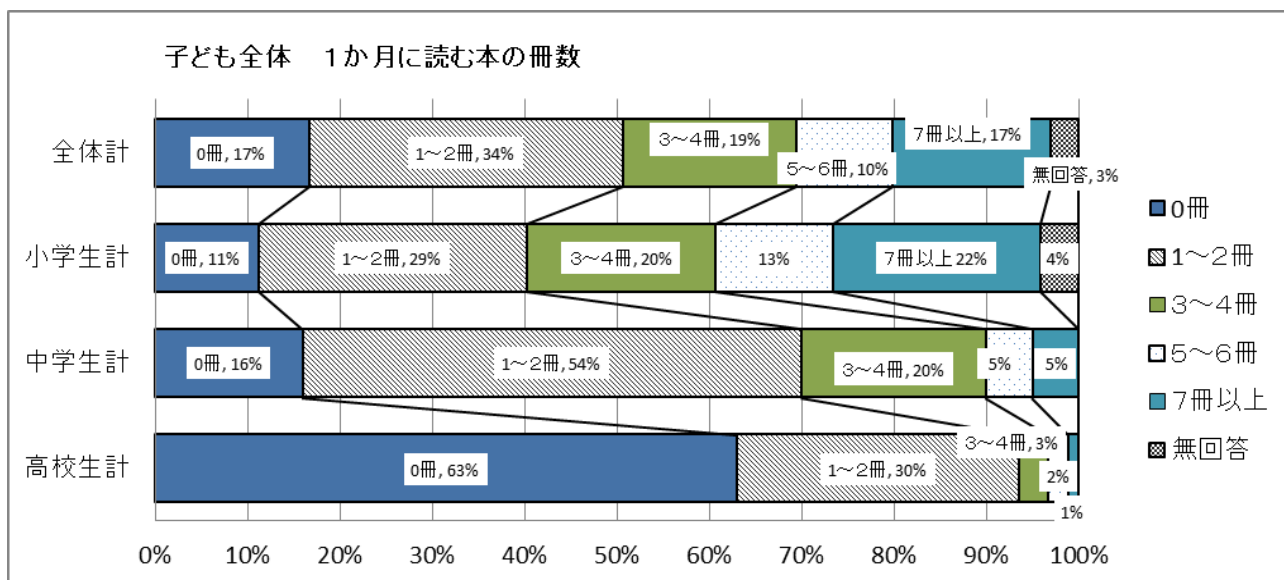
## 本を読むことが好きですか(小学生～高校生)



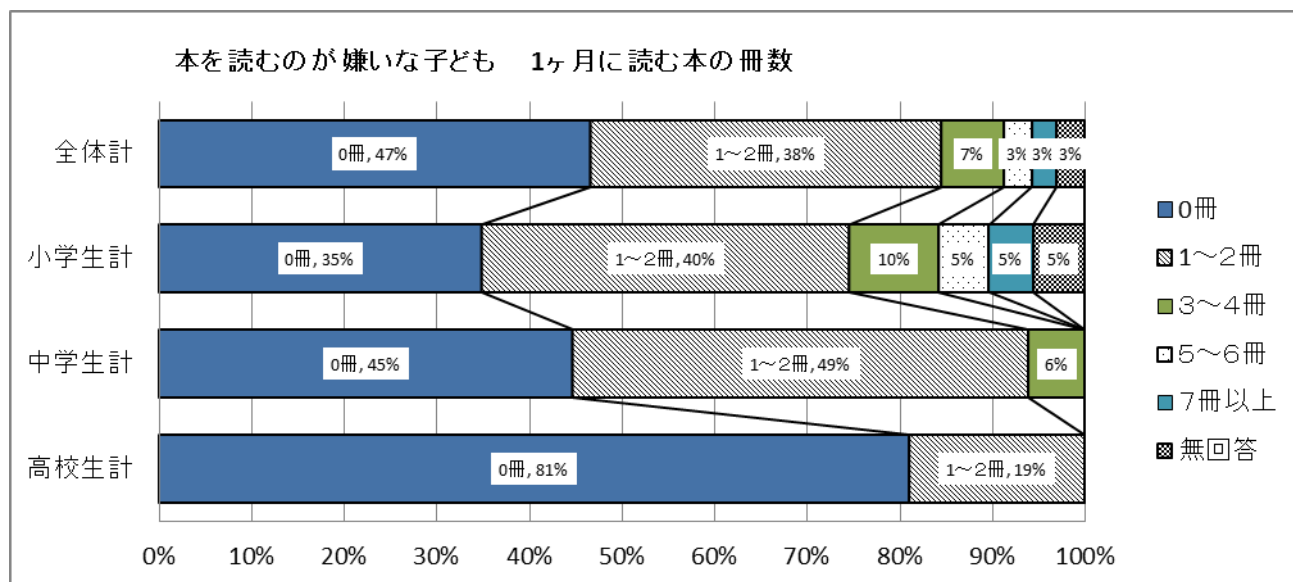
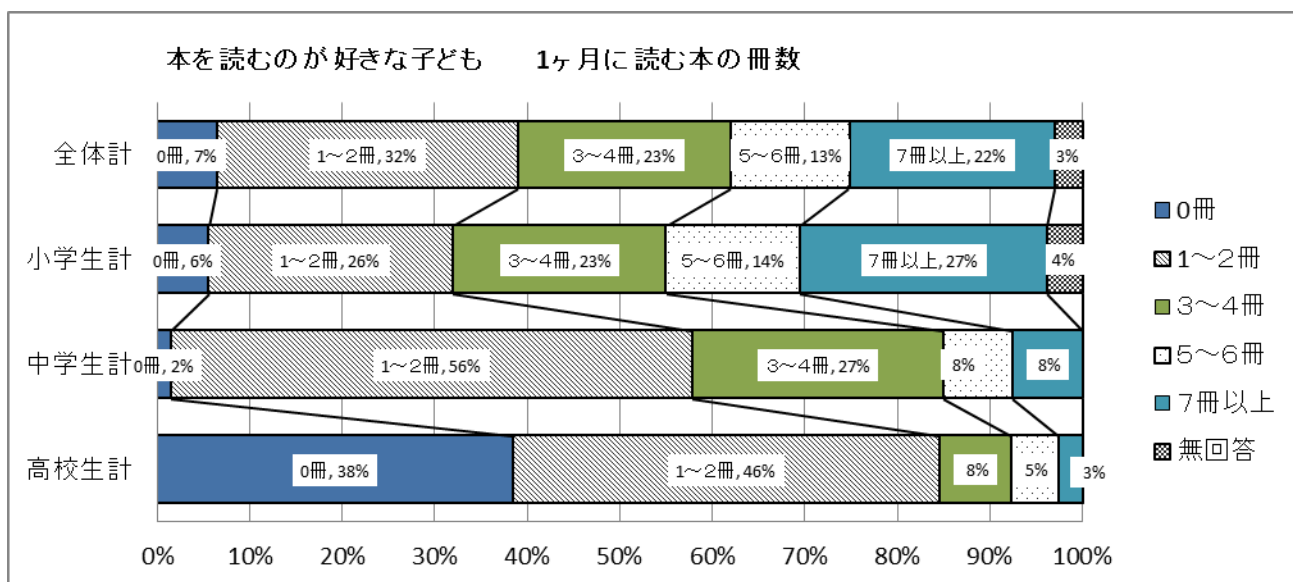
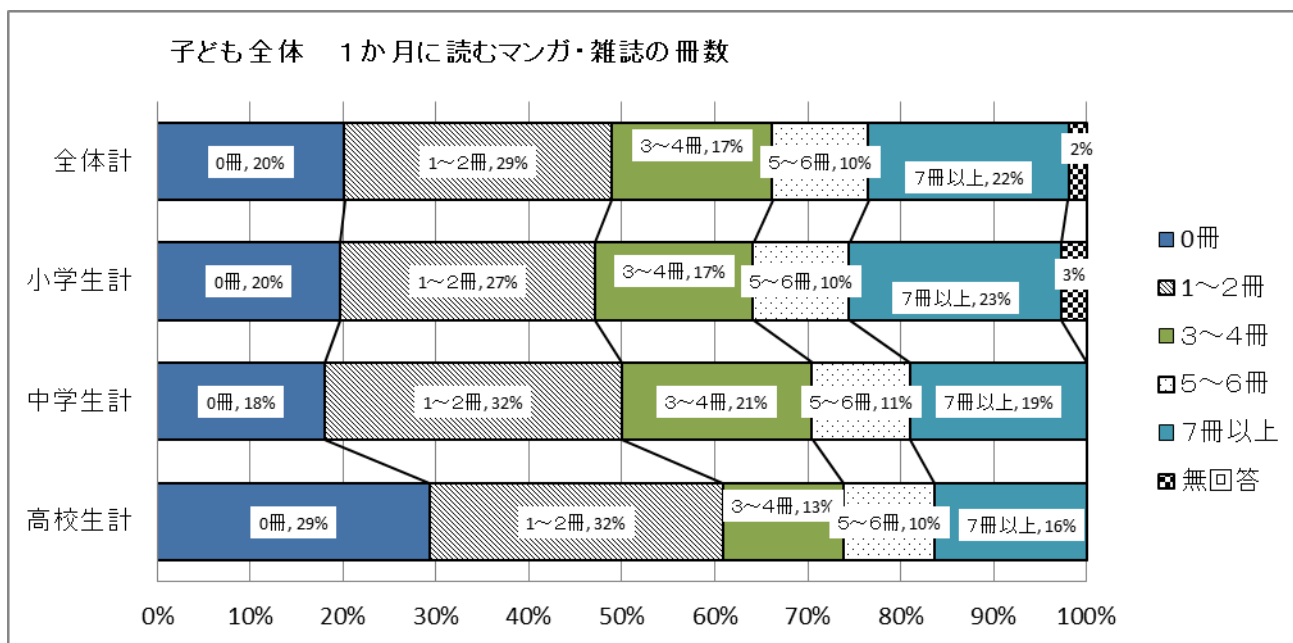
## 読書について(施設利用保護者、幼稚園・保育所)



# 1か月に読む本の冊数

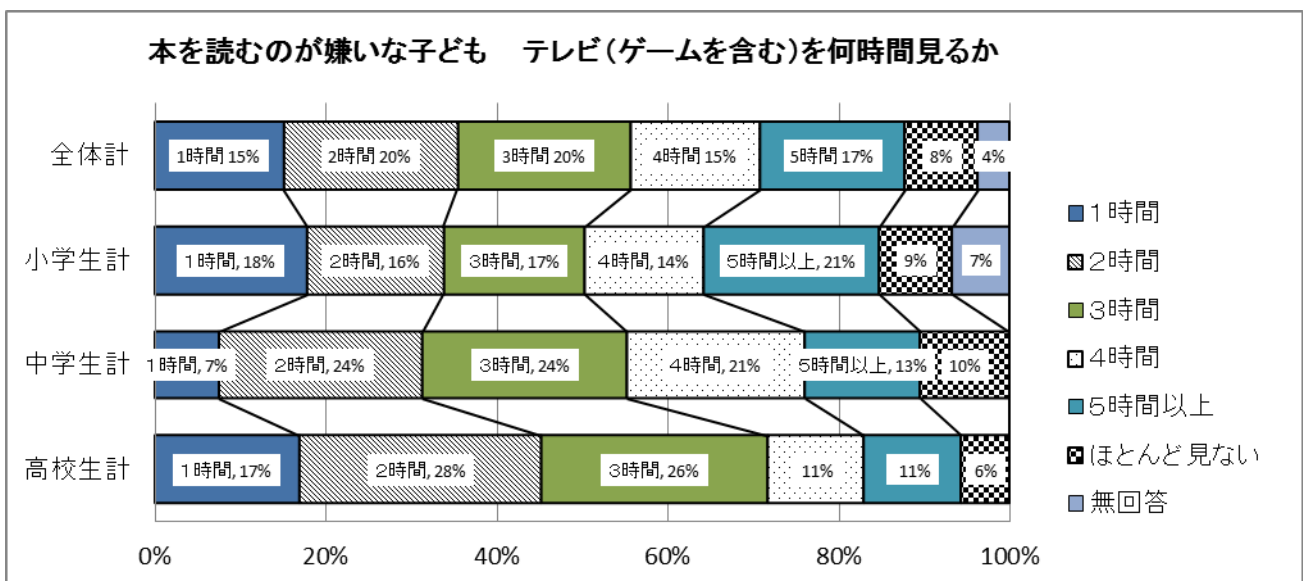
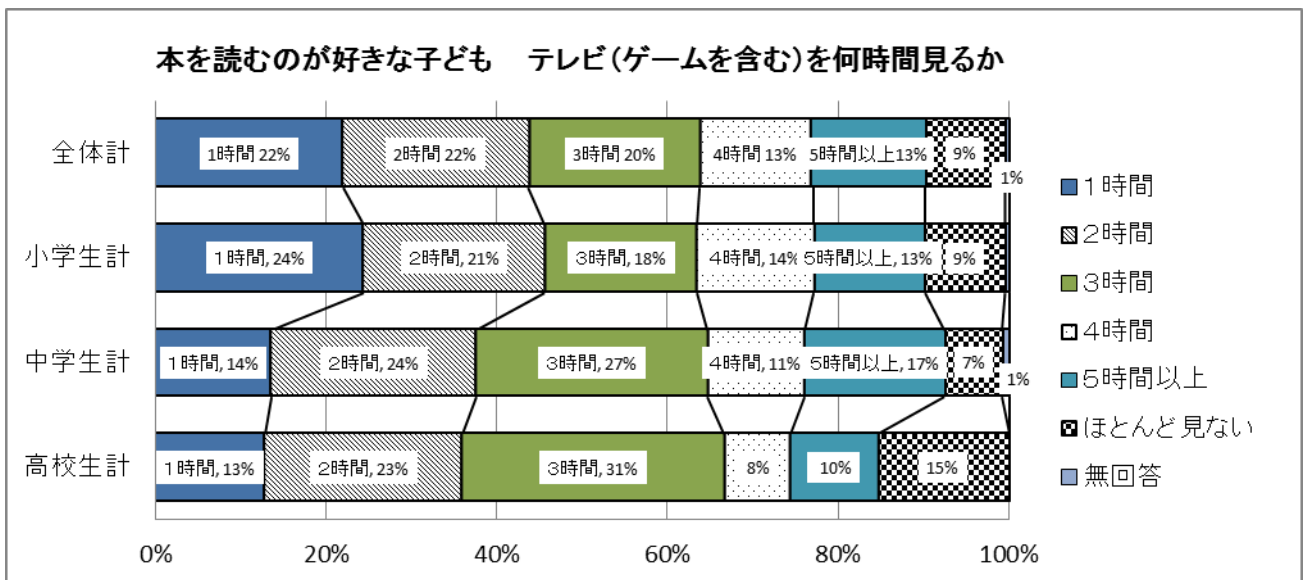
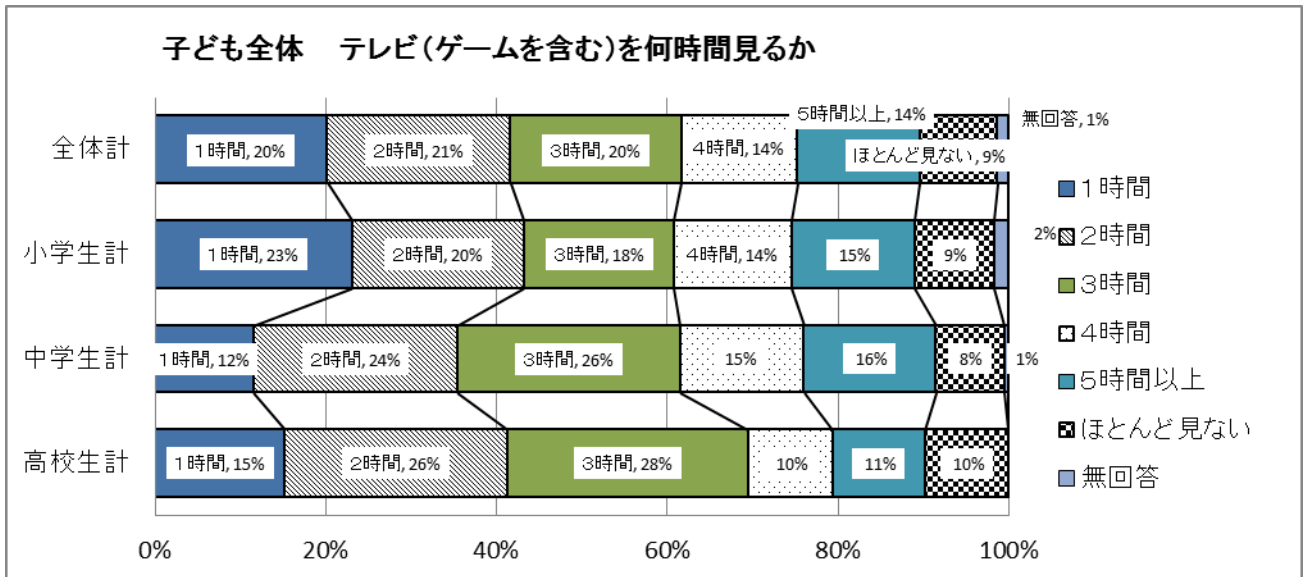


# 1か月に読むマンガ・雑誌の冊数

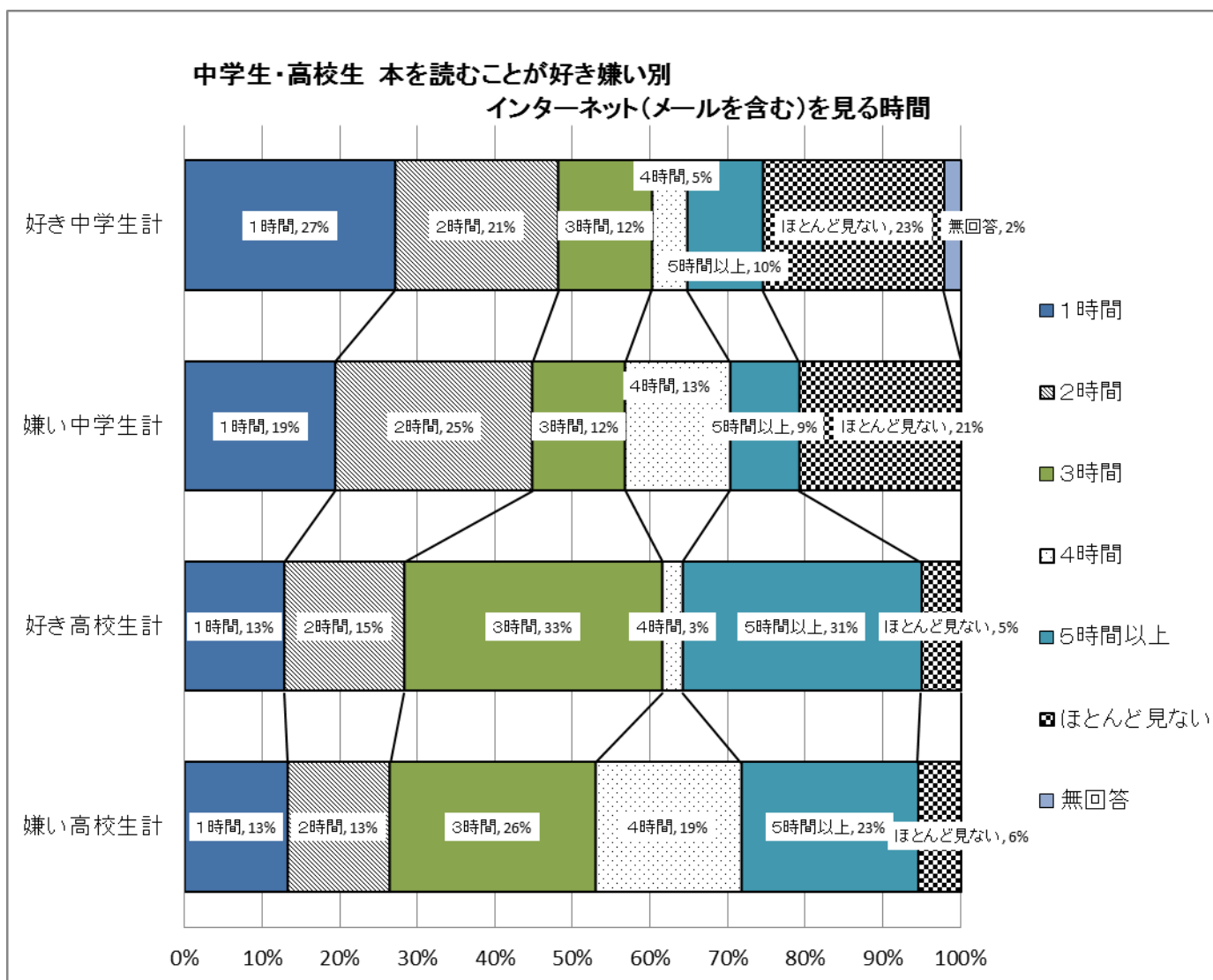
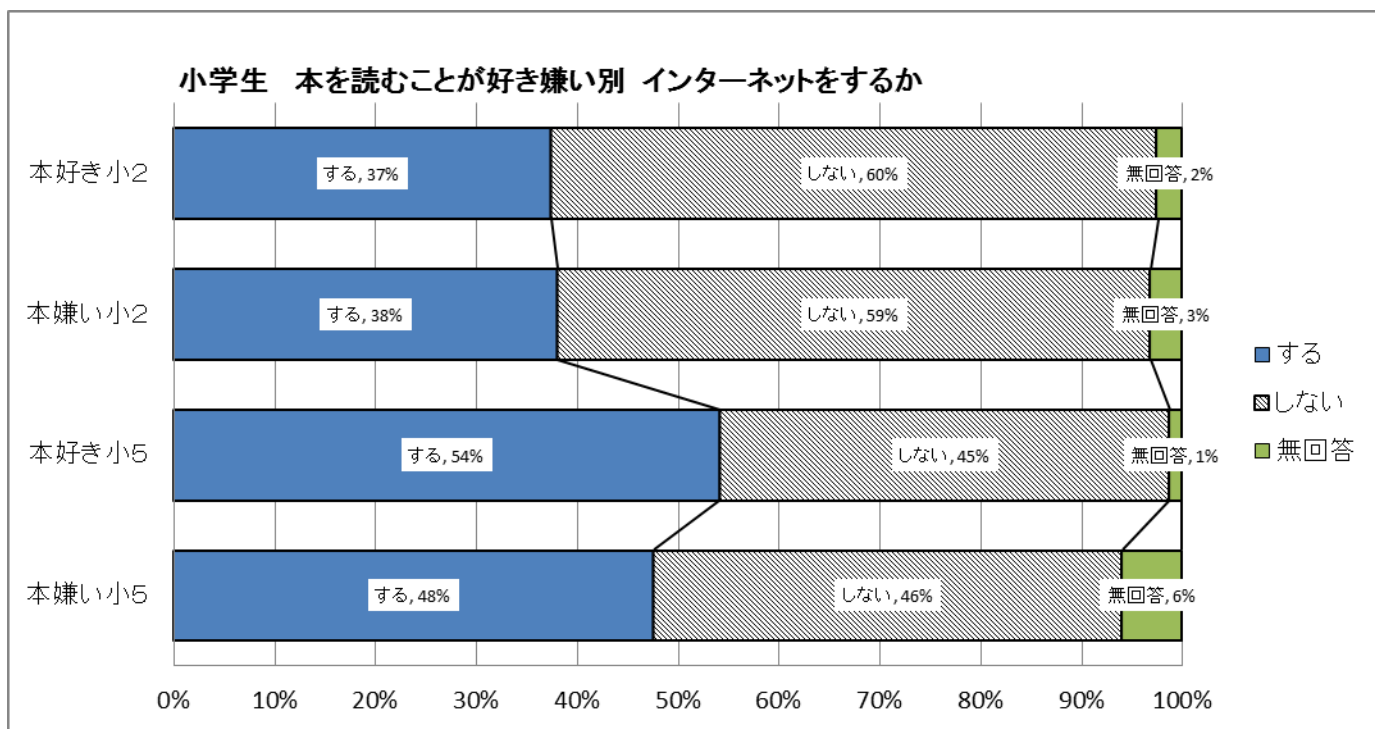




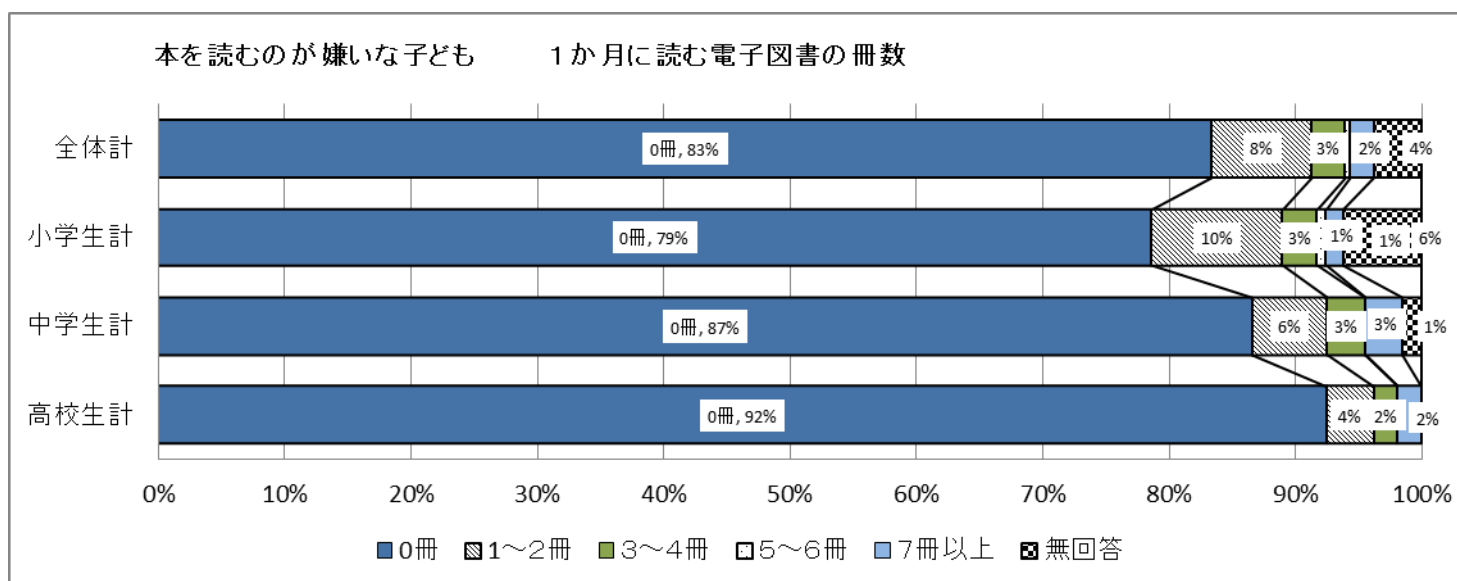
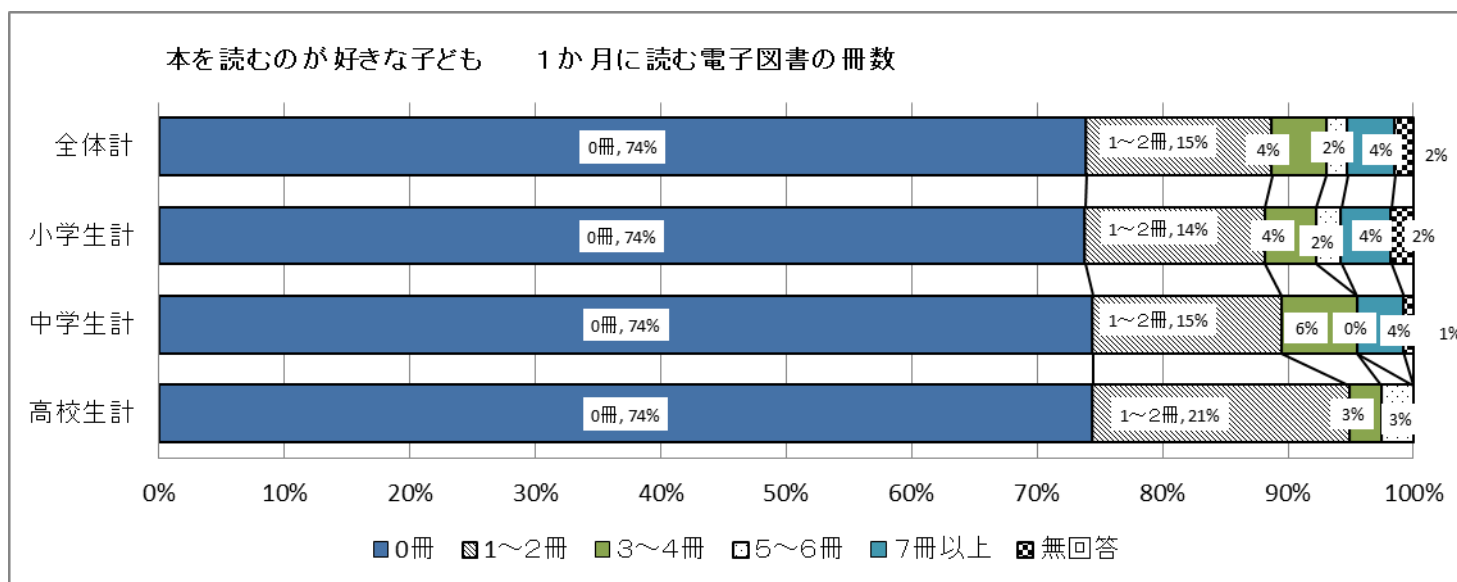
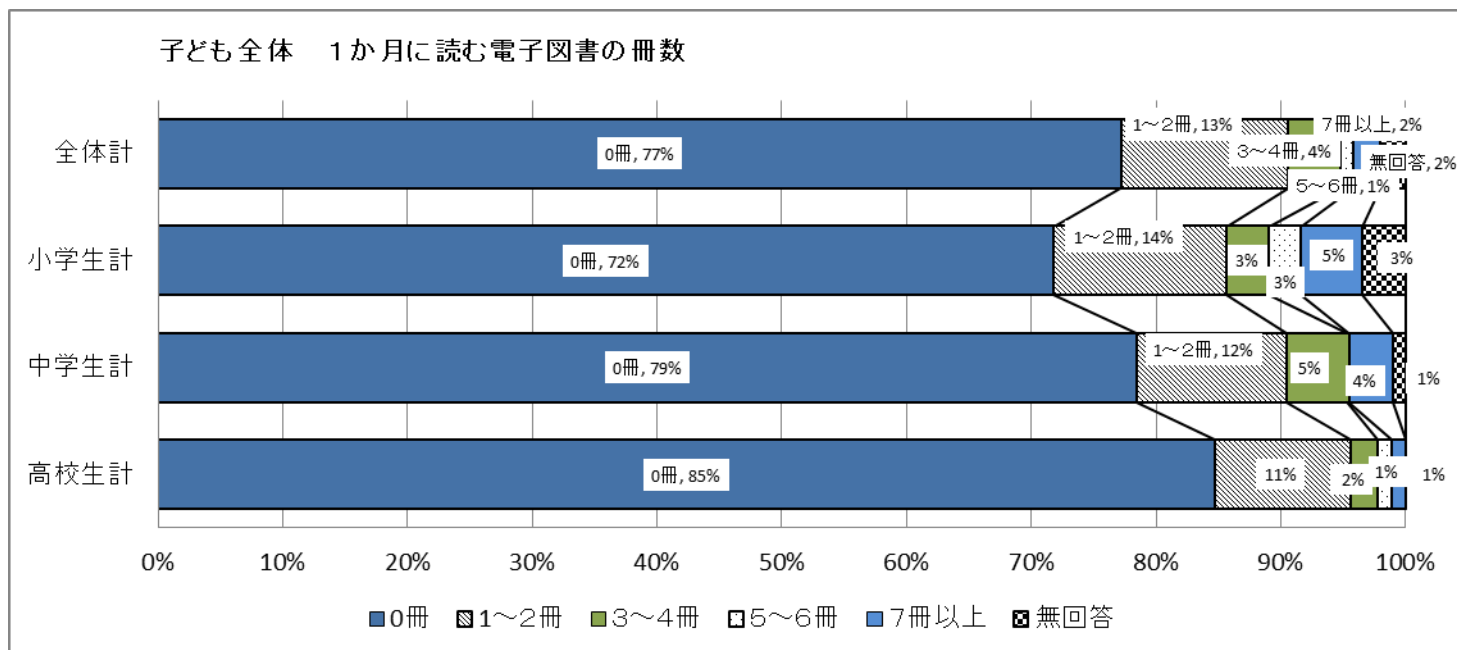
## テレビ(ゲームを含む)を何時間見るか



インターネットをするか(小学生)、何時間するか(中学・高校生)

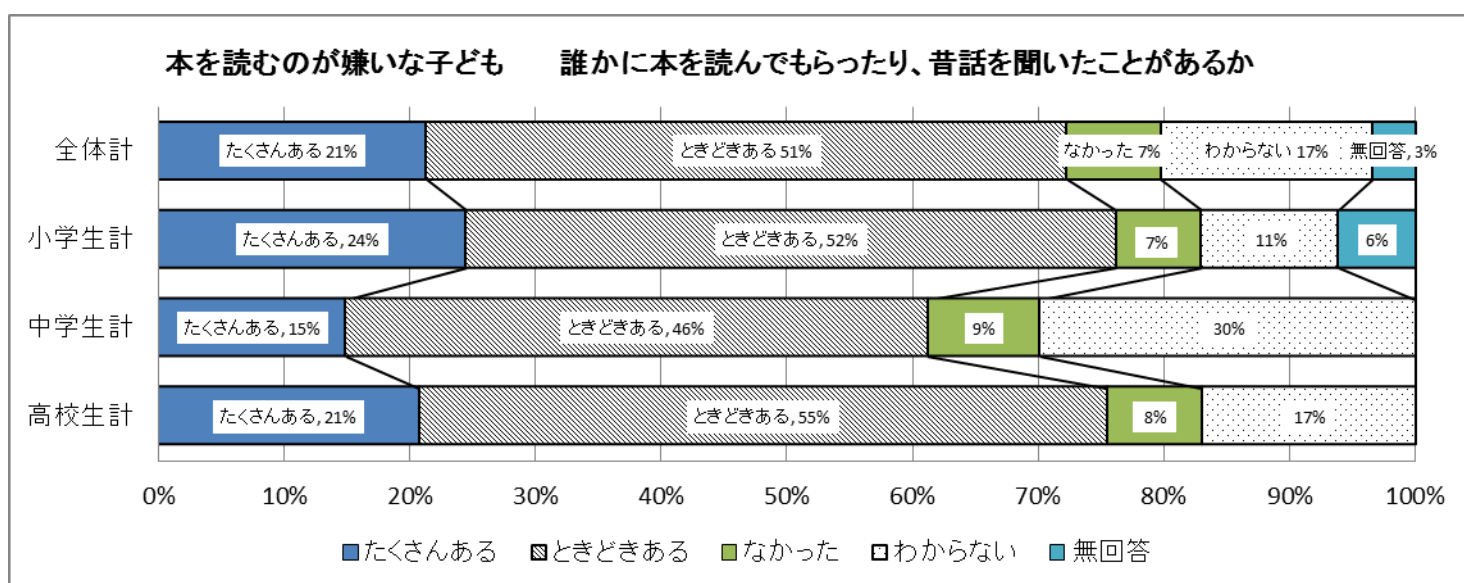
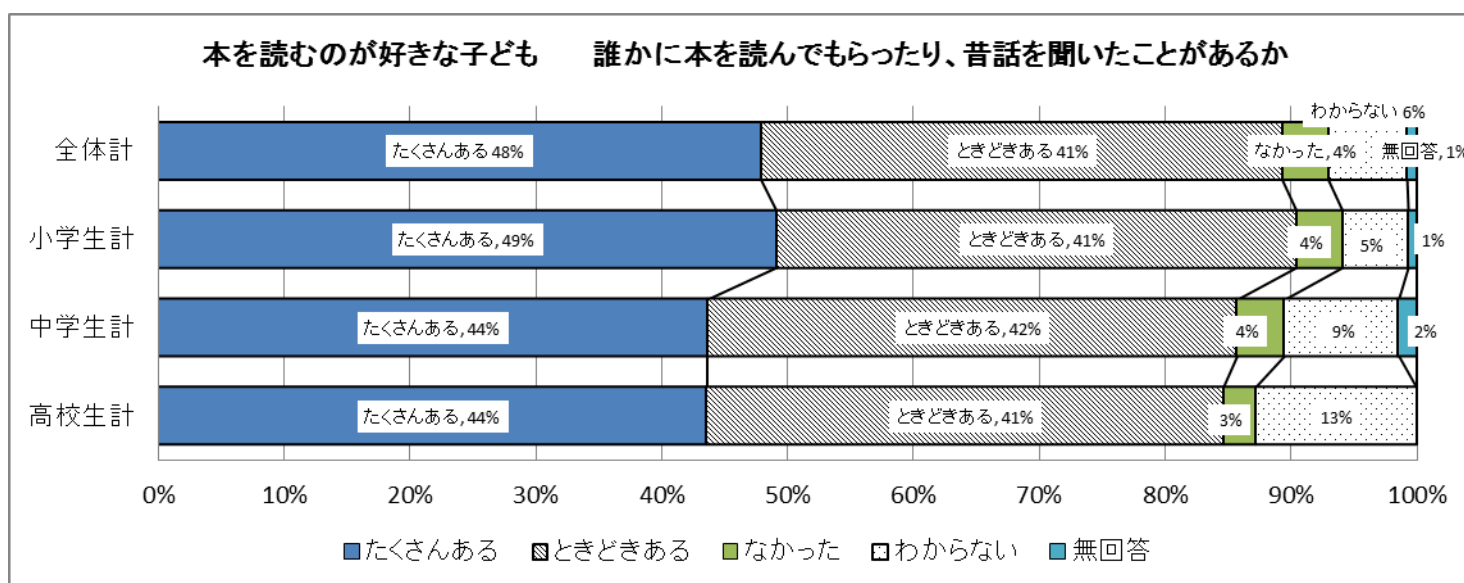
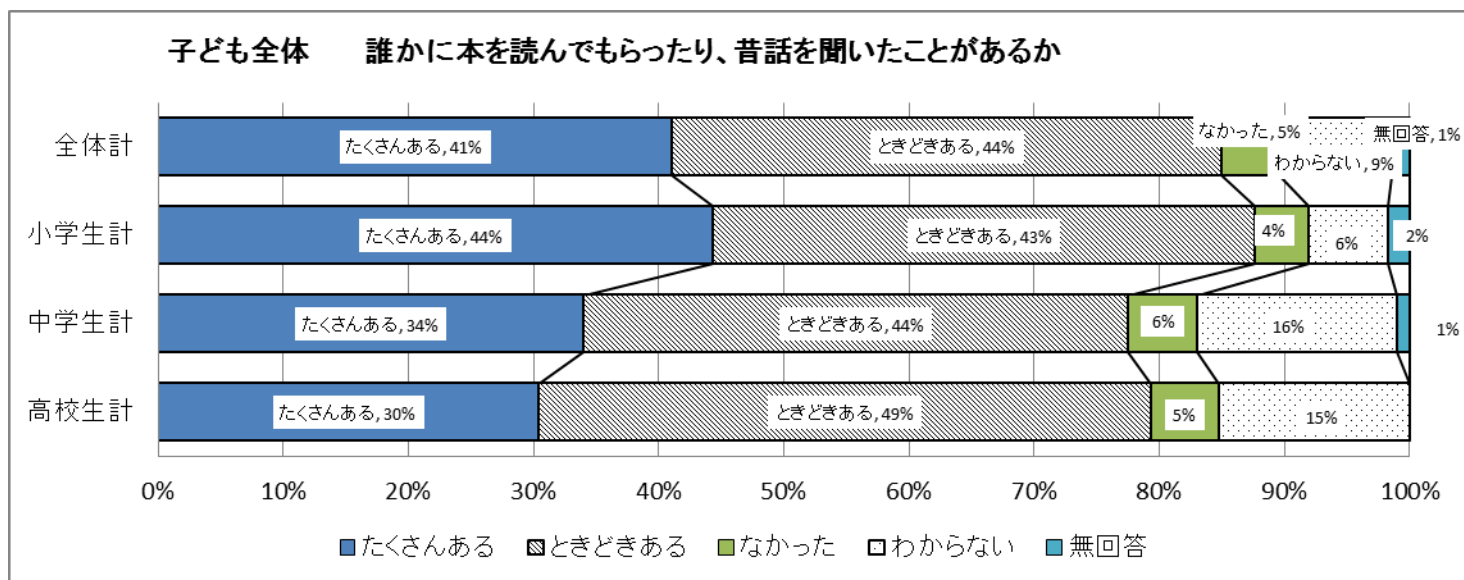


# 1か月に読む電子図書の冊数

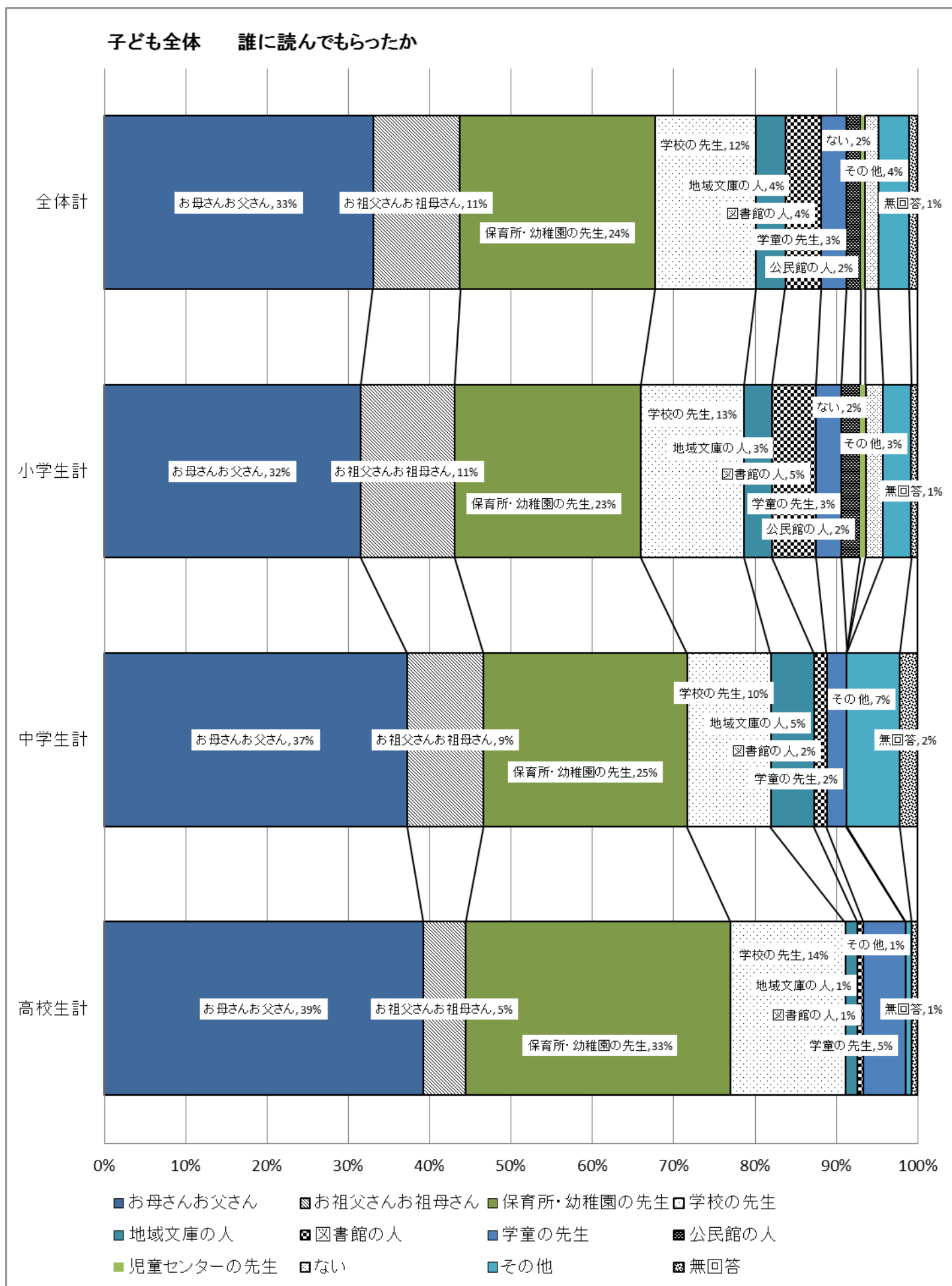




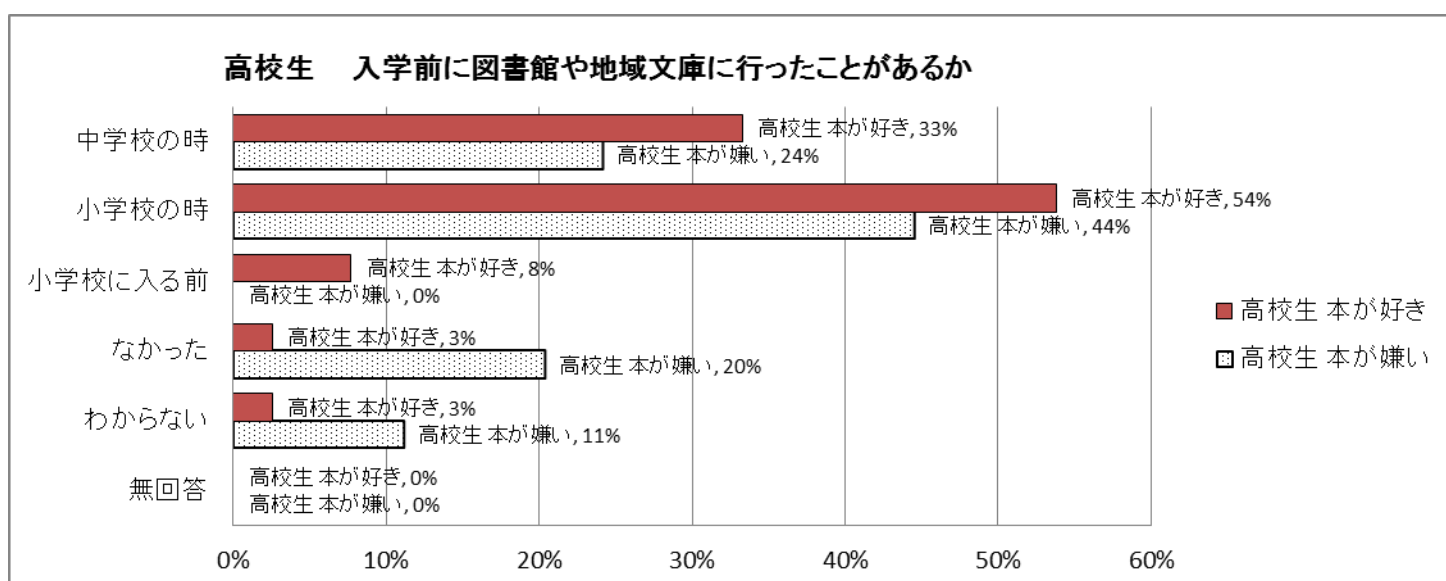
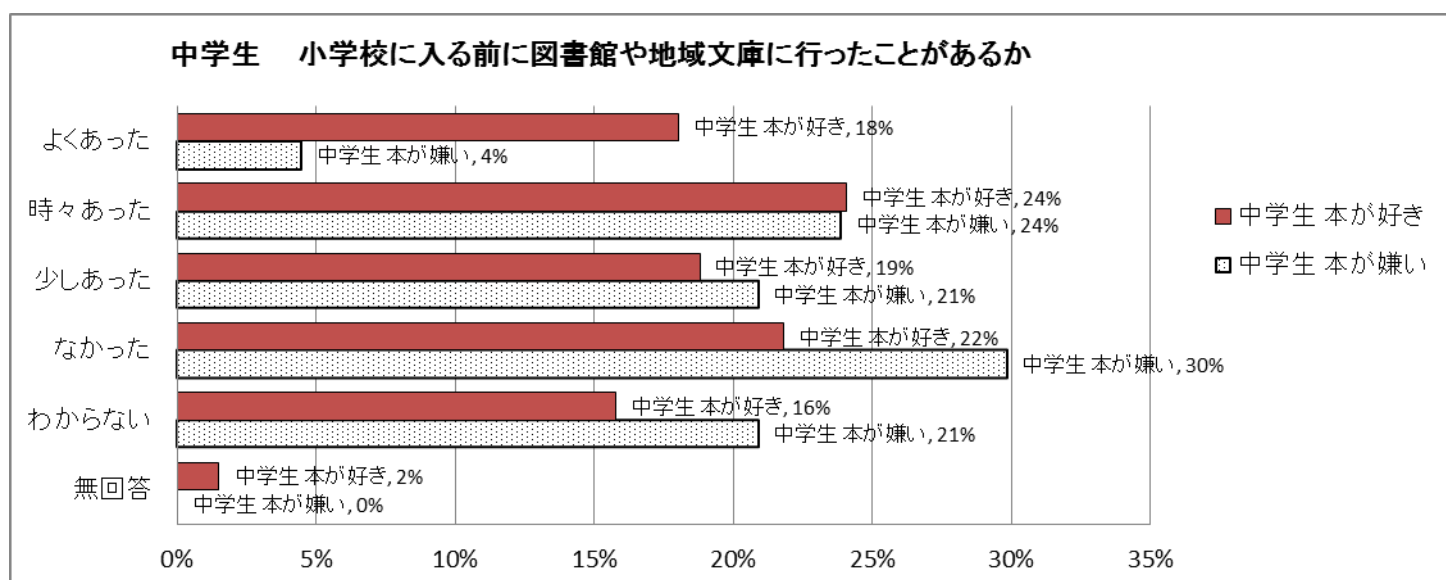
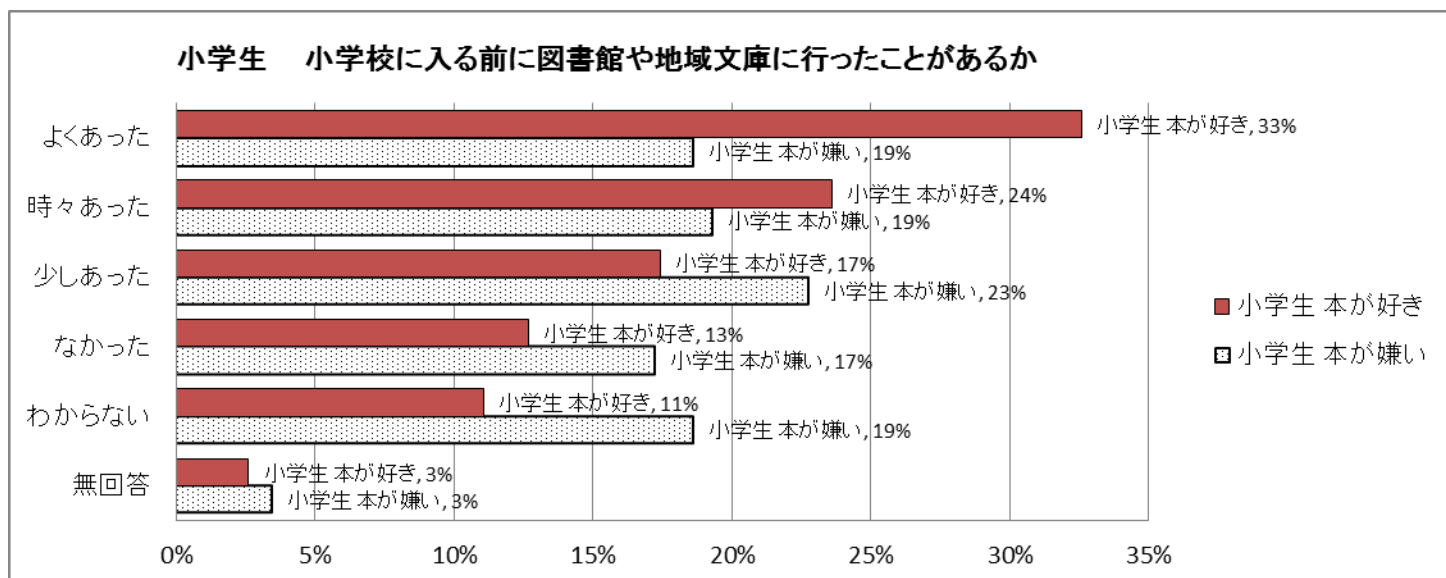
## 誰かに本を読んでもらったり、昔話を聞いたことがあるか



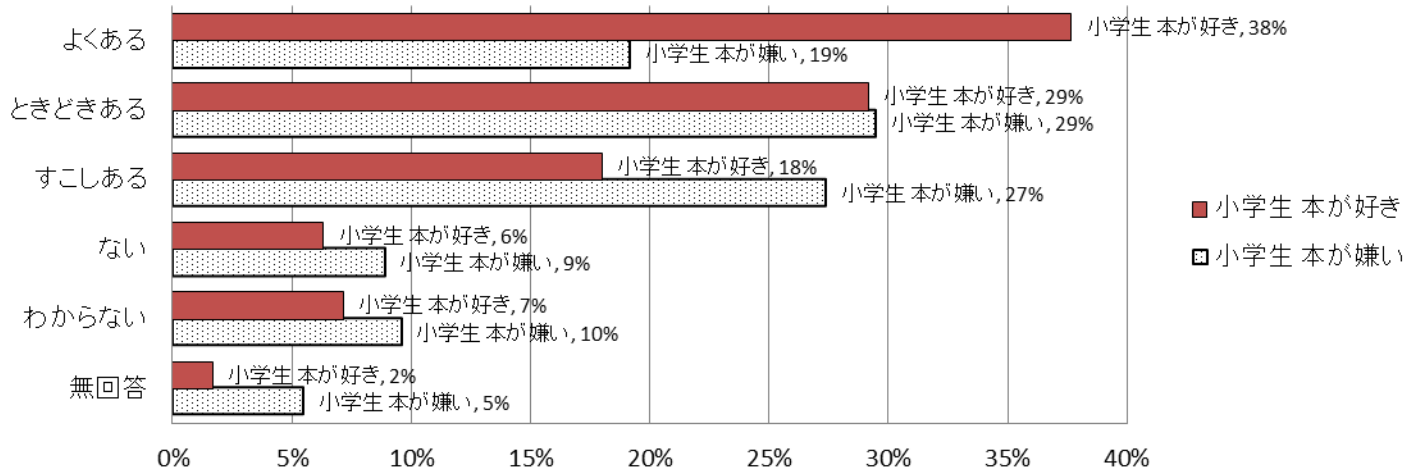
# 誰に読んでもらったか



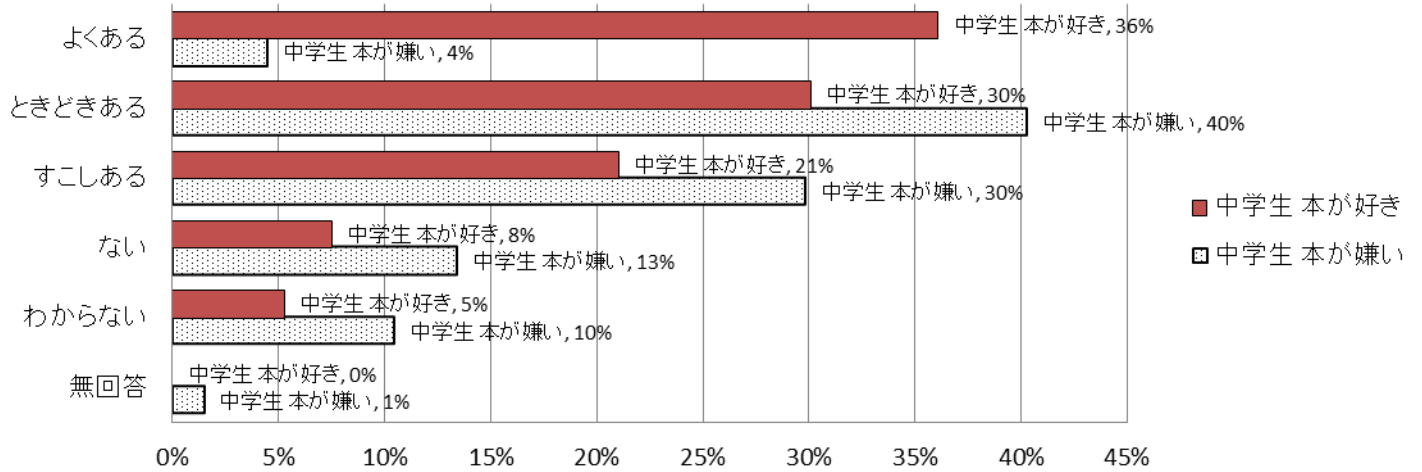
## 図書館や地域文庫に行ったことがあるか



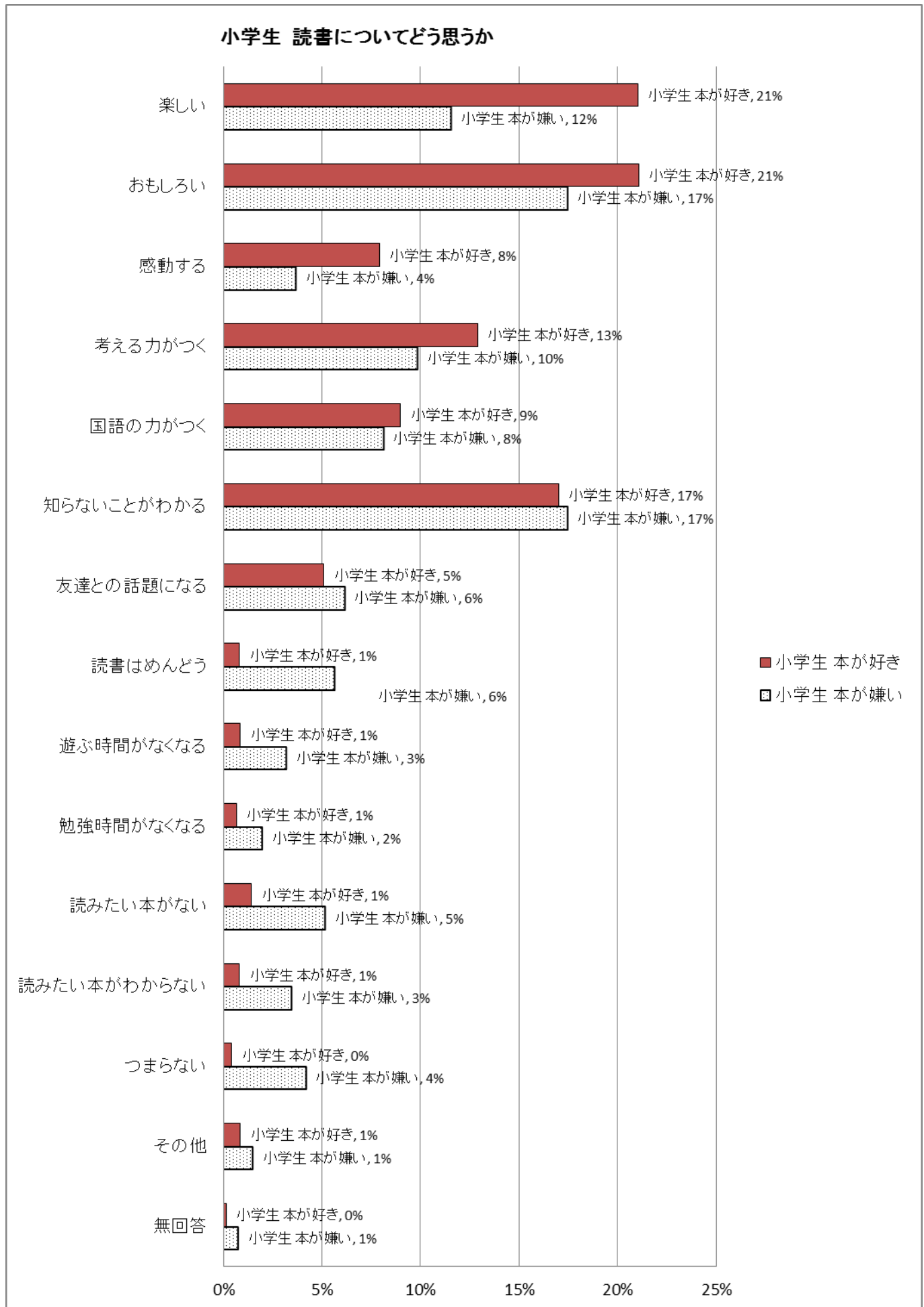
### 小学生 小学生になってから図書館や地域文庫に行ったか



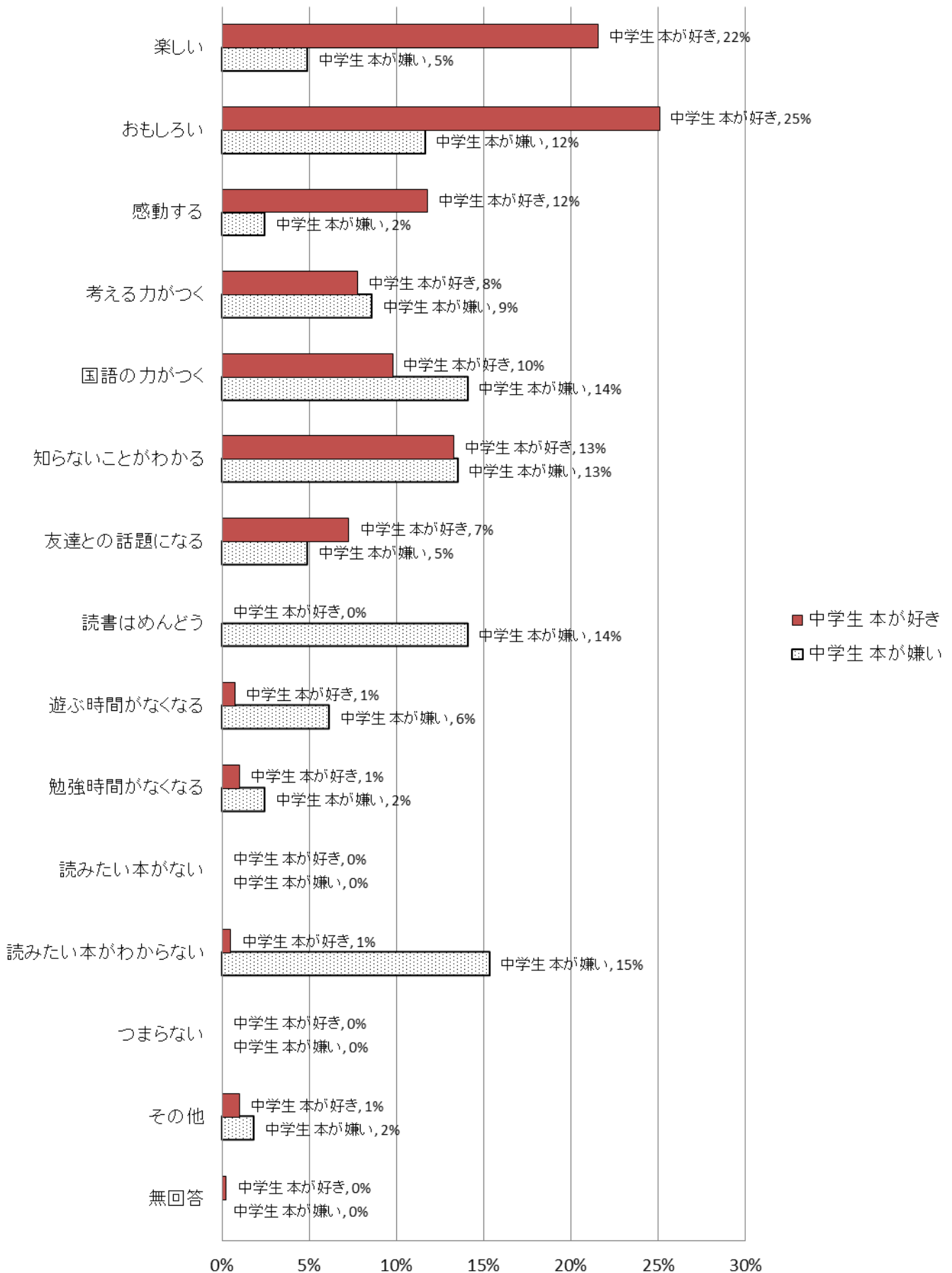
### 中学生 小学生になってから図書館や地域文庫に行ったか



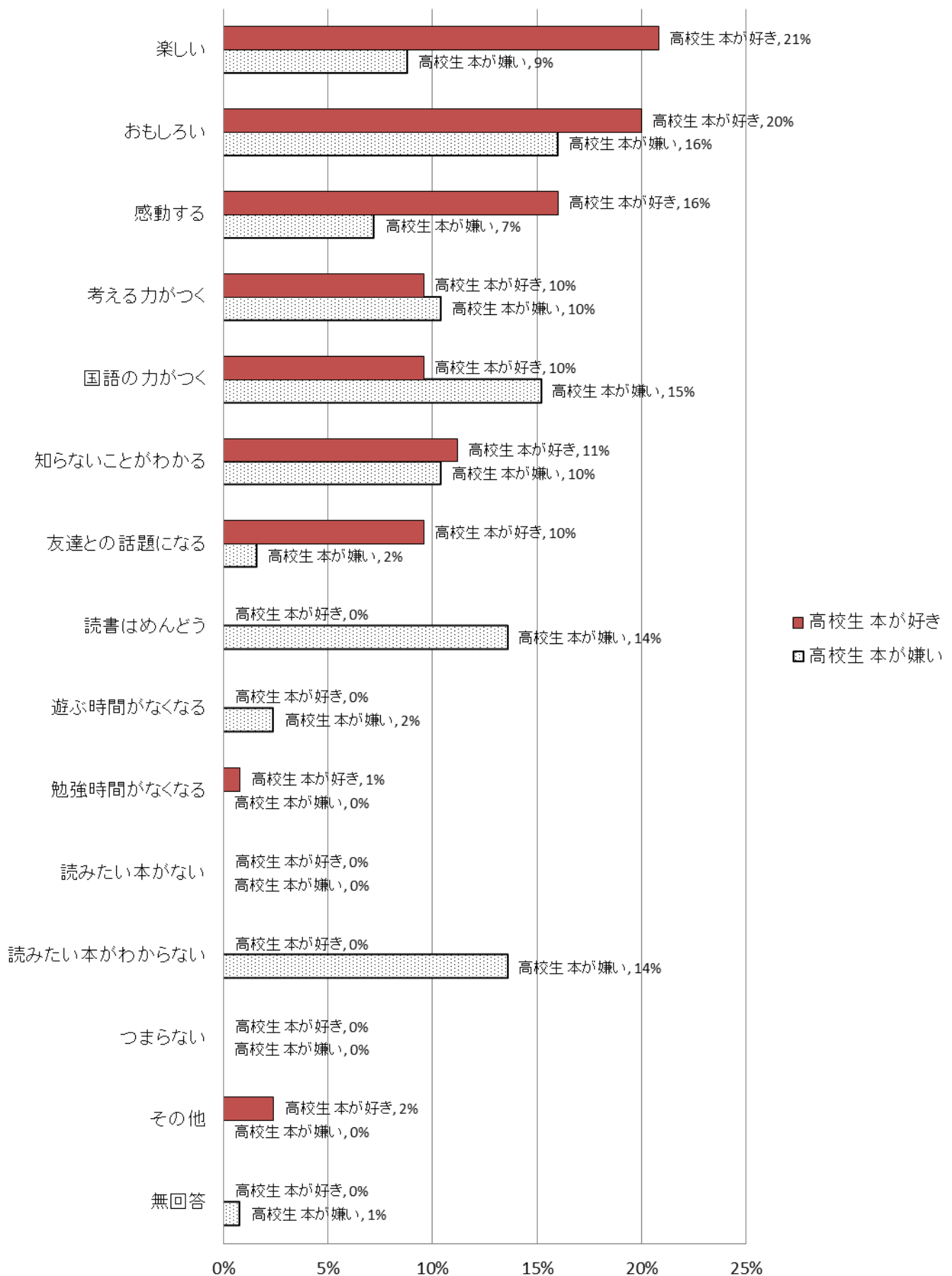
# 読書についてどう思うか



### 中学生 読書についてどう思うか

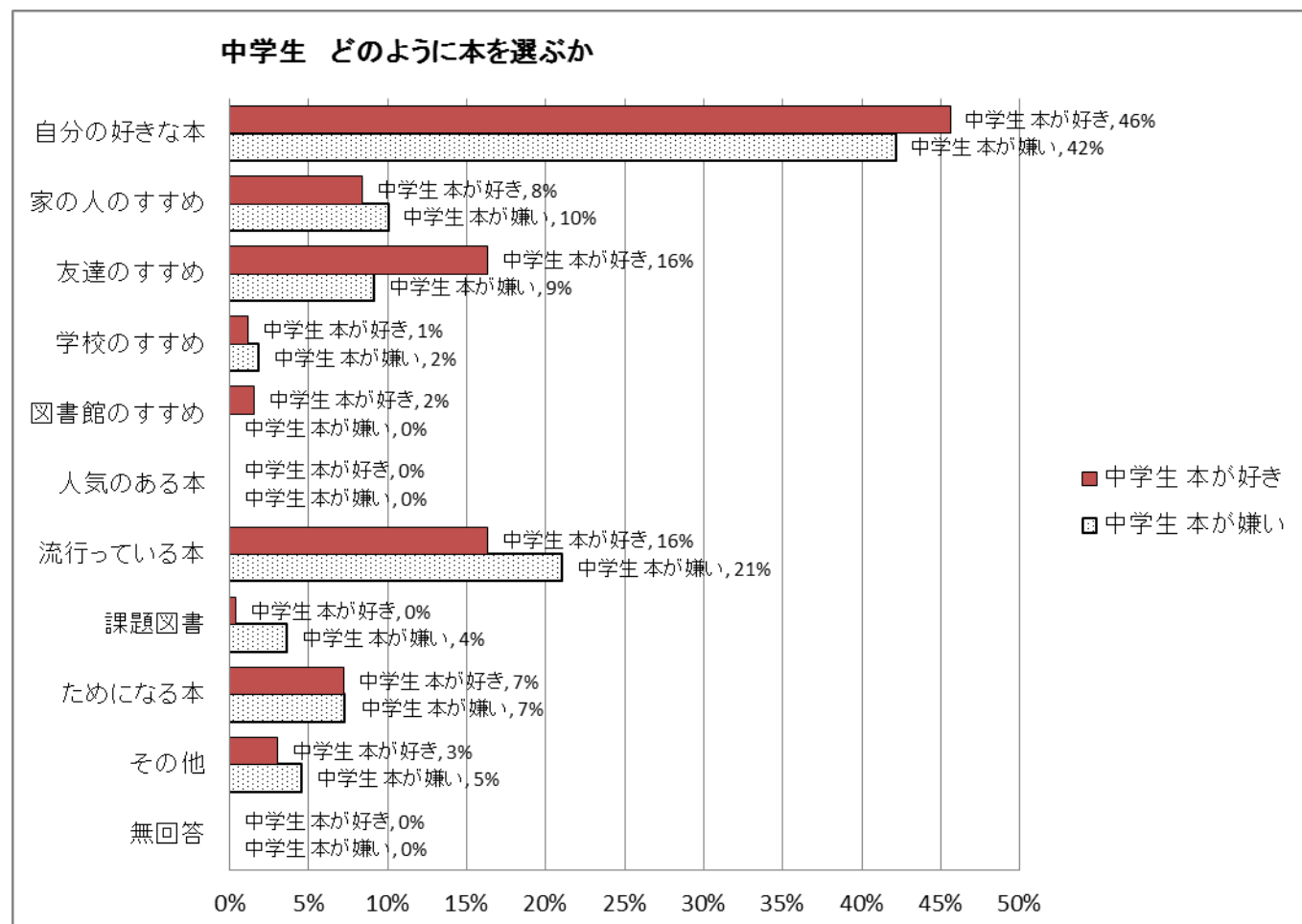
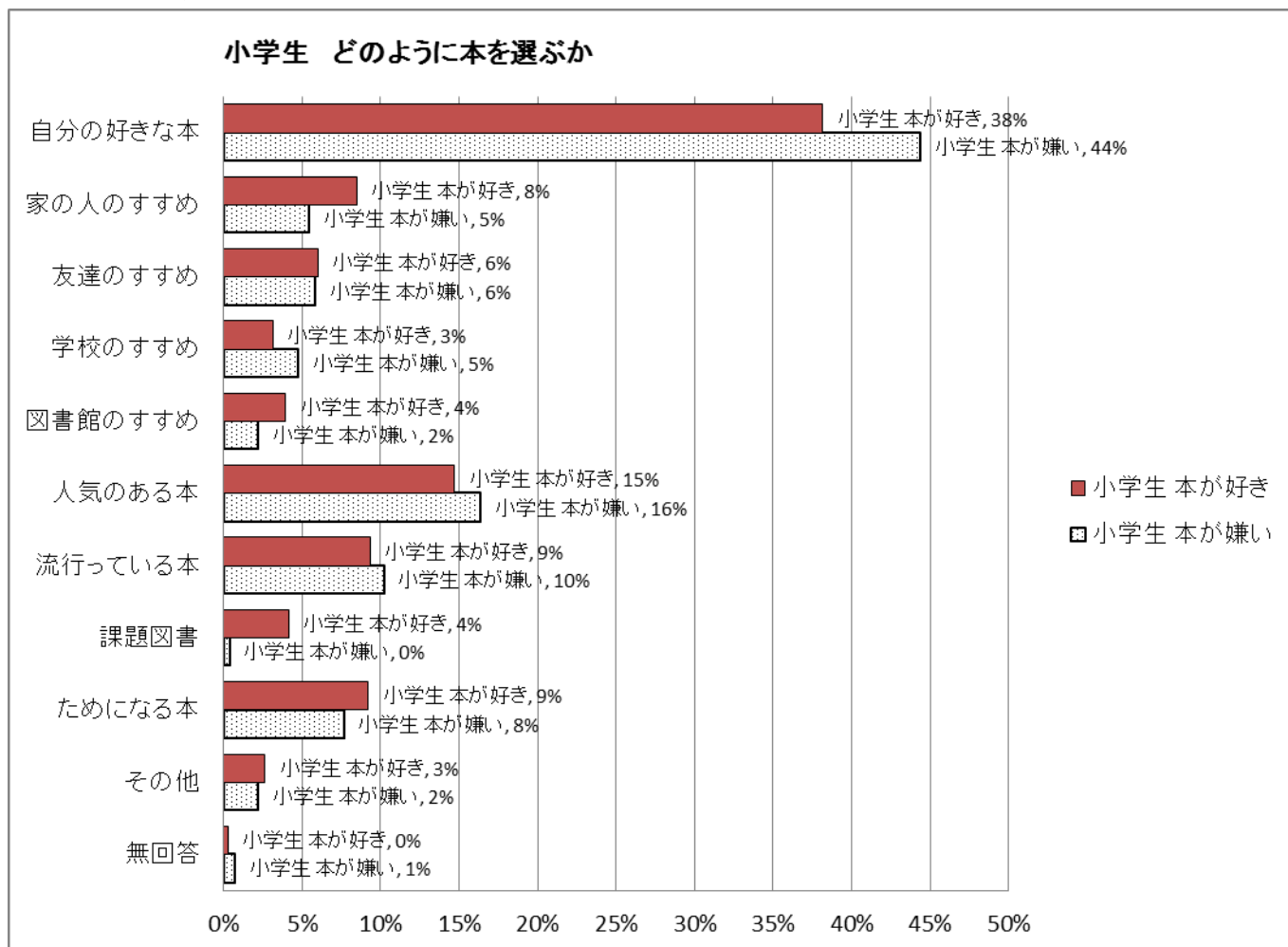


### 高校生 読書についてどう思うか



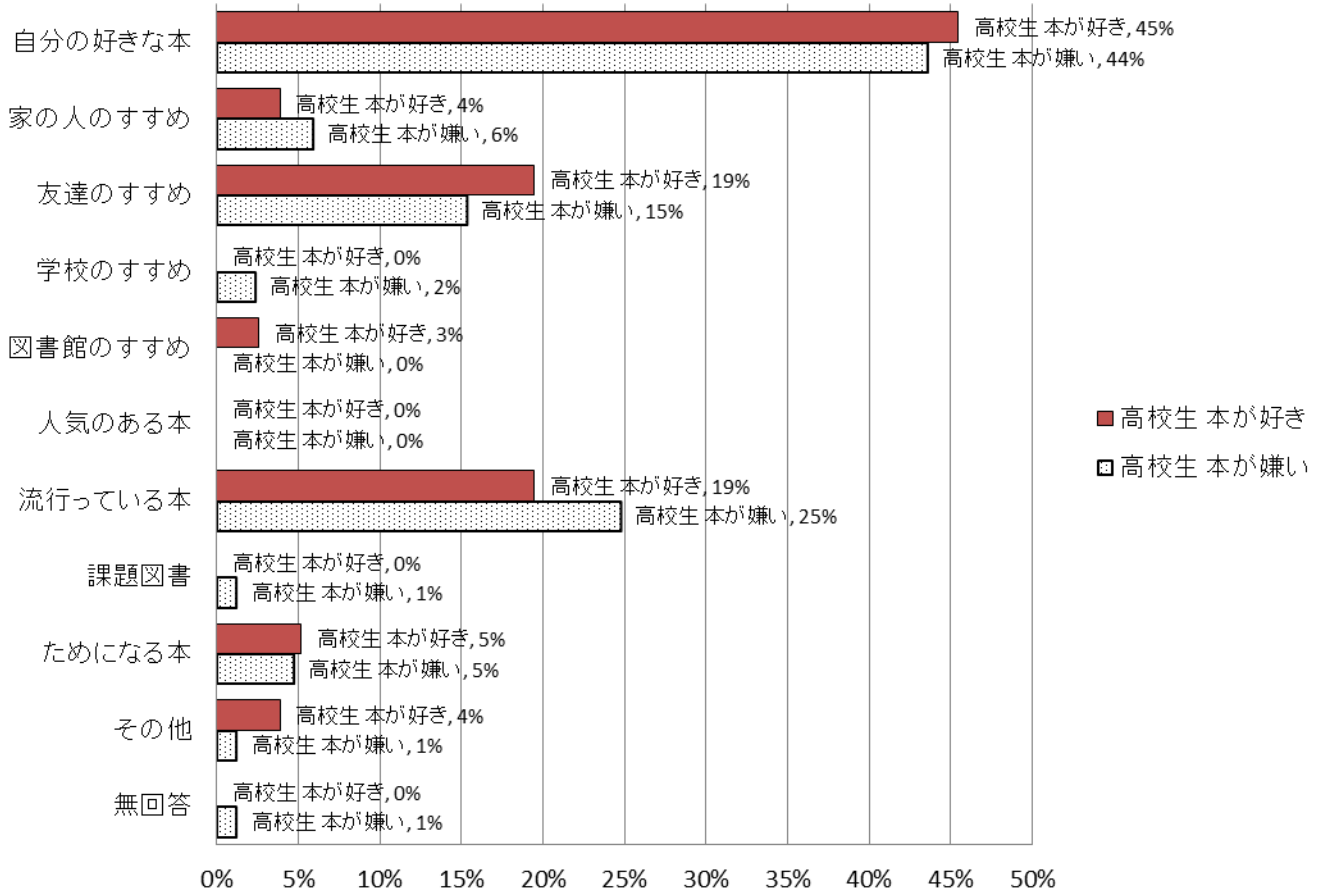


## どのように本を選ぶか



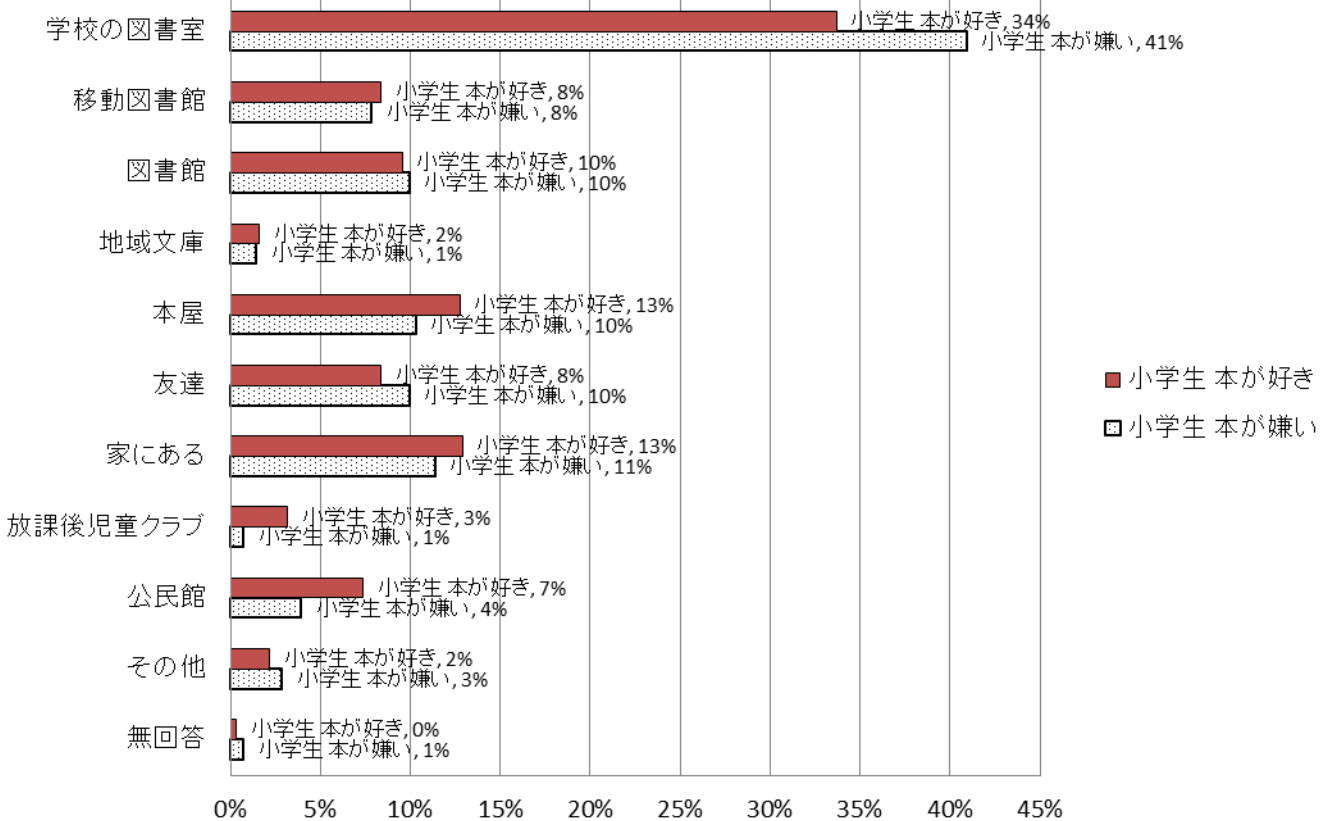


### 高校生 どのように本を選ぶか

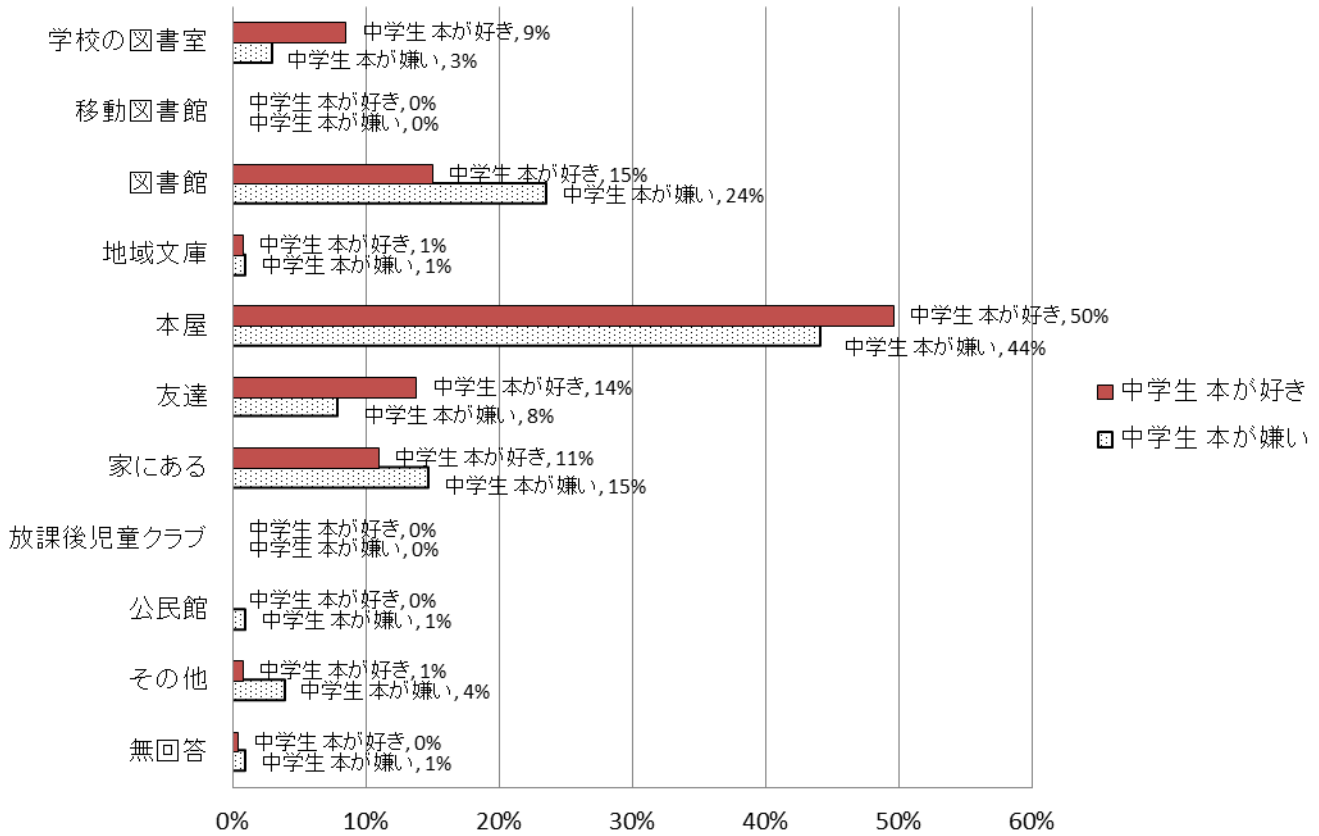


### どこで借りたり買ったりするか

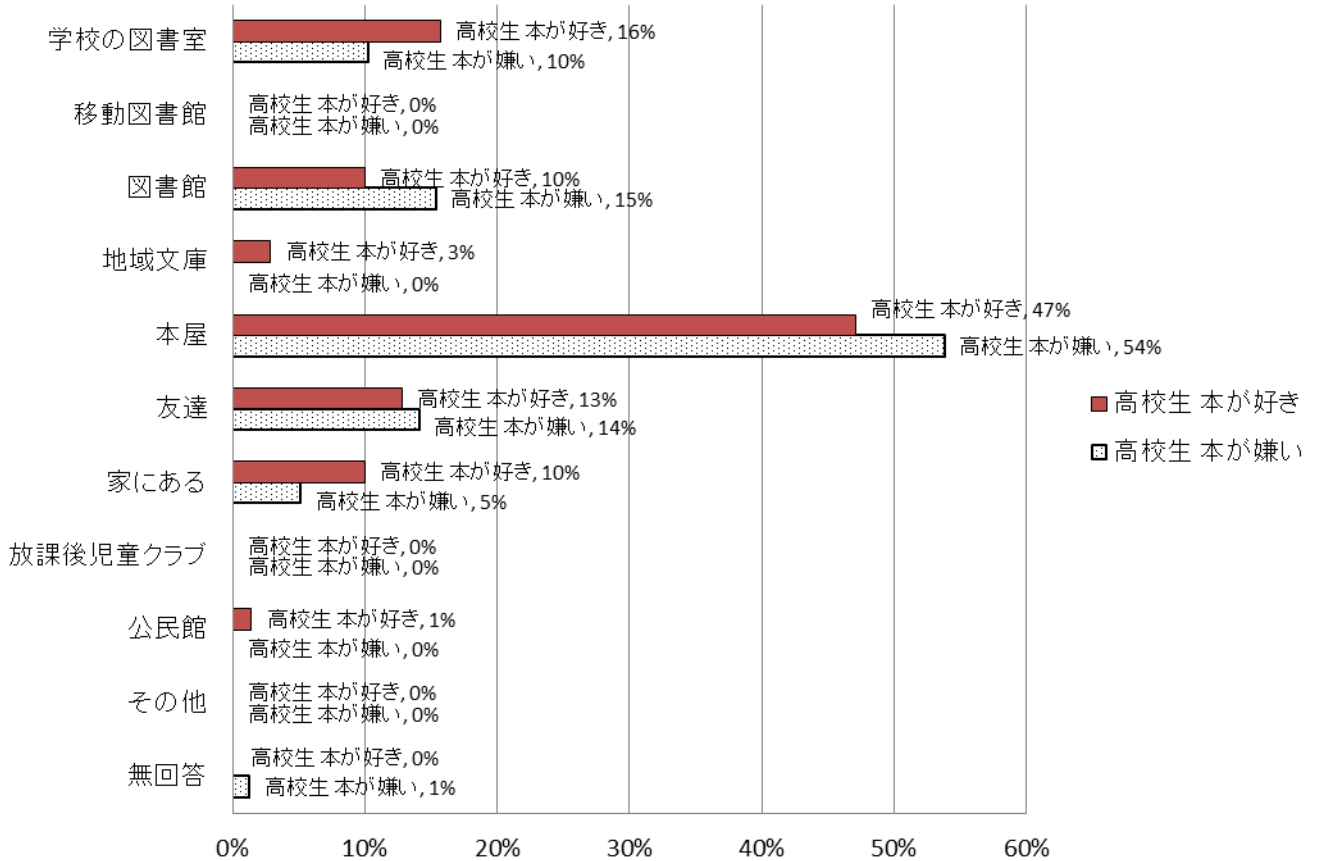
#### 小学生 どこで借りたり買ったりするか



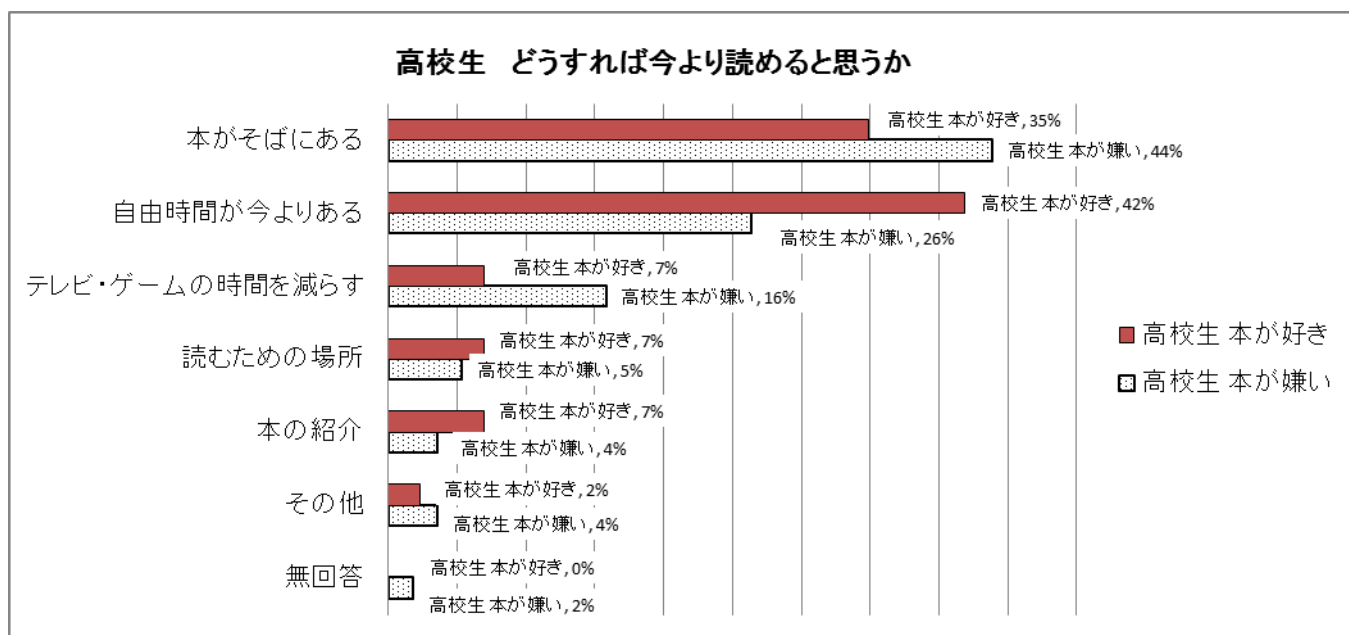
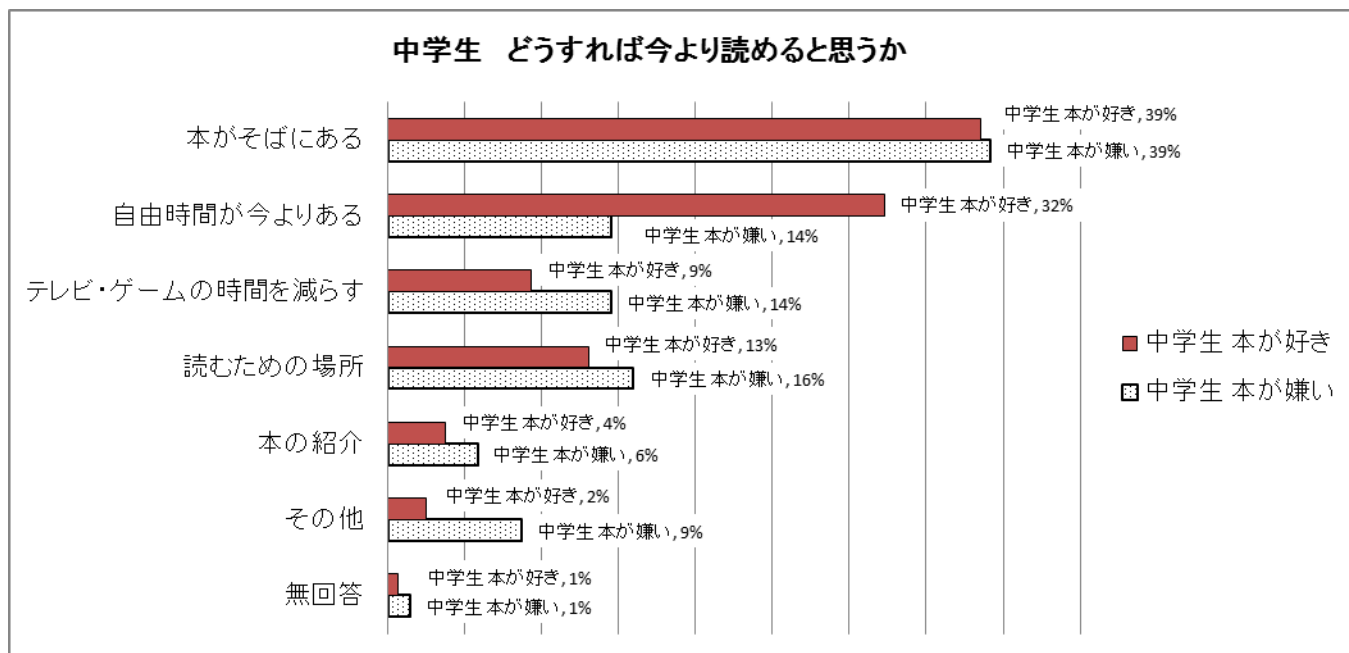
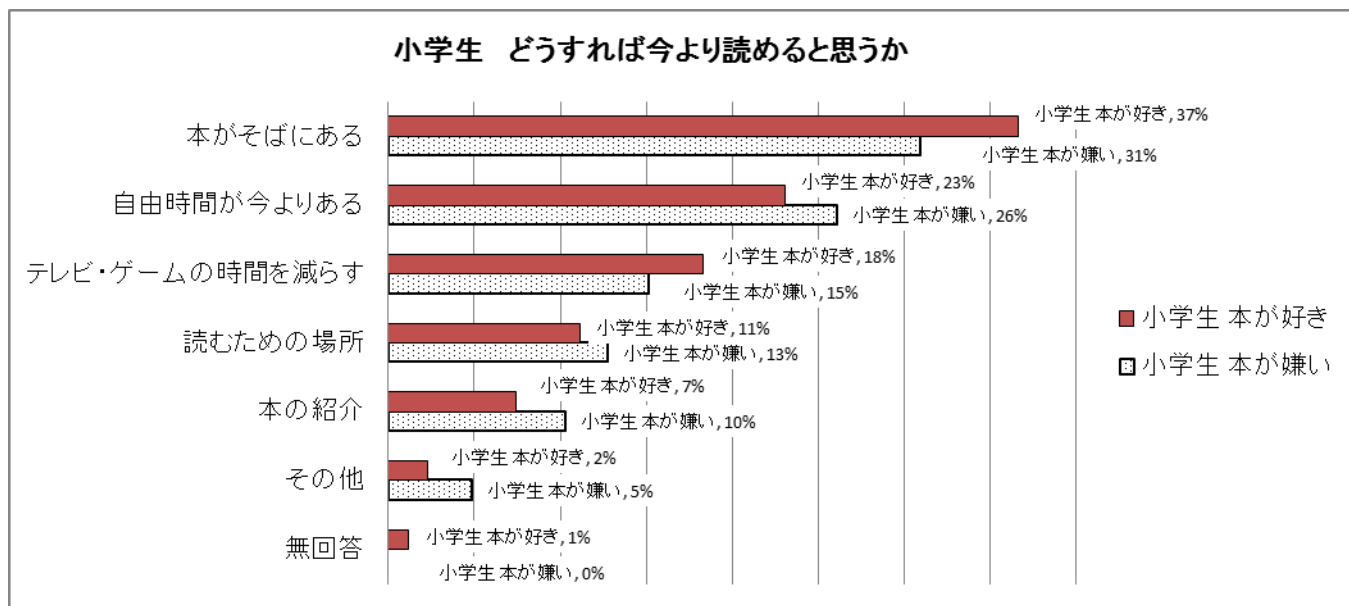
### 中学生 どこで借りたり買ったりするか



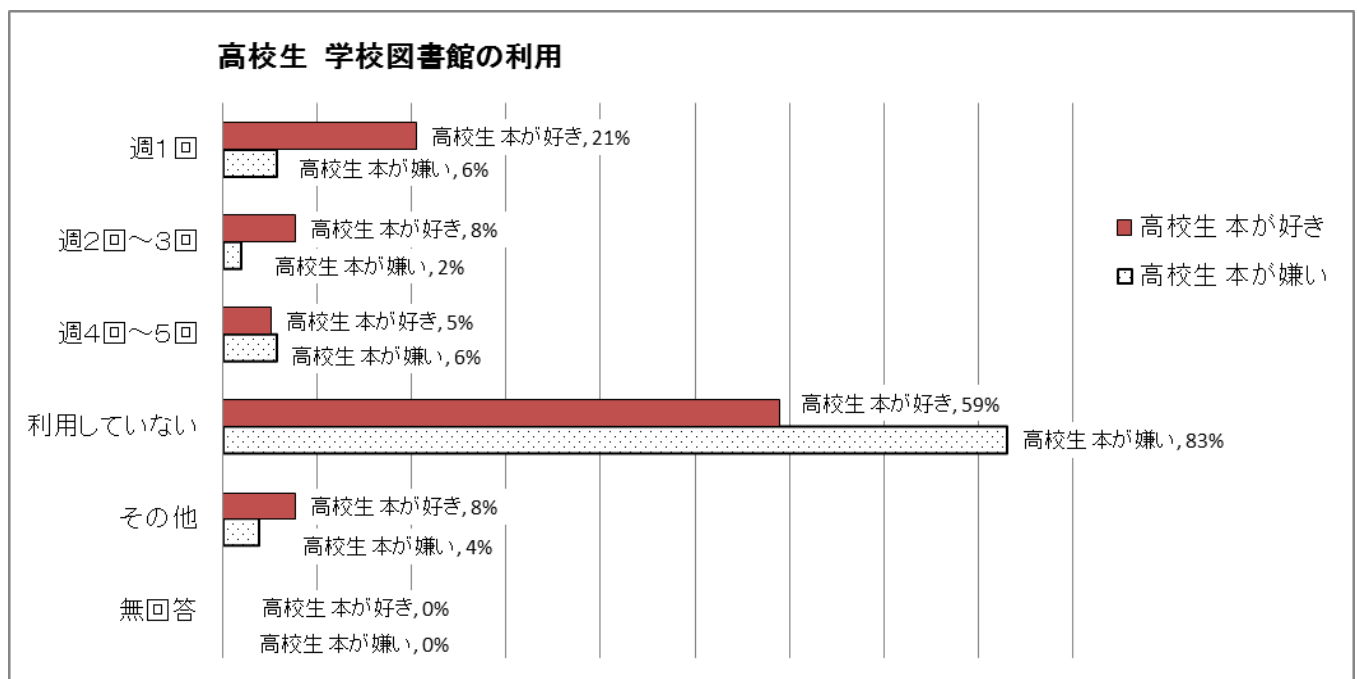
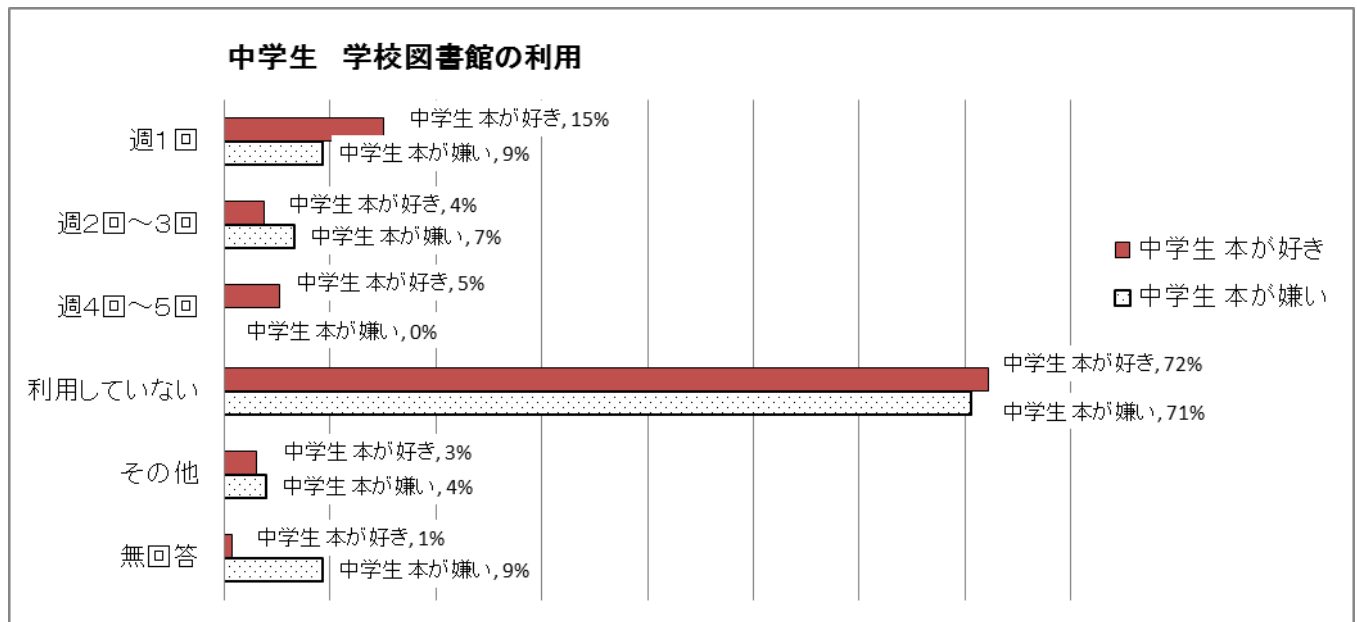
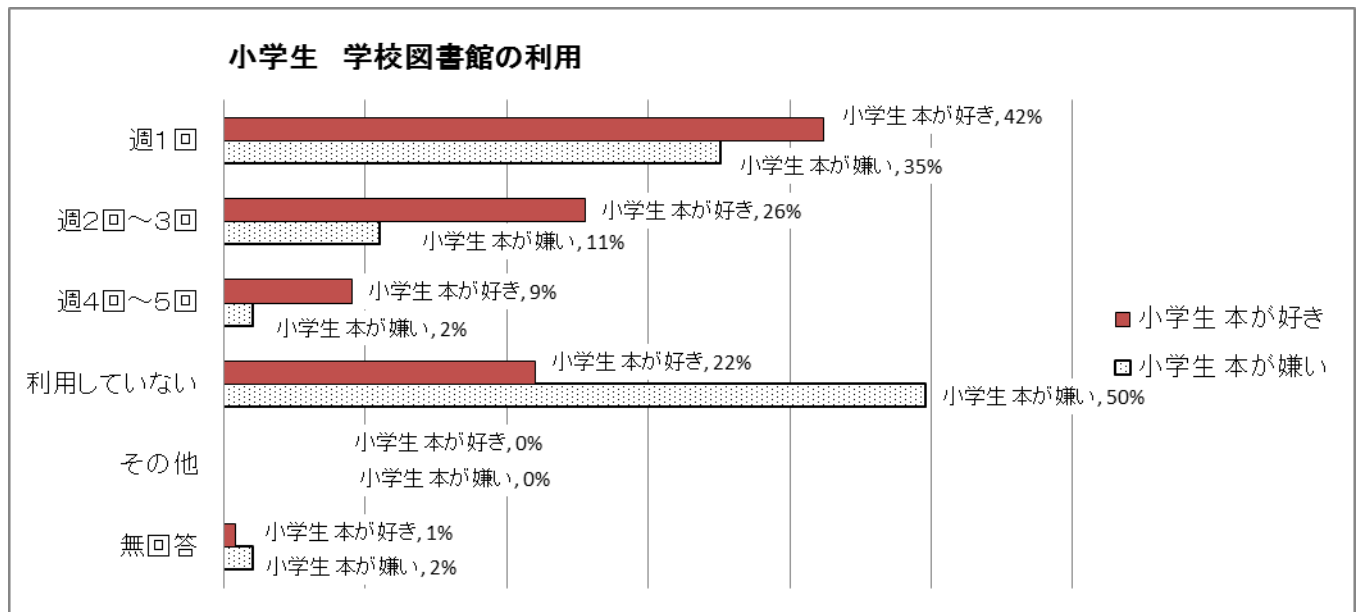
### 高校生 どこで借りたり買ったりするか



## どうすれば今より読めると思うか

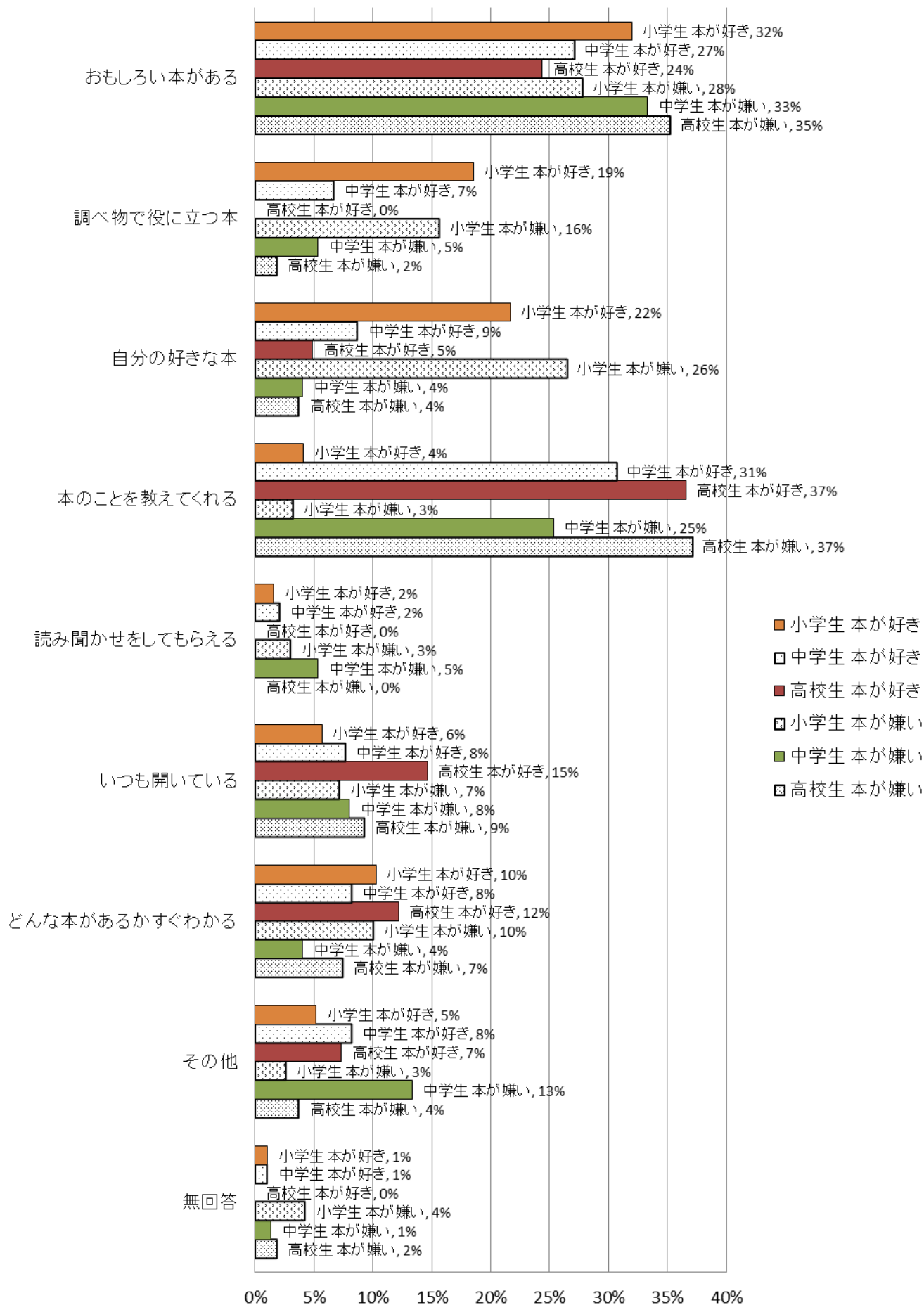


## 学校図書館の利用



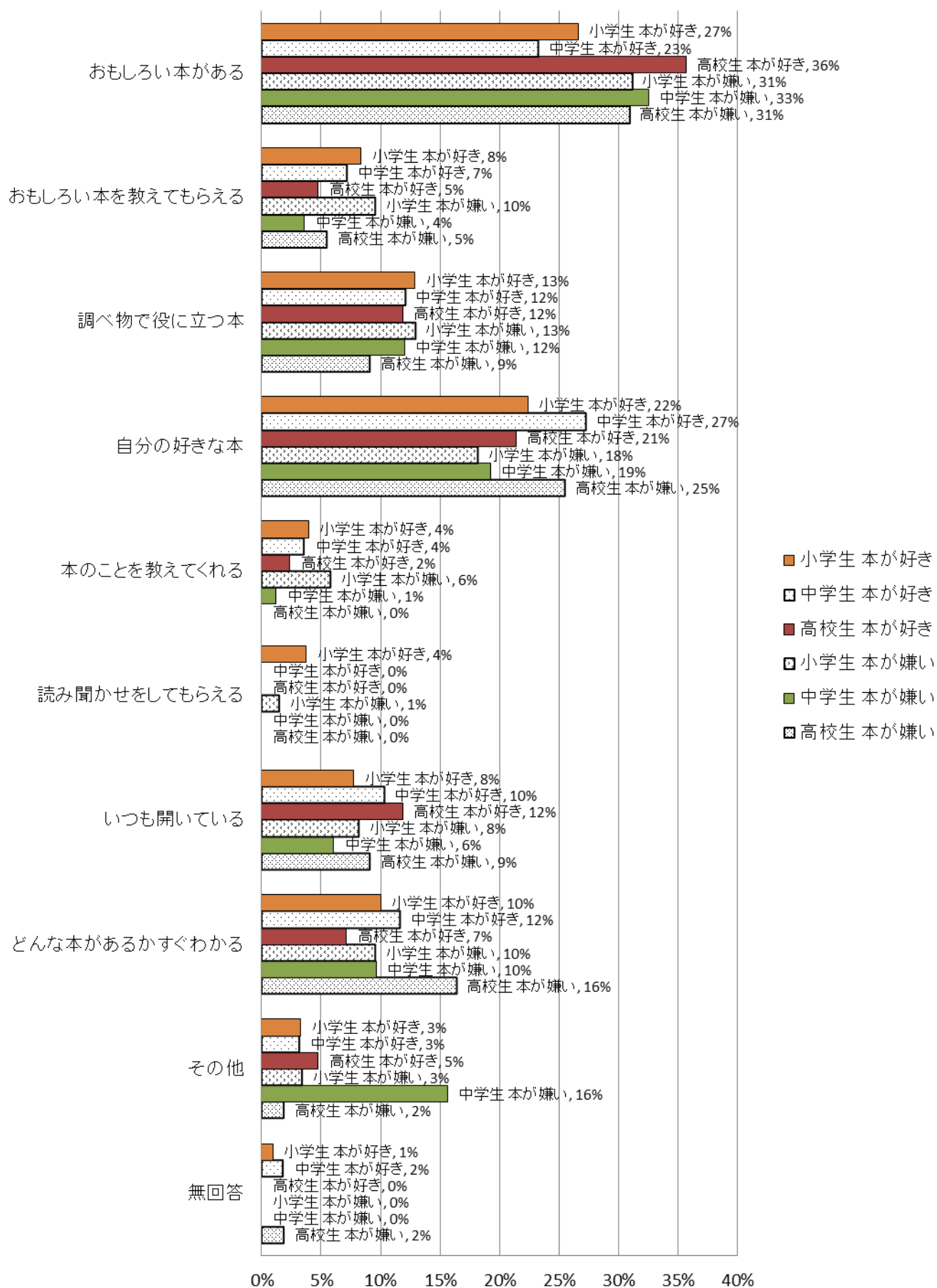
# 学校図書館への希望

## 子ども全体 学校図書館への希望

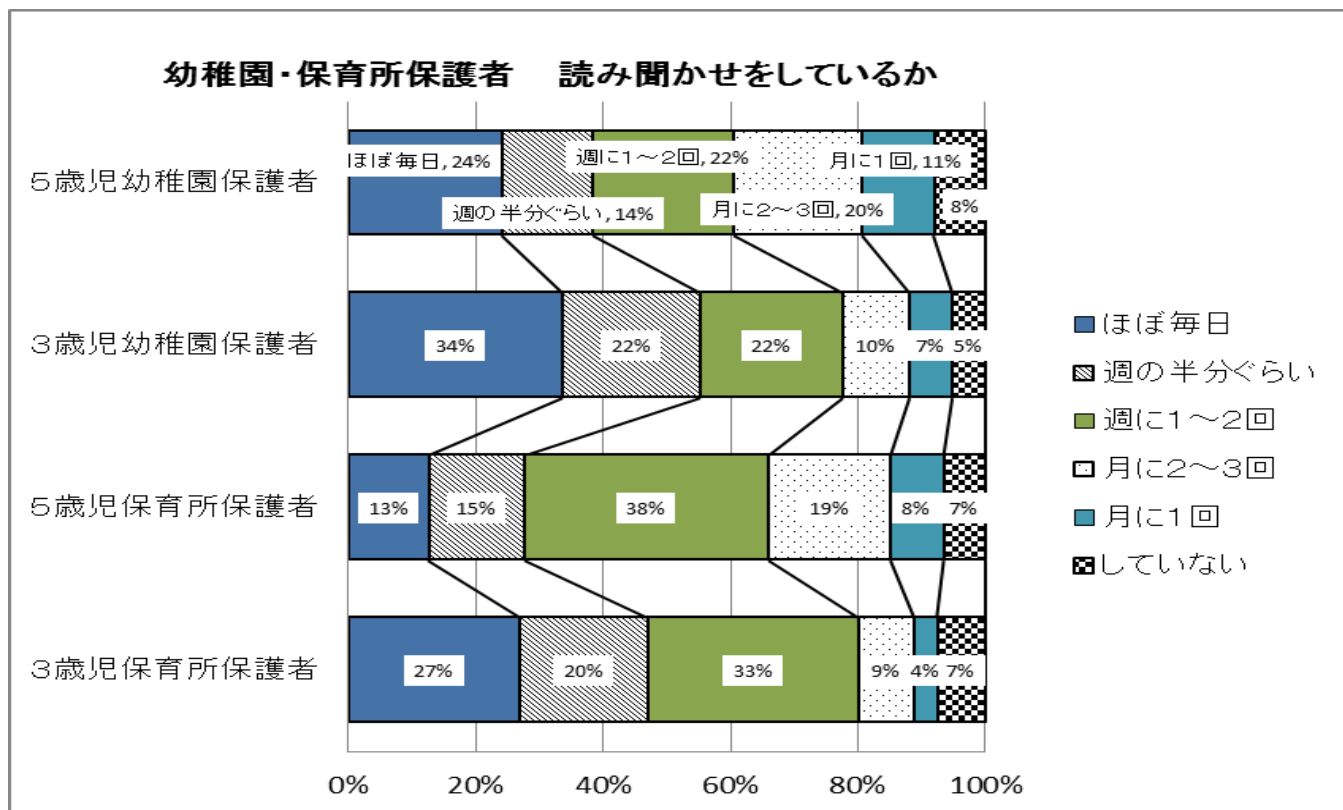


# 図書館への希望

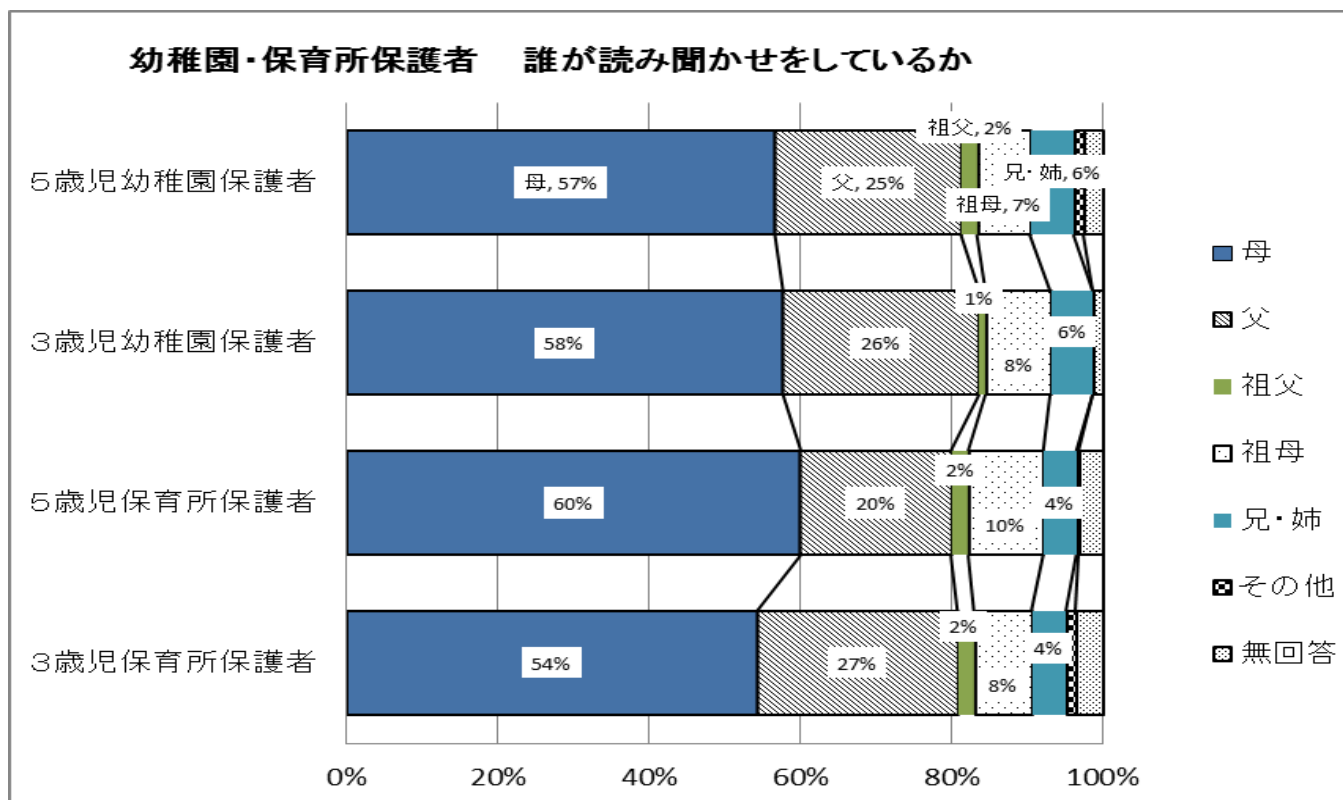
## 子ども全体 図書館への希望



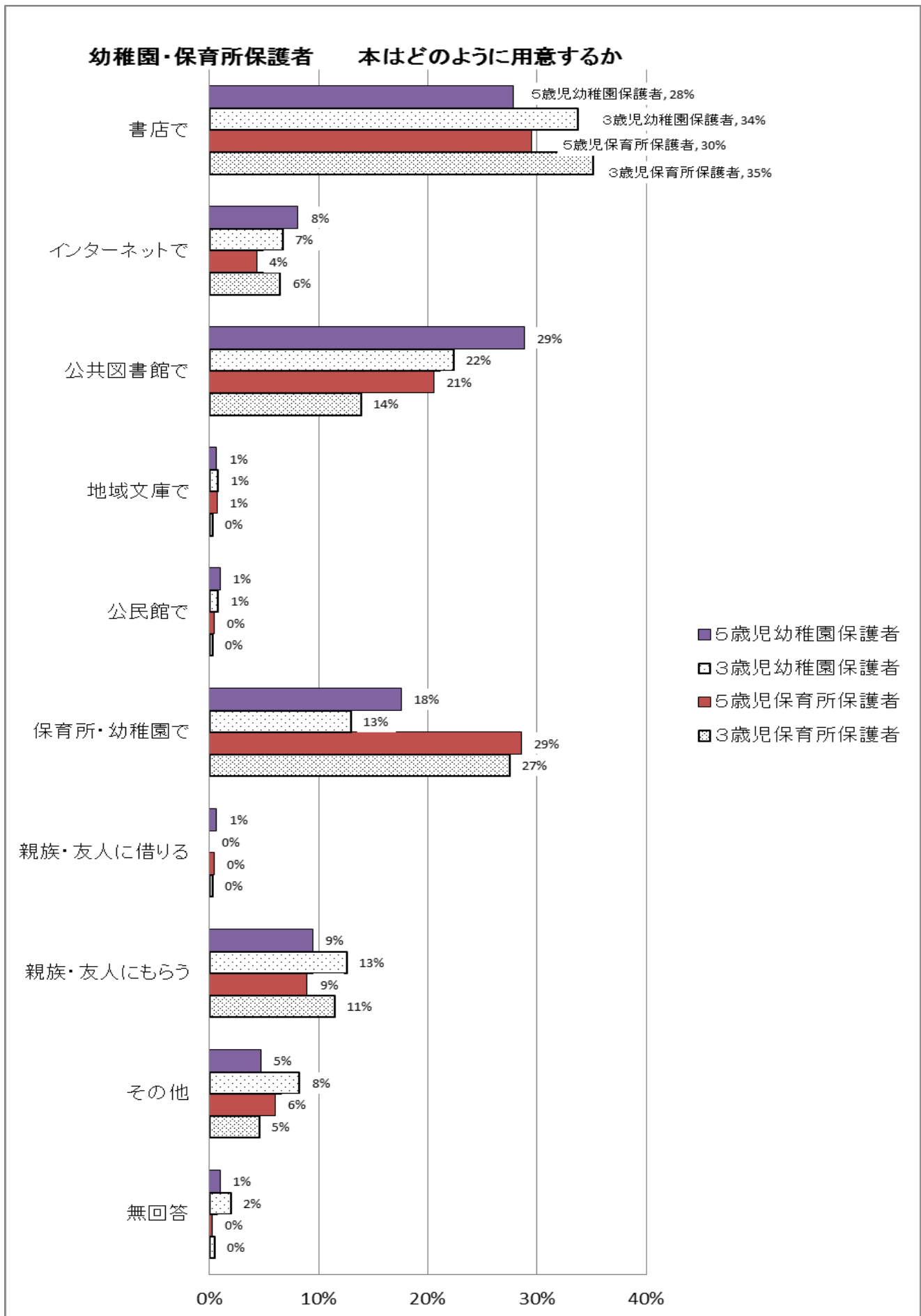
幼稚園・保育所保護者 読み聞かせをしているか



幼稚園・保育所保護者 誰が読み聞かせをしているか

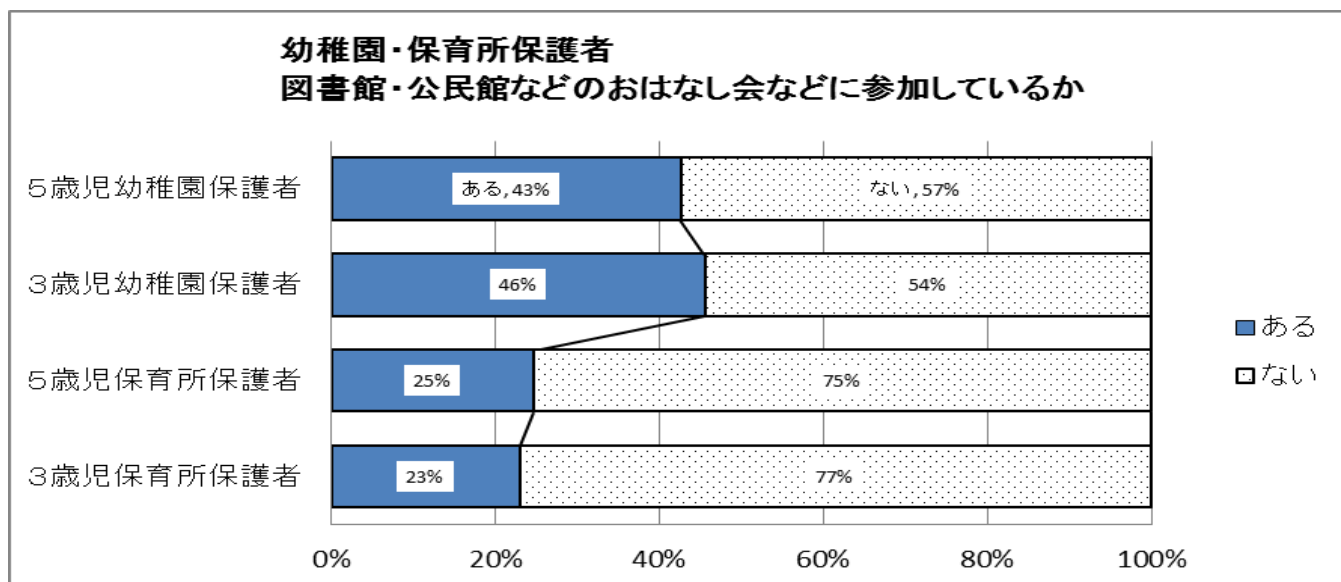


幼稚園・保育所保護者 本はどのように用意するか

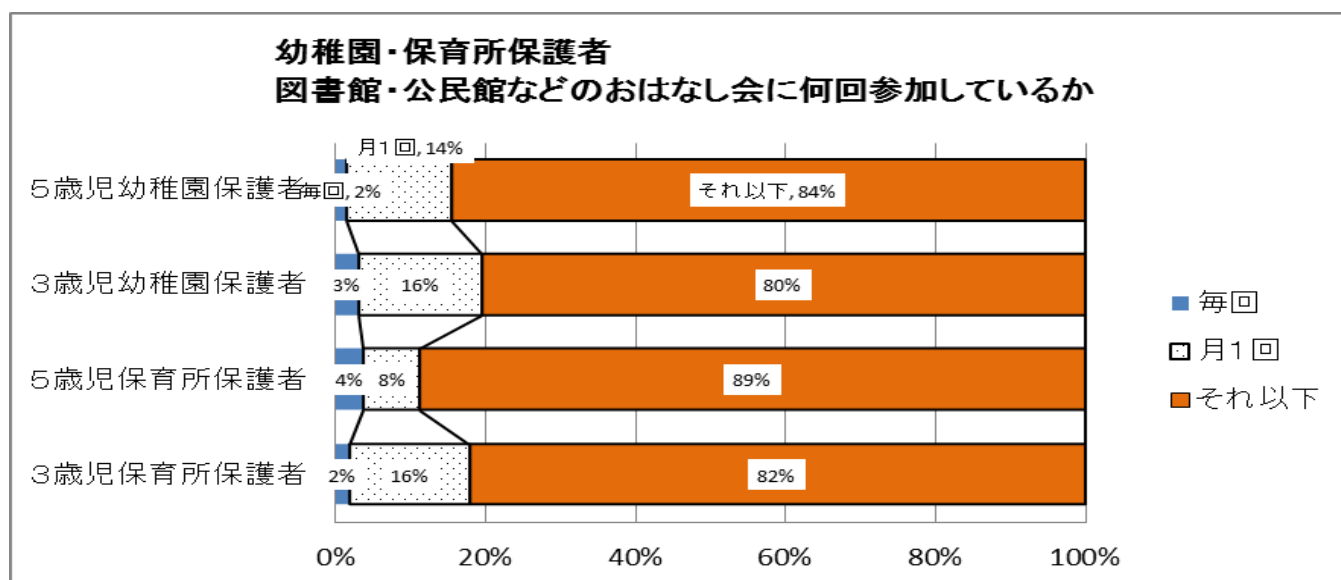




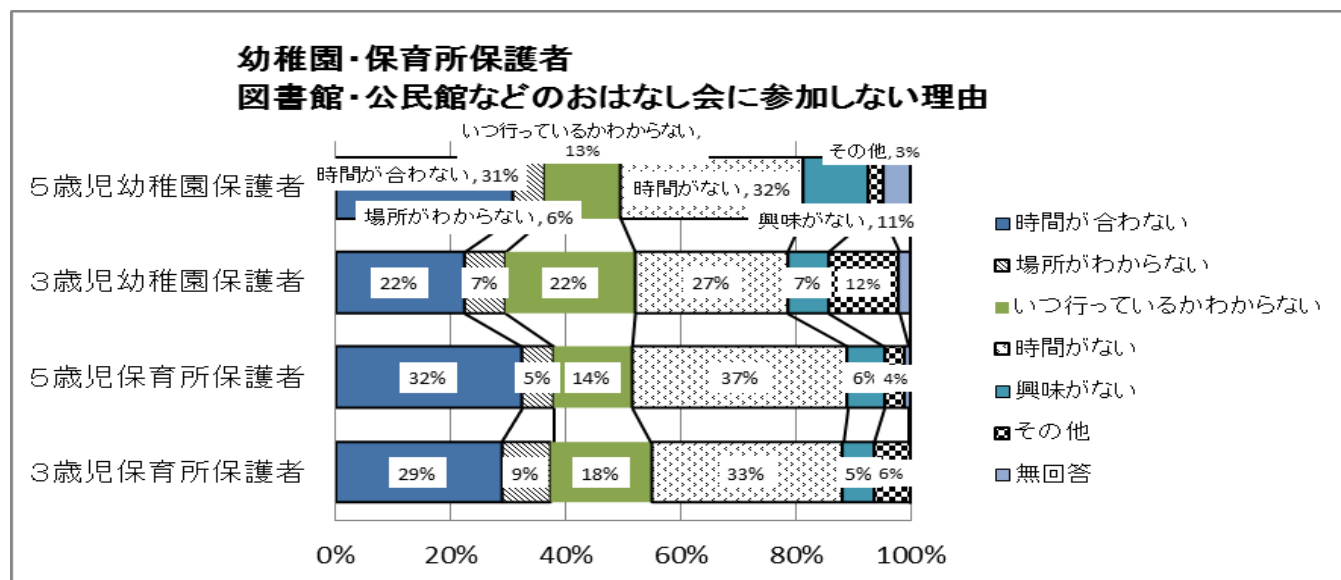
幼稚園・保育所保護者 図書館公民館などのおはなし会などに参加しているか



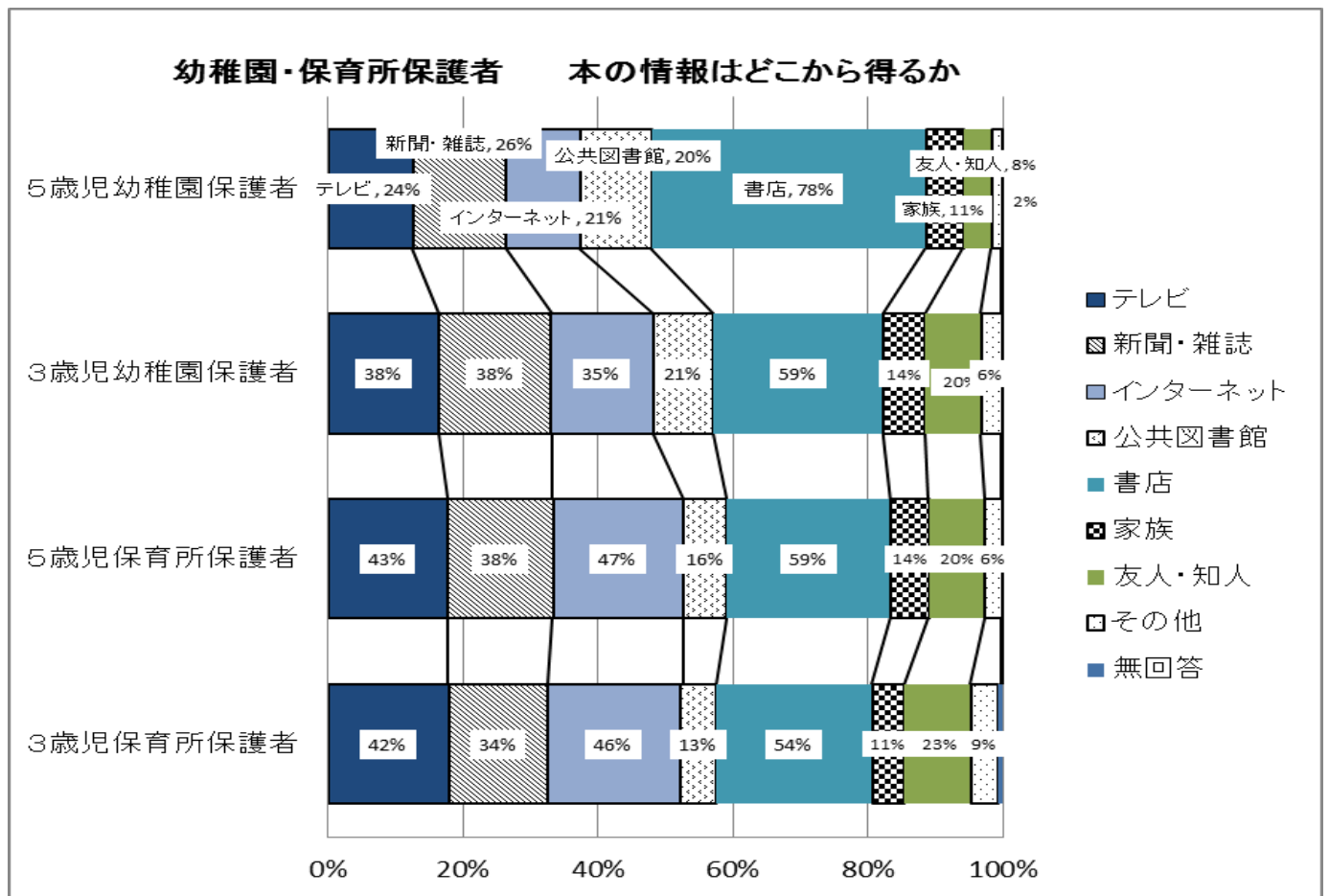
幼稚園・保育所保護者 図書館公民館などのおはなし会に何回参加しているか



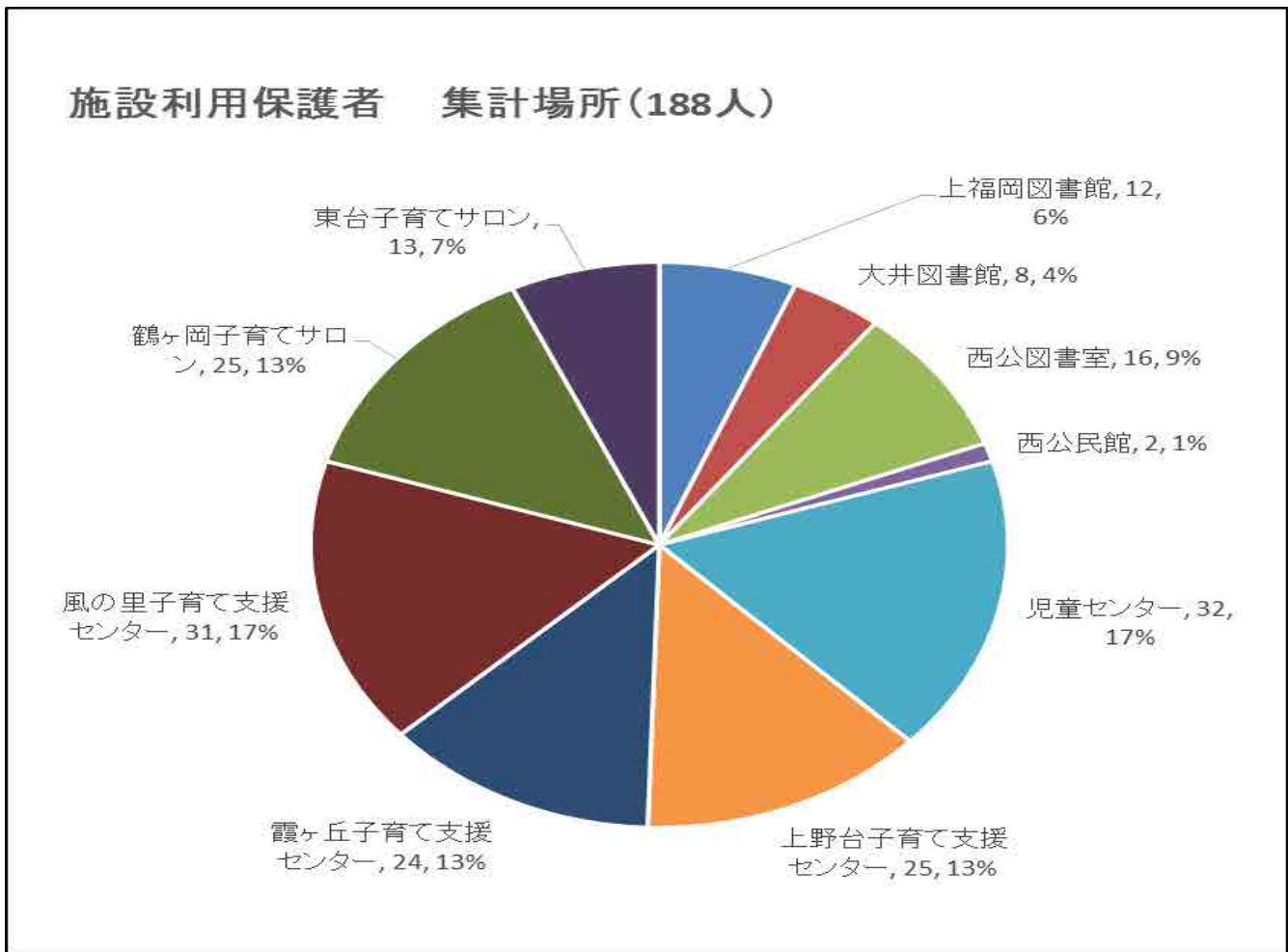
幼稚園・保育所保護者 図書館公民館などのおはなし会に参加しない理由



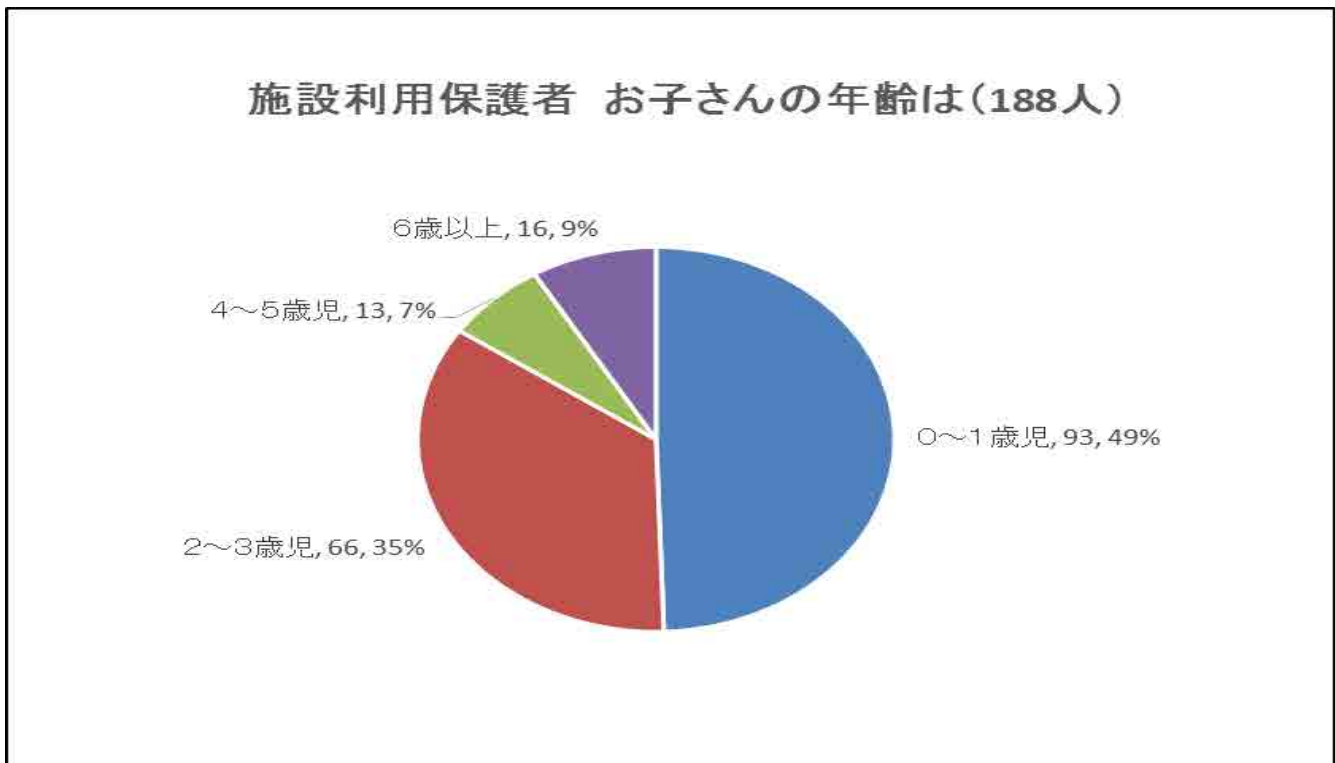
幼稚園・保育所保護者 本の情報はどこから得るか



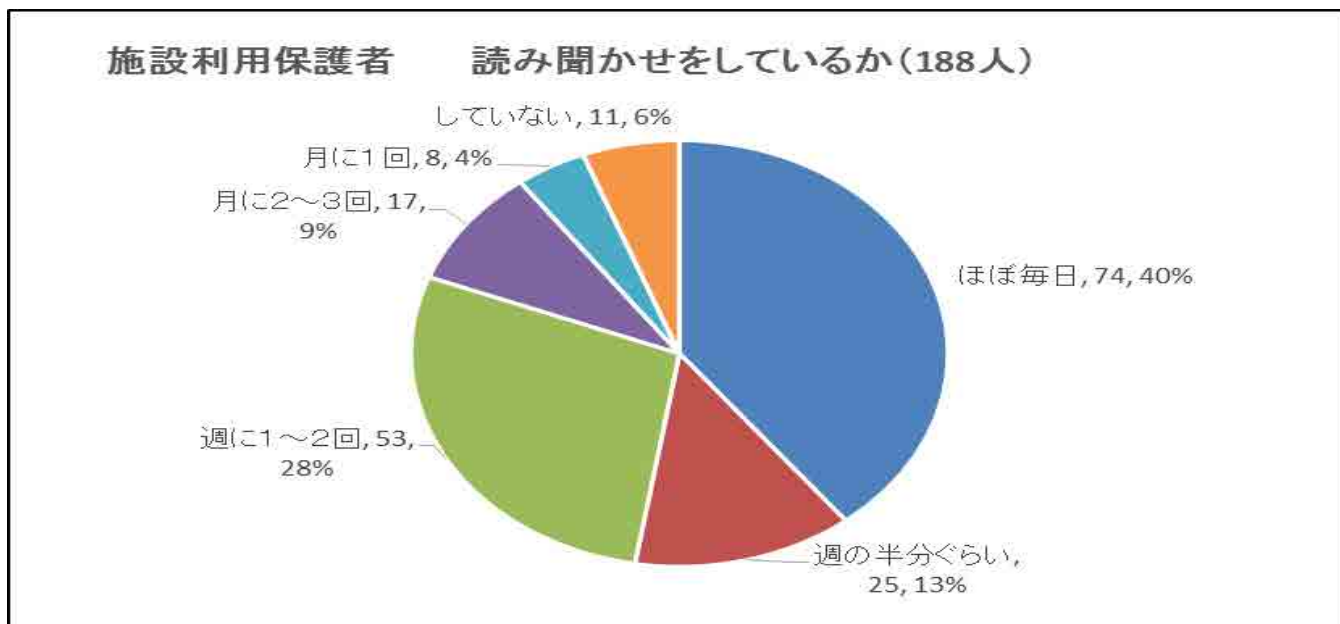
施設利用保護者 集計場所



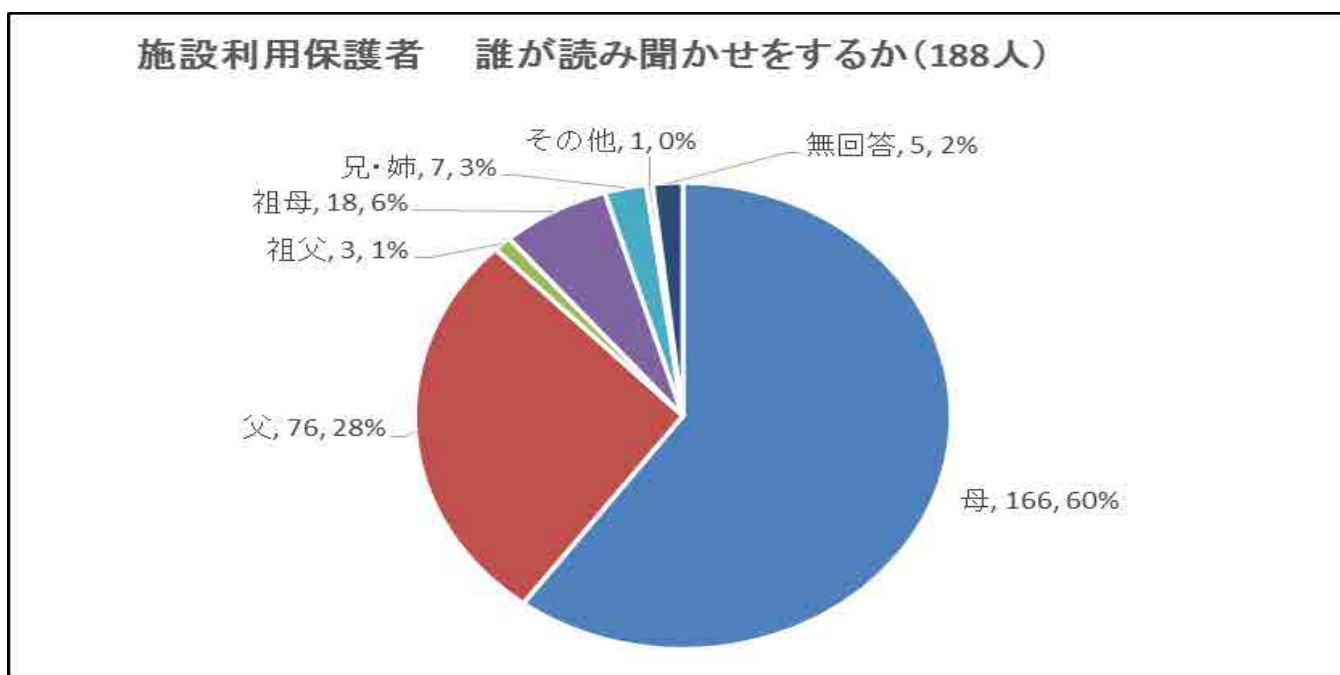
施設利用保護者 子どもの年齢



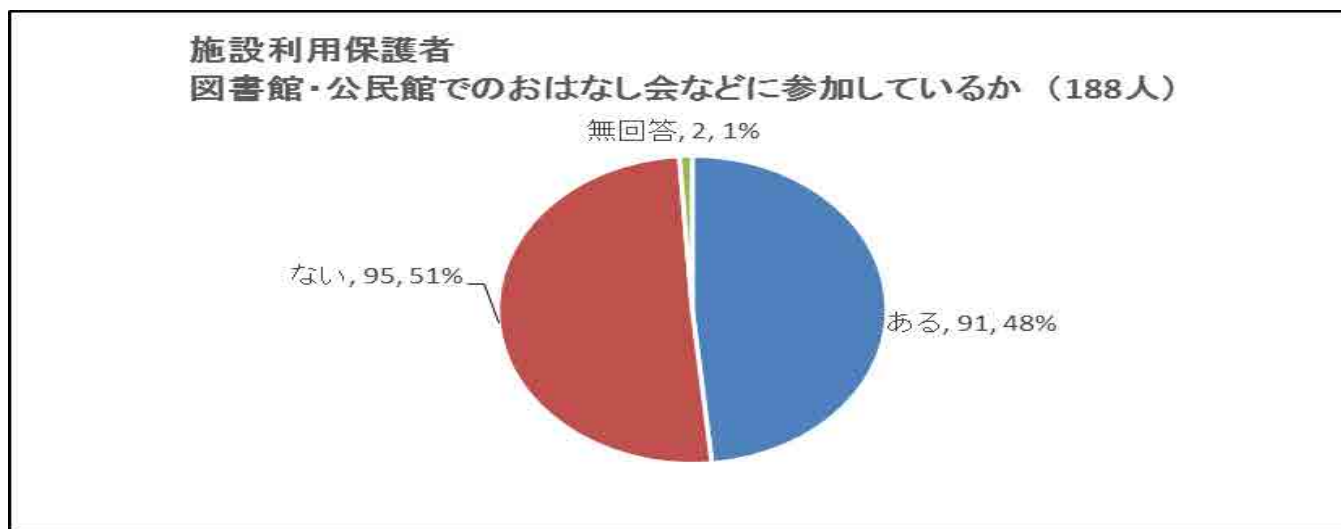
### 施設利用保護者 読み聞かせをしているか



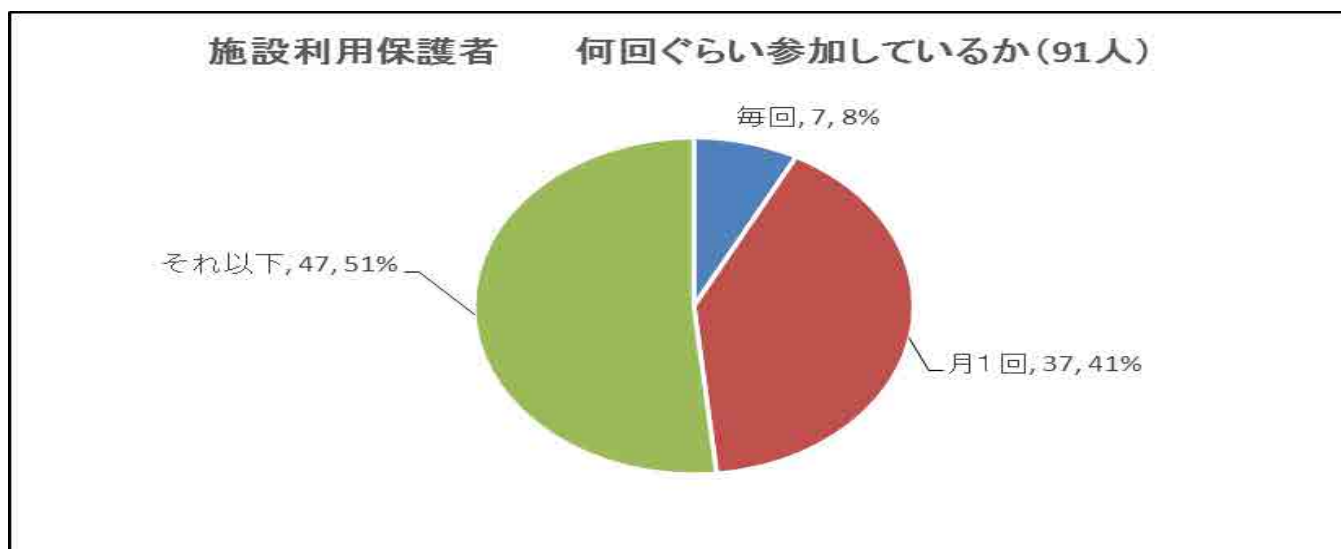
### 施設利用保護者 誰が読み聞かせをしているか



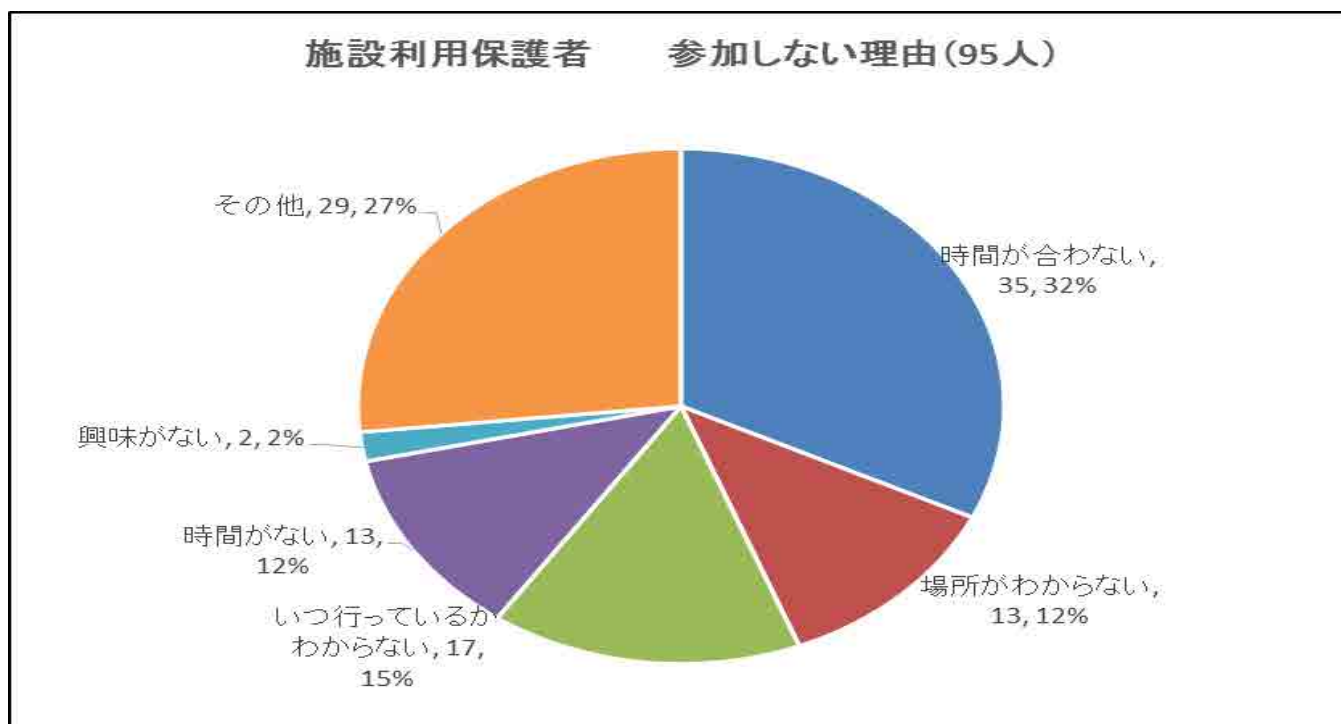
施設利用保護者 図書館・公民館でのおはなし会などに参加しているか



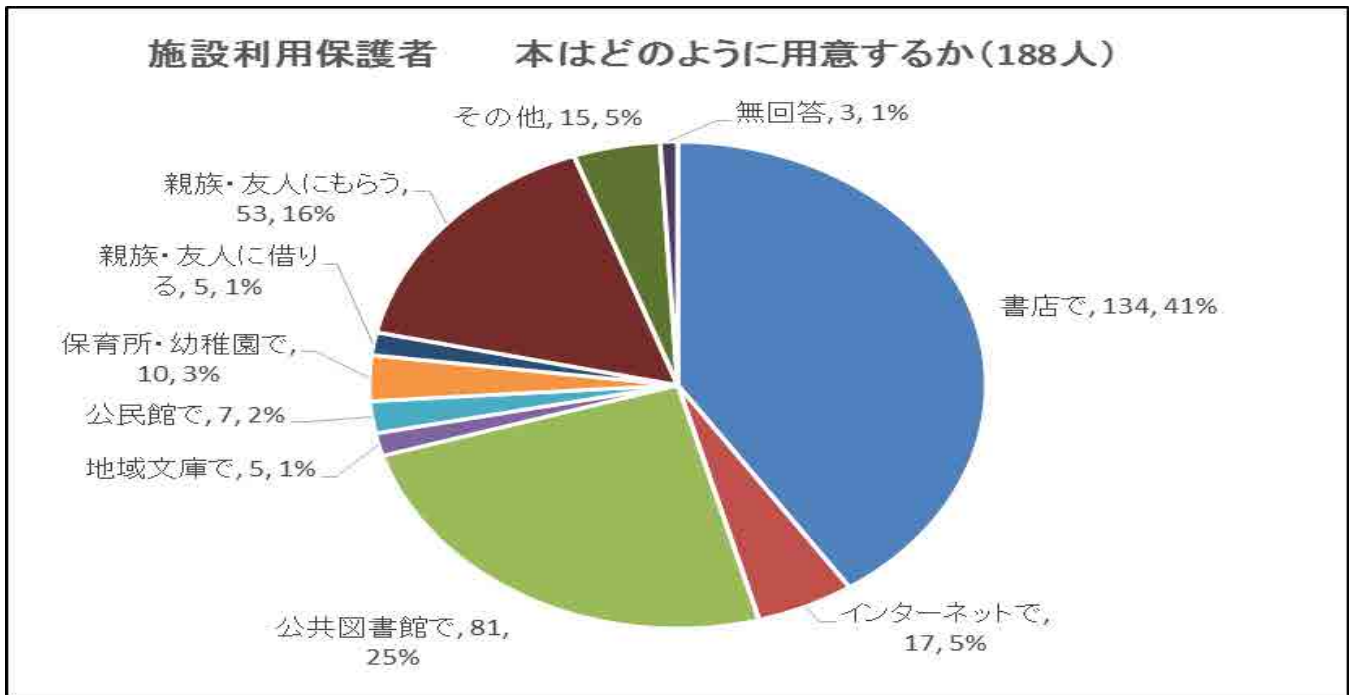
施設利用保護者 図書館・公民館でのおはなし会などに何回ぐらい参加しているか



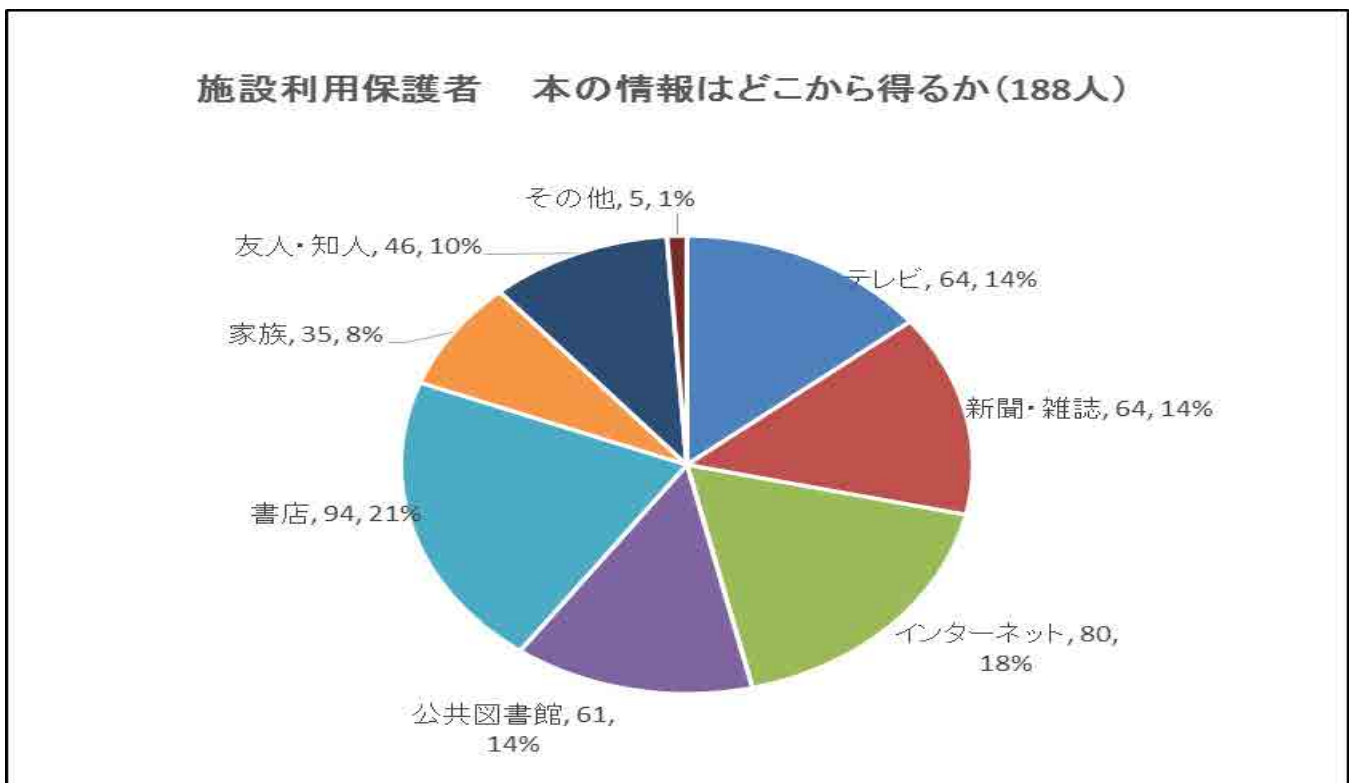
施設利用保護者 図書館・公民館でのおはなし会などに参加しない理由



施設利用保護者 本はどのように用意するか



施設利用保護者 本の情報はどこから得るか



**乳幼児保護者読書アンケート** 該当するところに○をつけてください。

あなたのお子さんは、(調査時点で)何歳ですか。

1. 0～1歳児 2. 2～3歳児 3. 4～5歳児 4. 6歳児～

**問1** あなたの家庭では、子どもに読み聞かせをしていますか。

1. ほぼ、毎日 2. 週の半分ぐらい 3. 週に1、2回 4. 月に2、3回 5. 月に1回程度 6. していない

**問2** 問1の答えで⑥以外の方はお答えください。普段、どなたが子どもに本を読んであげていますか。

(複数回答可)

1. 母 2. 父 3. 祖父 4. 祖母 5. 兄・姉 6. その他  
( )

**問3** 子どもに読み聞かせをする本はどのように用意しますか。(複数回答可)

1. 書店・古書店などで購入 2. インターネットで購入 3. 公共図書館で借りる 4. 地域文庫で借りる  
5. 公民館で借りる 6. 保育所・園、幼稚園で借りる 7. 親族・友人に借りる 8. 親族・友人からもらう  
9. その他 ( )

**問4** あなたは子どもと一緒に公共図書館・公民館などで行う、おはなし会や読み聞かせの会などに参加したことがありますか。

1. ある 2. ない

**問4-1** 「ある」と答えた方は以下の質問にもお答えください。

1. 毎回参加 2. 月に1度ぐらいは参加 3. それ以下

**問4-2** 「ない」と答えた方は以下の質問にもお答えください。(複数回答可)

1. 行っている時間が合わない 2. 行っている場所がわからない  
3. いつ行っているのかわからない 4. 参加する時間がない  
5. 興味がない 6. その他 ( )

**問5** あなたご自身の読書についてお伺いします。(複数回答可)

1. 本も雑誌もよく読む 2. 本しか読まない 3. 雑誌しか読まない 4. 本も雑誌も読まない  
5. 自分では読まないが子どもの読み聞かせはする  
6. 本や雑誌を読んでいる時間がない  
7. 読書が嫌い 8. 電子書籍(パソコンやタブレット端末、スマートフォンを使う読書)をよく読む  
9. 電子書籍(パソコンやタブレット端末、スマートフォンを使う読書)しか読まない  
10. その他 ( )

**問6** 日頃、本に関する情報はどこから得ますか。(複数回答可)

1. テレビ 2. 新聞や雑誌 3. インターネット 4. 公共図書館 5. 書店 6. 家族  
7. 友人・知人 8. その他 ( )

お忙しいところ、ご協力ありがとうございました。

**保育所(園)・幼稚園読書アンケート** 該当するところに○をつけてください。

あなたは 1. 2歳児(2～3歳児)の保護者 2. 5歳児(5～6歳児)の保護者 のどちらですか。

**問1** あなたの家庭では、子どもに読み聞かせをしていますか。

1. ほぼ、毎日 2. 週の半分ぐらい 3. 週に1、2回 4. 月に2、3回 5. 月に1回程度 6. していない

**問2** 問1の答えで⑥以外の方はお答えください。普段、どなたが子どもに本を読んであげていますか。

(複数回答可)

1. 母 2. 父 3. 祖父 4. 祖母 5. 兄・姉 6. その他  
( )

**問3** 子どもに読み聞かせをする本はどのように用意しますか。(複数回答可)

1. 書店・古書店などで購入 2. インターネットで購入 3. 公共図書館で借りる 4. 地域文庫で借りる  
5. 公民館で借りる 6. 保育所・園、幼稚園で借りる 7. 親族・友人に借りる 8. 親族・友人からもらう  
9. その他 ( )

**問4** あなたは子どもと一緒に公共図書館・公民館などで行う、おはなし会や読み聞かせの会などに参加したことがありますか。

1. ある 2. ない

**問4-1** 「ある」と答えた方は以下の質問にもお答えください。

1. 毎回参加 2. 月に1度ぐらいは参加 3. それ以下

**問4-2** 「ない」と答えた方は以下の質問にもお答えください。(複数回答可)

1. 行っている時間が合わない 2. 行っている場所がわからない 3. いつ行っているのかわからない 4. 参加する時間がない  
5. 興味がない 6. その他 ( )

**問5** あなたご自身の読書についてお伺いします。(複数回答可)

1. 本も雑誌もよく読む 2. 本しか読まない 3. 雑誌しか読まない 4. 本も雑誌も読まない  
5. 自分では読まないが子どもの読み聞かせはする 6. 本や雑誌を読んでいる時間がない  
7. 読書が嫌い 8. 電子書籍(パソコンやタブレット端末、スマートフォンを使う読書)をよく読む  
9. 電子書籍(パソコンやタブレット端末、スマートフォンを使う読書)しか読まない  
10. その他 ( )

**問6** 日頃、本に関する情報はどこから得ますか。(複数回答可)

1. テレビ 2. 新聞や雑誌 3. インターネット  
4. 公共図書館 5. 書店 6. 家族  
7. 友人・知人 8. その他 ( )

お忙しいところ、ご協力ありがとうございました。

**小学生アンケート** あてはまるところに○をつけてください。

小学校名 ( 小学校 ) 学年 ( 年 ) 性別: 男 ・ 女

**問1** あなたは本を読むことが好きですか

1. はい 2. いいえ

**問2** 1か月におよそ何冊ぐらいの本を読みますか

(学習参考書は含む。マンガ・雑誌は入れません)

1. 0冊 2. 1～2冊 3. 3～4冊  
4. 5～6冊 5. 7冊以上

**問3** 1か月におよそ何冊ぐらいのマンガ・雑誌を読みますか

1. 0冊 2. 1～2冊 3. 3～4冊  
4. 5～6冊 5. 7冊以上

**問4** あなたはテレビ(テレビゲームも入れてください)を一日に何時間ぐらい見ますか

1. 1時間 2. 2時間 3. 3時間 4. 4時間  
5. 5時間以上 6. ほとんどみない

**問5** あなたはインターネット・メール(携帯電話含む)をしますか

1. はい 2. いいえ

**問6** 1か月におよそ何冊ぐらいの電子書籍(パソコンやタブレット端末、スマートフォンを使う読書)を読みますか。

(学習参考書は含む。マンガは入れません)

1. 読まない0冊 2. 1～2冊 3. 3～4冊  
4. 5～6冊 5. 7冊以上

**問7** 誰かに本を読んでもらったり、昔話を聞いたことがありますか

1. たくさんある 2. ときどきある 3. なかった  
4. わからない

**問8** 誰に本を読んでもらったり、昔話をしてもらいましたか

1. お母さんお父さん 2. おじいさんおばあさん 3. 保育園・幼稚園の先生  
4. 学校の先生 5. 地域文庫の人 6. 図書館の人  
7. 放課後児童クラブ(学童保育)の先生 8. 公民館の人  
9. 児童センターの先生 10. ない 11. その他( )

**問9** 小学校に入る前に市の図書館や地域文庫(または移動図書館)に行

ったことがありますか、

1. よくあった 2. ときどきあった 3. すこしあった 4. なかった  
5. わからない

**問10** 小学校に入ってから市の図書館や地域文庫(または移動図書館)に行ったことがありますか

1. よくある 2. ときどきある 3. すこしある 4. ない  
5. わからない

**問11** 読書についてどう思いますか(5つまで)

1. 楽しい 2. おもしろい 3. 感動する 4. 考える力がつく  
5. 国語の力がつく 6. 知らないことがわかる 7. 友達とのわだいになる 8. 読書はめんどくさい 9. 遊ぶ時間  
がなくなる 10. 勉強時間がなくなる

11. 読みたい本がない 12. 読みたい本がわからない

13. つまらない 14. その他( )

**問12** どのようにして本を選んでいきますか(3つまで)

1. 自分の好きな本 2. 家の人のすすめ 3. 友達のすすめ  
4. 学校のすすめ 5. 図書館のすすめ 6. 人気のある本  
7. 流行っている本 8. 課題図書 9. ためになる本  
10. その他( )

**問13** 読む本はどこで借りたり買ったりしますか(3つまで)

1. 学校の図書室 2. 移動図書館 3. 市の図書館  
4. 地域文庫 5. 本屋 6. 友達 7. 家にある  
8. 放課後児童クラブ 9. 公民館 10. その他( )

**問14** どうすれば今より本が読めると思いますか

1. 読みたい本がそばにある 2. 自由時間が今よりもある  
3. テレビやゲームの時間を減らす 4. 読むための場所がある  
5. 本を紹介をしてくれる人がいる 6. その他( )

**問15** 学校図書室をどれくらい利用していますか

1. 利用している 2. 利用していない 問16へ  
利用している人はどれくらいですか

1. 週1回 2. 週2回～3回 3. 週4回～5回

**問16** 学校図書室に希望することはなんですか

1. おもしろい本がある 2. 調べ物で役に立つ本がある  
3. 自分の好きな本がある 4. 本のことを教えてくれる人がいる  
5. 読み聞かせをしてもらえる 6. いつも開いている  
7. どんな本があるかすぐわかる  
8. その他( )



問17 市の図書館に希望することはなんですか

1. おもしろい本がある
2. おもしろい本を教えてもらえる
3. 調べ物で役に立つ本がある
4. 自分の好きな本がある
5. いつも本のことで教えてくれる人がいる
6. 読み聞かせをしてもらえる
7. いつも開いている
8. どんな本があるかすぐわかる
9. その他 ( )

これで終わりです。ご協力ありがとうございました



**高校生読書アンケート**

あてはまるところに○をつけてください。

学校名 ( ふじみ野高等学校 学年 ( 2 年) 性別: 男 ・ 女

**問1 あなたは本を読むことが好きですか**

1. はい 2. いいえ

**問2 1か月におよそ何冊ぐらいの本を読みますか (学習参考書は含む。マンガ・雑誌は入れません)**

1. 0冊 2. 1～2冊 3. 3～4冊 4. 5～6冊  
5. 7冊以上

**問3 あなたはテレビ (テレビゲームも入れてください) を一日に何時間ぐらい見ますか**

1. 1時間 2. 2時間 3. 3時間 4. 4時間  
5. 5時間以上 6. ほとんどみない

**問4 あなたはインターネット・メール (携帯電話含む) を一日に何時間ぐらい使いますか**

1. 1時間 2. 2時間 3. 3時間 4. 4時間  
5. 5時間以上 6. ほとんどしない

**問5 1か月におよそ何冊ぐらいのマンガ・雑誌を読みますか**

1. 0冊 2. 1～2冊 3. 3～4冊 4. 5～6冊  
5. 7冊以上

**問6 1か月におよそ何冊ぐらいの電子書籍 (パソコンやタブレット端末、スマートフォンを使う読書) を読みますか。(学習参考書は含む。マンガは入れません)**

1. 0冊 2. 1～2冊 3. 3～4冊 4. 5～6冊  
5. 7冊以上

**問7 小さいときから誰かに本を読んでもらったり、昔話を聞いたことがありますか**

1. たくさん 2. ときどき 3. なかった 4. わからない

**問8 だれかに本を読んでもらったり、昔話をしてもらいましたか**

1. お母さん・お父さん 2. お祖父さん・お祖母さん 3. 保育園・幼稚園の人 4. 学校の先生 5. 地域文庫の人 6. 図書館の人  
7. 放課後児童クラブ (学童保育) の人  
8. その他 ( )

**問9 高校に入学する前に図書館や地域文庫 (または移動図書館) に行ったことがありますか**

1. 小学校に入る前 2. 小学1年～6年の間 3. 中学生の時  
4. なかった 5. わからない

**問10 読書についてどう思いますか (5つまで)**

1. 楽しい 2. おもしろい 3. 感動する 4. 考える力がつく 5. 国語の力がつく 6. 知らないことがわかる 7. 友達との話題になる  
8. 読書はめんどくさい 9. 遊ぶ時間がなくなる  
10. 勉強時間がなくなる 11. 読みたい本がない  
12. その他 ( )

**問11 どのようにして本を選んでいきますか (3つまで)**

1. 自分の好きな本 2. 家の人のすすめ 3. 友達のすすめ  
4. 学校のすすめ 5. 公共図書館のすすめ 6. 流行っている本  
7. 課題図書 8. ためになる本  
9. その他 ( )

**問12 読む本はどこで借りたり買ったりしますか (3つまで)**

1. 学校の図書館 2. 公共図書館 3. 地域文庫 4. 本屋  
5. 友達 6. 家にある 7. 公民館  
8. その他 ( )

**問13 どうすれば今より本が読めると思っていますか**

1. 読みたい本がそばにある 2. 自由時間が今よりもある  
3. テレビやゲームの時間を減らす 4. 読むための場所がある  
5. 本の紹介してくれる人がいる  
6. その他 ( )

**問14 学校図書室をどれくらい利用していますか**

1. 週1回 2. 週2回～3回 3. 週4～5回  
4. 利用していない  
5. その他 ( )

**問15 学校図書室に望むことはなんですか**

1. おもしろい本がある 2. おもしろい本を教えてもらえる  
3. 調べ物や役に立つ本がある 4. 自分の好きな本がある  
5. いつも本のことで教えてくれる人がいる  
6. いつも開いている 7. どんな本があるかすぐわかる  
8. その他 ( )

**問16 公共図書館に望むことはなんですか**

1. おもしろい本がある 2. おもしろい本を教えてもらえる  
3. 調べ物や役に立つ本がある 4. 自分の好きな本がある  
5. いつも本のことで教えてくれる人がいる 6. いつも開いている  
7. どんな本があるかすぐわかる  
8. その他 ( )

ご協力ありがとうございました

**保育所（園）・幼稚園等施設読書アンケート** 該当するところに○をつけてください。  
施設名（ ）

**問1 貴所・園で以下のような読書活動は行っていますか。行っているもの全てに○をしてください。**

1. 保育士・教員による読み聞かせ
2. ボランティアによる読み聞かせ  
(ア) 誰が行いますか。(複数回答可) ( 保護者・ 読み聞かせサークル ・ その他 ( ) )
3. 読書週間・子ども読書の日等の読書のイベント実施 (児童・保護者への講演会・研修会など)  
(ア) 年何回行いますか。( 1回 ・ 2回 ・ それ以上  
・ その他 ( ) )
4. 保護者会・お便りなどによる保護者への読書啓発
5. その他 ( )
6. 行っていない

問1-1 6. の行っていない所・園にお聞きます。  
行わない理由は何ですか。(複数回答可)

1. 時間の確保が出来ない
2. 人員の確保が出来ない
3. その他 ( )

**問2 貴所・園では以下のようなことを行っていますか**

1. 独自で絵本等のリストを作成している
2. わらべうた・手遊びの方法等の紹介を保護者にしている
3. 読書活動のための資料や教材を用意している
4. 読書活動のための研修を行っている
5. 読書指導のために外部の機関・ボランティアの活用をしている
6. その他 ( )
7. 行っていない

問2-1 7. の行っていない所・園にお聞きます。  
行わない理由は何ですか。(複数回答可)

1. 時間の確保が出来ない
2. 人員の確保が出来ない
3. 行う必要がない
4. その他 ( )

**問3 所・園内に図書コーナー（室）を設置していますか**

1. はい
2. いいえ
3. 各部屋に設置

問3-1 「はい」・「各部屋に設置」と答えた所・園は本をどのように用意しましたか。(複数回答可)

1. 所・園の予算で購入している  
(よろしければお答えください 年予算 円)
2. 保護者会で購入している
3. 寄贈
4. その他 ( )

**問4 公共図書館の「団体貸出」のサービスを利用していますか**

1. はい
2. いいえ

問4-1 「いいえ」と答えた所・園は以下の質問にお答えください。  
利用しない理由は何ですか(複数回答可)

1. 所・園で足りているから
2. 公共図書館の「団体貸出」を知らない
3. 公共図書館の「団体貸出」の利用方法がわからない
4. 公共図書館の「団体貸出」は借りたり返したりが面倒
5. その他 ( )  
(用語解説) 公共図書館の「団体貸出」サービスは、公共図書館で団体(クラス名、園名など)で登録すれば、図書資料を

借りられる制度です。

**問5 保護者に対しての読書啓発をしていますか**

1. はい
2. いいえ

問5-1 「はい」と答えた所・園は以下の質問にお答えください。(複数回答可)

1. 保護者会や各種通信を通じて読書の意義を説明している
2. 保護者向けの講演会・研修会を実施している
3. その他 ( )
4. 行っていない

問5-2 4. の行っていない所・園にお聞きます。

行わない理由は何ですか。(複数回答可)

1. 時間の確保が出来ない
2. 人員の確保が出来ない
3. その他 ( )

問6 貴所・園では障がいを持つ子どもの読書のために、特に配慮していることがありますか。

問7 障がいを持つ子どもの読書のため、市立図書館に望むことは何ですか。

お忙しいところ、ご協力ありがとうございました。

**学校読書アンケート**

該当するところに○をつけてください。

学校名 ( )  
 回答者 ( 司書教諭 ・ 図書室担当教諭 ・ その他 )

**問1 貴校で読書活動は行われていますか。クラス単位、学年単位、学校単位は問いません。**

1. はい 2. いいえ

問1-1 「はい」と答えた学校は以下の質問にお答えください。  
 どのような読書活動ですか。行っているもの全て○をしてください。

- 全校一斉の読書活動
- 教員による読み聞かせ
- 生徒による読み聞かせ
- ボランティアによる読み聞かせ  
 (ア) 誰が行いますか。 複数回答可 ( PTA  
 読み聞かせサークル ・ その他 )
- ブックトーク  
 (ア) 誰が行いますか。複数回答可 ( 教員 ・ 市内図書館職員 ・ PTA ・ 読み聞かせサークル ・ その他  
 ( ) )
- 読書週間・子ども読書の日等の読書のイベント実施  
 (ア) 年何回行いますか。 (1回 ・ 2回 ・ それ以上 ・  
 その他 ( ) )
- 読書感想文の取り組み
- 公共図書館への見学訪問
- 図書委員会の活動の実施
- その他 ( )

問1-2 「いいえ」と答えた学校は以下の質問にお答えください。  
 行わない理由は何ですか。(複数回答可)

- 時間の確保が出来ない
- 人員の確保が出来ない
- その他 ( )

**問2 貴校では読書指導を行っていますか。クラス単位、学年単位、学校単位は問いません。**

1. はい 2. いいえ

問2-1 「はい」と答えた学校は以下の質問にお答えください。  
 どのような読書指導ですか。行っているもの全て○をしてください。

- 独自の「課題図書」等のリストを作成している
- 教員の推薦する図書を児童に紹介している
- 図書室だよりの発行
- 学校図書室の利用方法について指導している
- 保護者会・お便りなどによる保護者への読書啓発
- 読書指導のための研修を行っている
- 読書指導のために外部の機関・ボランティアの活用をしている
- その他 ( )

問2-2 「いいえ」と答えた学校は以下の質問にお答えください。(いくつでも)  
 行わない理由は何ですか(複数回答可)

- 時間の確保が出来ない
- 人員の確保が出来ない
- 行う必要がない
- その他 ( )

**問3 学校図書室が開室している時間帯をお答えください。**

- 始業前
- 授業の間の休み時間
- 授業中
- 昼休み

- 放課後
- 毎日開館していない 週 ( ) 回 時間 1～5のうち ( ) 番

毎日開館していない理由は何ですか(複数回答可)

- 人員が少ない
- 蔵書数が少ない
- あまり利用されない
- その他 ( )

**問4 学校図書室が開室している時は図書の貸出を行っていますか。**

1. はい 2. いいえ

問4-1 「いいえ」と答えた学校は以下の質問にお答えください。  
 行わない理由は何ですか(複数回答可)

- 人員が少ない
- 蔵書数が少ない
- あまり貸出がされない
- 貸出できる状態にしていない
- その他 ( )

**問5 学校図書室はよく利用されていると思いますか。**

1. はい 2. いいえ

問5-1 「はい」と答えた学校は以下の質問にお答えください。  
 よく利用される理由は何だと思いますか(複数回答可)

- 授業の一環として活用できる
- 新しい本がたくさんある
- 利用しやすい
- 教員が薦めるから
- 一斉読書の時間があるから
- 司書教諭がいるから
- 図書室に支援員を配置しているから
- 図書委員会が活発だから
- その他 ( )

**問6 読み聞かせ、ブックトーク等活動支援でボランティアを活用している学校に伺います。定期的に行っていますか**

1. はい 2. いいえ

**問7 公共図書館の「団体貸出」サービスを利用していますか**

1. はい 2. いいえ

問7-1 「いいえ」と答えた学校は以下の質問にお答えください。  
 利用しない理由は何ですか(複数回答可)

- 学校図書室で足りているから
- 公共図書館の「団体貸出」を知らない
- 公共図書館の「団体貸出」の利用方法がわからない
- 公共図書館の「団体貸出」は借りたり返したりが面倒
- その他 ( )

・公共図書館の「団体貸出」サービスは、公共図書館で団体(クラス名、学校名など)で登録すれば、図書資料を借りられる制度です。

**問8 貴校には学級文庫がありますか**

1. 1クラス以上ある 2. ない

**問9 その他子ども読書活動推進についてご意見があれば記入してください**

お忙しいところ、ご協力ありがとうございました。

資料 2

ふじみ野市子ども読書活動推進計画策定委員会

策定委員会 名簿

課（室・館） 名	職 名	氏 名
教育委員会	教育部長	高山 稔 （委員長）
総務課	副参事兼課長	西郷 雅美
学校教育課	課長	山崎 祐一
生涯学習課	課長	桜井 信枝 （副委員長）
大井中央公民館	主幹兼館長	近藤 朗
上福岡公民館	館長兼係長	藤野 清
上福岡西公民館	館長兼係長	金井塚 文夫
改革推進室	室長	篠澤 真由美
子育て支援課	副参事兼課長	貝瀬 彰也

作業部会 名簿

課（室・館） 名	職 名	氏 名
総務課	副主幹兼係長	小川 正樹 （部会長）
学校教育課	指導主事	星野 和久
生涯学習課	副課長兼係長	池田 明良 （副部会長）
大井中央公民館	主査	橋本 鶴人
上福岡公民館	主査	江畑 正彦
上福岡西公民館	係長	星野 稔
改革推進室	係長	武井 克裕
子育て支援課	副課長兼係長	本橋 直人

### 資料3

#### ○ふじみ野市子ども読書活動推進計画策定委員会設置要綱

平成19年7月27日  
教育委員会訓令第15号

##### (設置)

第1条 子どもの読書活動の推進に関する法律(平成13年法律第154号)第9条第2項の規定に基づき、ふじみ野市子ども読書活動推進計画(以下「読書活動推進計画」という。)を策定するため、ふじみ野市子ども読書活動推進計画策定委員会(以下「策定委員会」という。)を設置する。

##### (所掌事務)

第2条 策定委員会は、次に掲げる事務を所掌する。

- (1) 読書活動推進計画の策定に関すること。
- (2) 前号に掲げるもののほか、読書活動推進計画の策定に関し必要なこと。

##### (組織)

第3条 策定委員会の委員は、教育部長及び別表に掲げる課等の長をもってこれに充てる。

(平20教委訓令1・平25教委訓令4・一部改正)

##### (委員長及び副委員長)

第4条 策定委員会に、委員長及び副委員長を置く。

- 2 委員長は教育部長とし、副委員長は委員の互選によってこれを定める。
- 3 委員長は、会務を総理し、策定委員会を代表する。
- 4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、その職務を代理する。

(平20教委訓令1・平25教委訓令4・一部改正)

##### (作業部会)

第5条 策定委員会に、読書活動推進計画の原案の調査及び検討をさせるため、作業部会を置く。

2 作業部会の部会員は、別表に掲げる課等の副課長又は係長職(これらの相当職を含む。)で所属長の指名する者をもって充てる。

(平20教委訓令1・平24教委訓令4・一部改正)

##### (部会長及び副部会長)

第6条 作業部会に、部会長及び副部会長を置く。

- 2 部会長及び副部会長は、部会員の互選によってこれを定める。
- 3 部会長は、会務を総理し、部会を代表する。
- 4 副部会長は、部会長を補佐し、部会長に事故があるときは、その職務を代理する。

##### (会議)

第7条 策定委員会及び作業部会の会議は、必要に応じて委員長又は部会長が招集し、会議の議長となる。

2 策定委員会及び作業部会は、それぞれ委員又は部会員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。

3 策定委員会及び作業部会の会議は、出席した委員又は部会員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

##### (意見の聴取)

第8条 策定委員会は、必要があると認めるときは、委員以外の者の出席を求め、その意見を聴くことができる。

##### (庶務)

第9条 策定委員会は、上福岡図書館及び大井図書館の所管とし、その庶務は、上福岡図書館において処理する。

##### (その他)

第10条 この要綱に定めるもののほか、策定委員会の運営に必要な事項は、委員長が委員会に諮って定める。

附 則

この訓令は、平成19年7月27日から施行する。

附 則(平成20年教委訓令第1号)

この訓令は、平成20年4月1日から施行する。

附 則(平成24年教委訓令第4号)

この規則は、平成24年4月1日から施行する。

附 則(平成25年教委訓令第4号)

この訓令は、平成25年4月1日から施行する。

別表(第3条、第5条関係)

(平20教委訓令1・旧別表第1・一部改正、平24教委訓令4・一部改正)

総務課
学校教育課
生涯学習課
大井中央公民館
上福岡公民館
上福岡西公民館
改革推進室
子育て支援課



資料 4

第二次ふじみ野市子ども読書活動推進計画策定の経緯

日付	会議名等	概要
5月22日	第1回作業部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 部会長及び副部会長の選任</li> <li>・ 第二次推進計画策定スケジュールについて</li> </ul>
5月22日	第1回策定委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 副委員長の選任</li> <li>・ 第二次推進計画策定スケジュールについて</li> </ul>
6月28日	第1回図書館協議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第二次推進計画について</li> </ul>
7月11日～ 7月26日	第二次ふじみ野市子ども読書活動推進計画に関するアンケート調査	
7月24日	第2回作業部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ アンケート調査について</li> <li>・ 目標値の設定等について</li> <li>・ 今後のスケジュールについて</li> </ul>
10月9日	第3回作業部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第二次推進計画素案の検討</li> </ul>
10月18日	第2回策定委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第二次推進計画素案の検討</li> </ul>
10月31日	第2回図書館協議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第二次推進計画素案について</li> </ul>
11月12日～ 12月11日	第二次ふじみ野市子ども読書活動推進計画（素案）パブリックコメント	
1月21日	第4回作業部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ パブリックコメントの実施結果について</li> <li>・ 第二次推進計画案の検討</li> </ul>
1月28日	第3回策定委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ パブリックコメントの実施結果について</li> <li>・ 第二次推進計画案の検討</li> </ul>
2月6日	第3回図書館協議会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第二次推進計画案について</li> </ul>
2月14日	第2回教育委員会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第二次推進計画案について</li> </ul>

## 資料5

第二次ふじみ野市子ども読書活動推進計画（案）に関する意見等の募集結果について

パブリックコメントにおいては、ご意見がありませんでした。

なお、本パブリックコメントの実施概要は以下のとおりです。

### ■意見の募集期間

平成25年11月12日～12月11日

※郵送の場合は当日消印有効

### ■公表場所

市ホームページ

市役所情報公開コーナー

大井総合支所情報提供個人情報保護コーナー

各公民館

各図書館

上福岡保健センター

各児童センター

各子育て支援センター

出張所

### ■意見を出せる人

市内に在住・在勤・在学している人

市内に事業所・事務所を有する団体・法人

## 第二次ふじみ野市子ども読書活動推進計画

発 行 ふじみ野市

発行日 平成26年3月

編 集 ふじみ野市立図書館

【上福岡図書館】

〒356-0017

ふじみ野市上野台 3-3-1

TEL:049-262-3710

【大井図書館】

〒356-0058

ふじみ野市大井中央 2-19-5

TEL:049-263-1100